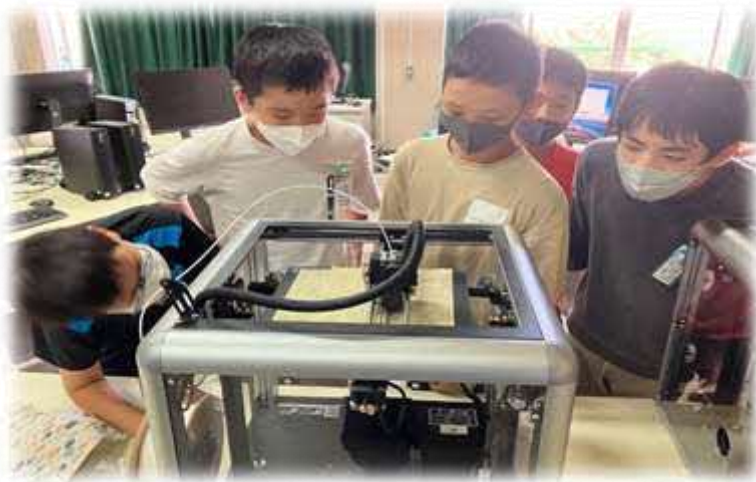


令和4年度
教育委員会の事務に関する点検・評価報告書
(令和3年度対象)

STEAM 教育
(砂原小学校)

最先端 PC を使った学び→



←3D プリンターを使った
ものづくり

令和4年11月
久喜市教育委員会

目 次

I はじめに

1 点検・評価の趣旨	1
2 点検・評価の対象及び方法	1
3 点検・評価結果の構成	2

II 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の構成	4
2 教育委員会会議の開催状況	4
3 総合教育会議の開催状況	10
4 教育委員会委員の教育施設訪問状況	10

III 点検・評価の結果

基本目標 1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実	12
基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実	26
基本目標 3 信頼される学校づくりの推進	68
基本目標 4 人権を尊重した教育の推進	90
基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進	100
基本目標 6 歴史・文化の継承と活用	132
基本目標 7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実	150

I はじめに

1 点検・評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。

この報告書は、同法の規定に基づき、久喜市教育委員会が行った点検評価の結果をまとめたものです。

《 参 考 》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象及び方法

①点検・評価の対象

平成30（2018）年度から令和4（2022）年度までを計画期間とする「第2期久喜市教育振興基本計画」では、各基本目標及び施策において数値目標を設定しています。

また、久喜市教育委員会では、毎年、「第2期久喜市教育振興基本計画」に定められた基本目標及び施策を達成するため、「第2期久喜市教育振興基本計画実施計画」を定めています。これは、久喜市総合振興計画の教育分野の大綱である『心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にすまち』の実現のために策定した『未来をひらく 心豊かな久喜の人づくり』を基本理念とする「第2期久喜市教育振興基本計画」について、当該年度における具体的な取り組み内容を示すことにより、教育行政の効果的な推進を目指すために、策定したものです。

このことから、久喜市教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検・評価を行うにあたり、「第２期久喜市教育振興基本計画」で設定した数値目標と、「令和３年度第２期久喜市教育振興基本計画実施計画」で示した取組みを対象とすることとしました。

②点検・評価の方法

「第２期久喜市教育振興基本計画」で設定した数値目標は、目標値に対する到達度合いを数値化することで、達成率による点検・評価を実施しました。

「令和３年度第２期久喜市教育振興基本計画実施計画」で示した取組みは、教育委員会が自ら成果や課題を再確認することで、今後の事務の管理及び執行を改善するとともに、より効果的な教育行政の推進に資することを目的とし、自己により点検し評価することを基本に実施しました。

なお、この点検・評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する方の知見を活用しました。

【学識経験者氏名及び経歴】

田村 俊一（たむら しゅんいち）氏	元久喜市立久喜小学校長 東京学芸大学教職大学院特命教授
関 泰彦（せき やすひこ）氏	元久喜市立久喜中学校長 平成国際大学特任教授

３ 点検・評価結果の構成

（１）基本目標の概要等について

基本目標ごとに、その概要とそれに係る施策及び担当課等を記載し、達成度の集計を一覧にまとめました。

（２）教育委員会の自己点検・評価について

「第２期久喜市教育振興基本計画」で設定した数値目標は、個々に『実績値』を明確にし、計画策定時に定められた目標値に対する到達度合いを割合＝『達成率』で示し、『達成度』を明らかにする形で、評価しました。

「令和３年度第２期久喜市教育振興基本計画実施計画」で示した取組みは、個々に『取組み内容』と、自己点検・評価としての『成果』と『課題』を分析し、『達成度』を明らかにした上で、『今後の方向性』を示す形で、一覧にまとめました。

なお、それぞれの「点検・評価調書」の見方は、次ページのとおりです。

（３）学識経験者の意見について

自己点検・評価を基に、学識経験者の方より助言をいただき、その意見を基本目標ごとに箇条書きでまとめました。

【点検・評価調書について】

基本目標ごとに、下記に示す「点検・評価調書」を作成し、教育委員会の点検・評価を行っています。それぞれの「点検・評価調書」の見方は、下記のとおりです。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標 基本目標の番号と目標名を記載しています

施策 施策の番号と施策名を記載しています

具体的施策 具体的施策の番号と施策名を記載しています

数値目標名	数値目標名(指標の内容)を記載しています	担当課	数値目標を所管する担当課を記載しています
単位	単位を記載しています	達成率	目標値に対する到達率を割合(%)で記載しています
平成28年度 現状値 (計画策定時 数値)	計画策定時に定められた平成28年度の現状値を記載しています	達成度	達成率を踏まえ達成度を4段階評価により記載しています(※評価指標は下記のとおりです)
平成30年度 実績値	対象年度の実績値を記載しています		
令和元年度 実績値	対象年度の実績値を記載しています	推移グラフ	数値目標の年度毎の推移をグラフにより掲載しています
令和2年度 実績値	対象年度の実績値を記載しています		
令和3年度 実績値	今後の点検・評価時に記載します		
令和4年度 実績値	今後の点検・評価時に記載します		
令和4年度 目標値 (計画策定時 数値)	計画策定時に定められた令和4年度の目標値を記載しています		

※【達成度評価の段階指標】

A・・・達成率100%以上

B・・・達成率90%以上100%未満

C・・・達成率80%以上90%未満

D・・・達成率80%未満

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標 基本目標の番号と目標名を記載しています

施策 施策の番号と施策名を記載しています

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
具体的施策の番号と施策名を記載しています	通し番号を記載しています	実施計画に掲載の取組み名及び取組みの目標年度又は継続的取組みの別を記載しています	新規取組みについて「○」を記載しています	取組みを所管する担当課を記載しています	当該年度に実施した取組み内容を記載しています 出来る限り数値化し、よりわかりやすく記載しています	取組みの成果を記載しています	取組みにおける課題を記載しています	達成度を4段階評価により記載しています(※評価指標は下記のとおりです)	成果と課題を洗い出した上で今後の方向性を記載しています

※【達成度評価の段階指標】

継続的取組みの場合

4・・・業務を遂行し想定を超える成果が出た

3・・・予定どおりに業務を遂行できた

2・・・予定を下回る取組み結果となった

1・・・予定していた業務を遂行できなかった

目標年度が設定された取組みの場合

A・・・計画を上回っている

B・・・概ね計画どおりである

C・・・計画より遅れている

D・・・計画倒れ・中止となった

Ⅱ 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の構成

久喜市教育委員会は、平成27年4月1日の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正にあわせて新制度に移行し、教育長と4人の教育委員をあわせた5人により構成されています。なお、教育長の任期は3年、教育委員の任期は4年です。

【教育委員会構成員の一覧（令和3年度）】

職 名	氏 名	任 期	備 考
教育長	かきぬま みつお	自 令和 3年 4月 1日	再任
	柿沼 光夫	至 令和 6年 3月 31日	
教育長職務代理者 (~R3.9.30)	えのもと ひであき	自 平成30年 5月 21日	
	榎本 英明	至 令和 3年 9月 30日	
委員 (~R3.9.30)	もろはし みつこ	自 令和 3年 5月 21日 至 令和 7年 5月 20日	再任 保護者たる委員
教育長職務代理者 (R3.10.1~)	諸橋 美津子		
委員	やまなか だいご	自 令和 元年 5月 21日	保護者たる委員
	山中 大吾	至 令和 5年 5月 20日	
委員	おのだ まゆみ	自 令和 2年 5月 21日	
	小野田 真弓	至 令和 6年 5月 20日	

※令和3年10月1日以降、令和3年度内は教育委員1名欠員。

2 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議については、原則として毎月1回の「定例会」と、必要に応じて「臨時会」を開催し、付議議案の審議及び教育長報告事項の報告など、教育行政の方針等を決定しています。なお、教育委員会会議は、会議開催日の1週間前に告示を行うとともに、市ホームページに掲載し、お知らせしています。

令和3年度は、「定例会」を計12回開催し、議案68件、教育長報告47件、協議事項2件について審議等を行いました。

また、既に開催された教育委員会会議の会議録は、市ホームページに掲載しています。その他、市役所公文書館の閲覧コーナーでもご覧いただけます。

【教育委員会会議開催一覧（令和３年度）】

会議名	久喜市教育委員会令和３年４月定例会
開催日	令和３年４月２２日（木）
議 案	議案第２１号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について 議案第２２号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱又は任命について 議案第２３号 久喜市立学校給食センター条例の一部を改正する条例について 議案第２４号 久喜市立学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則について 議案第２５号 久喜市教育委員会事務局組織規則及び久喜市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則について 議案第２６号 久喜市立上内小学校を休校とする方針（案）について
教育長報告	ア 令和３年２月定例議会市政に対する質問（教育委員会関係）について イ 令和３年２月定例議会提出議案・議決結果（教育委員会関係）について ウ 久喜市立小・中学校学区等審議会の答申について エ 久喜市立江面小学校の設置に係る検討結果について オ 久喜市公共施設個別施設計画の策定について カ 久喜市教育委員会表彰について キ 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について ク 久喜市立小・中学校学校運営協議会委員の任命について

会議名	久喜市教育委員会令和３年５月定例会
開催日	令和３年５月２１日（金）
議 案	議案第２７号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について 議案第２８号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱又は任命について
教育長報告	ア 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について イ 令和３年度久喜市一般会計補正予算（第４号）（案）に係る意見聴取について ウ 久喜市教育委員会事務局職員の人事について

会議名	久喜市教育委員会令和３年６月定例会
開催日	令和３年６月２２日（火）
議 案	議案第２９号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱について 議案第３０号 久喜市立小・中学校学区等審議会への諮問について 議案第３１号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱又は任命について
教育長報告	ア 久喜市スクール・サポート・スタッフ規則について イ 令和３年度久喜市会計年度任用職員の報酬等に関する規則の一部を改正する規則について

	ウ 久喜市会計年度任用職員の採用について
--	----------------------

会議名	久喜市教育委員会令和３年７月定例会
開催日	令和３年７月２０日（火）
議案	議案第３２号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱又は任命について 議案第３３号 教育財産の用途廃止について（久喜市立菖蒲学校給食センター） 議案第３４号 教育財産の用途廃止について（久喜市立鷺宮第１学校給食センター） 議案第３５号 教育財産の用途廃止について（久喜市立鷺宮第２学校給食センター） 議案第３６号 教育財産の取得の申出について 議案第３７号 久喜市教育委員会事務局組織規則及び久喜市教育委員会事務局等の職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則の一部を改正する規則について 議案第３８号 久喜市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令について 議案第３９号 久喜市障がい児就学支援委員会への諮問について 議案第４０号 令和４年度使用久喜市立小・中学校特別支援学級用教科用図書の採択について 議案第４１号 令和４年度から令和６年度使用久喜市立中学校教科用図書の採択について 議案第４２号 久喜市教育委員会事務局職員の人事について
教育長報告	ア 令和３年６月定例議会市政に対する質問（教育委員会関係）について イ 令和３年６月定例議会提出議案・議決結果（教育委員会関係）について ウ 久喜市教育委員会事務局職員の人事について エ 久喜市教育委員会臨時的任用職員の人事について オ 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱について

会議名	久喜市教育委員会令和３年８月定例会
開催日	令和３年８月１８日（水）
議案	議案第４３号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について 議案第４４号 教育財産の取得の申出について
教育長報告	ア 久喜市立小・中学校学区等審議会の答申について イ 令和３年度久喜市一般会計補正予算（第６号）（案）に係る意見聴取について ウ 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について

会議名	久喜市教育委員会令和３年９月定例会
開催日	令和３年９月２７日（月）
議案	議案第４５号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について

	議案第４６号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱又は任命について 議案第４７号 令和４年度当初教職員人事異動方針について 議案第４８号 久喜市宿泊学習取消料補助金交付要綱について 議案第４９号 久喜市教育委員会委員の辞職について
教育長報告	ア 久喜市会計年度任用職員の報酬等に関する規則の一部を改正する規則について イ 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について
協議事項	ア 新型コロナウイルス感染対策に伴うオンライン授業参加児童生徒の出席の取り扱いについて

会議名	久喜市教育委員会令和３年１０月定例会
開催日	令和３年１０月２６日（火）
議 案	議案第５０号 久喜市武道外部指導者の委嘱について 議案第５１号 久喜市教育振興基本計画策定委員会への諮問について 議案第５２号 教育財産の取得の申出について
教育長報告	ア 令和３年９月定例議会市政に対する質問（教育委員会関係）について イ 令和３年９月定例議会提出議案・議決結果（教育委員会関係）について ウ 久喜市教育委員会教育長職務代理者の指名について エ 久喜市教育委員会事務局職員の人事について オ 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について

会議名	久喜市教育委員会令和３年１１月定例会
開催日	令和３年１１月１９日（金）
議 案	議案第５３号 令和３年度教育委員会の事務に関する点検評価（令和２年度対象）について 議案第５４号 久喜市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令について
教育長報告	ア 令和３年度久喜市一般会計補正予算（第９号）（案）に係る意見聴取について イ 久喜市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例について（「久喜市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正」部分） ウ 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について エ 県道さいたま栗橋線西大輪地内での器物破損事故における専決処分について

会議名	久喜市教育委員会令和３年１２月定例会
開催日	令和３年１２月２２日（水）
議 案	議案第５５号 久喜市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について

	議案第 5 6 号 久喜市就学援助規則の一部を改正する規則について 議案第 5 7 号 久喜市教育委員会事務局職員の人事について 議案第 5 8 号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について 議案第 5 9 号 久喜市立小・中学校学校運営協議会委員の委嘱について 議案第 6 0 号 職務権限の特例に関する意見聴取について 議案第 6 1 号 令和 4 年度久喜市一般会計予算（案）に係る意見聴取について
教育長報告	ア 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について イ 久喜市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則の一部を改正する規則について
協議事項	ア 第 2 期久喜市教育振興基本計画実施計画（素案）について

会議名	久喜市教育委員会令和 4 年 1 月定例会
開催日	令和 4 年 1 月 2 4 日（月）
議 案	議案第 1 号 第 2 期久喜市教育振興基本計画実施計画（案）について 議案第 2 号 久喜市教育委員会公印規程及び久喜市共同学校事務室運営規程の一部を改正する訓令について 議案第 3 号 久喜市立小・中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則について 議案第 4 号 久喜市立小・中学校における学校運営協議会に関する規則の一部を改正する規則について 議案第 5 号 久喜市立小・中学校の給与及び旅費事務に関する相互確認実施要綱を廃止する告示について 議案第 6 号 市議会定例会提出議案に係る意見聴取について
教育長報告	ア 令和 3 年 1 1 月定例議会市政に対する質問（教育委員会関係）について イ 令和 3 年 1 1 月定例議会提出議案・議決結果（教育委員会関係）について ウ 令和 3 年度久喜市一般会計補正予算（第 1 2 号）（案）に係る意見聴取について エ 久喜市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例及び久喜市会計年度任用職員の報酬等に関する規則の一部を改正する規則について

会議名	久喜市教育委員会令和 4 年 2 月定例会
開催日	令和 4 年 2 月 2 4 日（木）
議 案	議案第 7 号 第 2 期久喜市スポーツ推進計画（案）について 議案第 8 号 久喜市私立幼稚園施設整備費等補助金交付要綱の一部を改正する告示について 議案第 9 号 久喜市私立幼稚園児健康診断補助金交付要綱の一部を改正する告示について

	議案第10号 久喜市立小・中学校県費負担教職員の人事に関する内申について
教育長報告	ア 令和4年度久喜市一般会計補正予算（第1号）（案）に係る意見聴取について イ 久喜市スポーツ推進審議会の答申について

会議名	久喜市教育委員会令和4年3月定例会
開催日	令和4年3月22日（火）
議 案	議案第11号 久喜市教育委員会事務局組織規則及び久喜市生涯学習推進会議幹事会規則の一部を改正する規則について 議案第12号 久喜市教育委員会事務専決規程等の一部を改正する訓令について 議案第13号 教育財産の用途廃止について（久喜市立菖蒲南中学校） 議案第14号 久喜市入学準備金・奨学金貸付条例施行規則の一部を改正する規則について 議案第15号 久喜市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則の一部を改正する規則について 議案第16号 久喜市立小・中学校における学校運営協議会に関する規則の一部を改正する規則について 議案第17号 久喜市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令について 議案第18号 久喜市スポーツ推進委員に関する規則等を廃止する規則について 議案第19号 久喜市スポーツ推進計画策定庁内会議規程を廃止する訓令について 議案第20号 久喜市 B&G 栗橋海洋クラブ補助金交付要綱等を廃止する告示について 議案第21号 教育財産の用途廃止について（社会体育施設） 議案第22号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について 議案第23号 久喜市教育委員会臨時的任用職員の人事について 議案第24号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱について 議案第25号 久喜市共同学校事務室の室長及び副室長並びに久喜市共同学校事務室全体連絡会議の責任者及び副責任者の指名について 議案第26号 久喜市教育委員会事務局職員の人事について 議案第27号 久喜市共同オンライン分教室に関する規則について
教育長報告	ア 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について イ 令和4年2月定例議会市政に対する質問（教育委員会関係）について ウ 令和4年2月定例議会提出議案・議決結果（教育委員会関係）について エ 久喜市障がい児就学支援委員会の答申について オ 令和3年度教職員人事評価結果について カ 令和3年度久喜市立中学校卒業生の進路状況について

3 総合教育会議の開催状況

久喜市総合教育会議は、平成27年4月の教育委員会制度改正に伴い、地方公共団体の長である市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るために設置されたものです。

令和3年度は、下記のとおり2回開催しました。

【総合教育会議開催一覧（令和3年度）】

会議名	令和3年度第1回久喜市総合教育会議
開催日	令和3年7月9日（金）
協議・調整事項 協議・調整事項	・「新学校給食センター」について ・「新学校給食センター」の視察 ・その他

会議名	令和3年度第2回久喜市総合教育会議
開催日	令和3年10月22日（金）
協議・調整事項	・学校教育におけるSDGsの取組みについて ・その他

4 教育委員会委員の教育施設訪問状況

久喜市教育委員会では、教育委員が、児童生徒の日頃の様子を観察したり、校内状況を視察したりし、学校の状況を把握することで、また、公民館や図書館といった社会教育施設を巡視し、施設の運営状況や活動状況を把握することで、今後の教育施策に生かすことを目的に、定期的に教育施設訪問を行っていますが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見送りました。

Ⅲ 点検・評価の結果

基本目標 1

人間形成の基礎を培う幼児教育の充実

基本目標の概要

幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基礎をつくること、「生きる力」を培うことを重視して進める必要があります。そのため、幼稚園・家庭・小学校・地域が相互に連携を深めるとともに、教育環境の整備を図り、幼児期に最もふさわしい教育の充実を図ります。

施策

- 1 子どもたちの人間形成の基礎づくりの支援
- 2 小学校との連携
- 3 教員の資質・能力の向上
- 4 保護者への支援体制の充実
- 5 幼稚園と保育所の連携
- 6 特別支援教育の充実

6つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 1 4 ○数値目標 2 ○取組み 2 7

担当課

○学務課 ○指導課

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全 2 件)	達 成 度		件 数	割 合
	A	達成率 100%以上	0	0.0%
	B	達成率 90%以上 100%未満	0	0.0%
	C	達成率 80%以上 90%未満	0	0.0%
	D	達成率 80%未満	2	100.0%

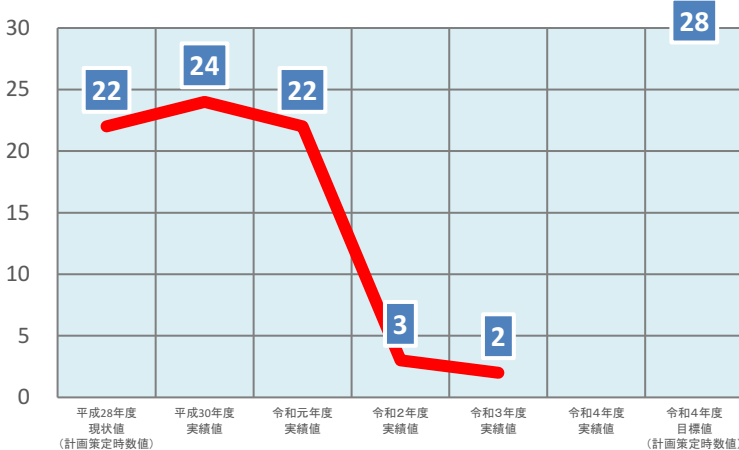
継続的 取組み (全 2 7 件)	達 成 度		件 数	割 合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	1	3.7%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	2 5	92.6%
	2	予定を下回る取組み結果となった	0	0.0%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	0	0.0%
	一	評価できない	1	3.7%

目標年度が 設定された 取組み (全0件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	0	0.0%
	B	概ね計画どおりである	0	0.0%
	C	計画より遅れている	0	0.0%
	D	計画倒れ・中止となった	0	0.0%

学識経験者の意見

- 幼児期にふさわしい生活の展開、幼児の自発的な活動としての遊び、幼児の特性や発達の課題に即した指導などを重視した取組みがなされなければならない中で、園児一人一人に応じた取組みが行われており、基本的な生活習慣習得のための家庭との連携や集団生活におけるルールや言葉の指導など根気強く取組みがなされ、一定の成果を上げている。
- 幼稚園教育において、教師の果たす役割は極めて大きく、幼稚園教育の質的な充実を図るためには、教師の資質の向上が不可欠であり、教師に求められる資質や能力、幼児教育の専門性を踏まえ、引き続き工夫して研修に取り組んでいただきたい。
- 保護者と教員の相談体制については、相談しやすい環境を整えるとともに、相談に応じる教員の指導力の向上と担任をサポートする体制の充実が重要であることから、研修等を通じて信頼される園づくりに努めていただきたい。
- 家庭生活状況の把握に関しては、幼稚園と家庭が共通認識をもって課題や注意点などに配慮することで効果的な指導につなげることができ、一定の成果を上げているが、この共通認識の出発点は、保護者と教員では見方が違い、親は自分の子だけをみているが、教員は学級全体の中でその子をみていることから、このことを課題の中に追加して取り組んでいただきたい。
- 基本的な生活習慣習得のための指導に関しては、幼稚園の「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」と生活科の年間指導計画とのつながりを重視して取り組んでいただきたい。
- 食育の推進に係る野菜の栽培や収穫体験では、普段の手入れも含めた一連の流れを通じて、植物の生きるという力、ひいては命の大切さを教える取組みを引き続きお願いしたい。
- コミュニケーション能力の育成は、言葉の伝達ではなく意思の伝達であることを踏まえて、課題や今後の方向性を考えて取り組んでいただきたい。
- 幼稚園・小学校連絡会や久喜市幼保小連絡協議会では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」と小学校の教育課程をどのようにつなげていくのかということが中心的課題でなければならないことから、この点を踏まえて具体的施策へ取り組んでいただきたい。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

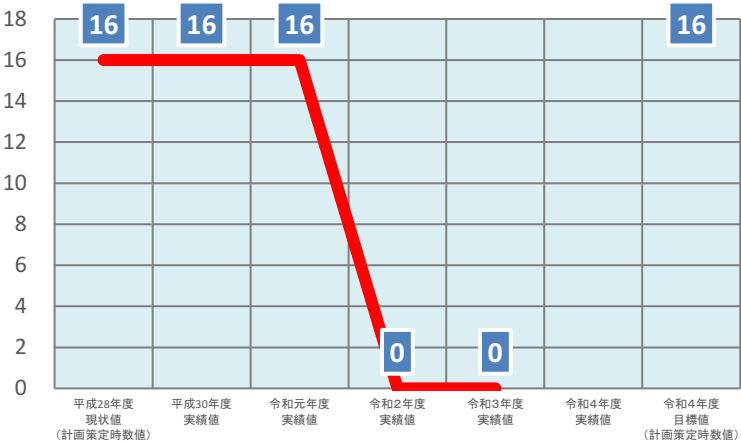
基本目標	1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実																
施策	2 小学校との連携																
具体的施策	1 子どもの交流活動の推進																
数値目標名	幼稚園と小学校の交流活動	担当課	学務課														
単位	回	達成率	7.1%														
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	22	達成度	D														
平成30年度 実績値	24	推移グラフ	 推移グラフのデータ: <table><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>22</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>24</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>22</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>3</td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>2</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>28</td></tr></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	22	平成30年度 実績値	24	令和元年度 実績値	22	令和2年度 実績値	3	令和3年度 実績値	2	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	28
年度	数値																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	22																
平成30年度 実績値	24																
令和元年度 実績値	22																
令和2年度 実績値	3																
令和3年度 実績値	2																
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	28																
令和元年度 実績値	※1 22																
令和2年度 実績値	※2 3																
令和3年度 実績値	※2 2																
令和4年度 実績値																	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	28																

※1 新型コロナウイルス感染症の影響及び天候不良により、交流活動の一部を中止したため、実績値が減少しました。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、交流活動の一部を中止したため、実績値が減少しました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

- | | |
|-------|---------------------------|
| 基本目標 | 1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実 |
| 施策 | 4 保護者への支援体制の充実 |
| 具体的施策 | 1 保護者が参加できる幼稚園行事や保育活動等の充実 |

数値目標名	保護者の保育参加の機会	担当課	学務課
単位	回	達成率	0.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	16	達成度	D
平成30年度 実績値	16	推移グラフ	
令和元年度 実績値	16		
令和2年度 実績値	※ 0		
令和3年度 実績値	※ 0		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	16		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての保育参加の活動を中止したため、実績値が減少しました。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標	1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実
施策	1 子どもたちの人間形成の基礎づくりの支援

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 基本的な生活習慣の習得に向けた指導	1	家庭生活状況の把握 (継続的取組み)		学務課	・家庭での生活リズムや排泄の自立等を把握するため、「家庭状況調査票」の記入を各家庭にお願しました。それを基に担任と保護者で面談を行い、一人ひとりの状況を把握し、それぞれに応じた対応を行いました。	・幼稚園と家庭が共通の認識をもって課題や注意点などに配慮することで、効果的な指導につなげることができました。	・保護者との信頼関係を築くことが重要であり、個々の家庭状況によっては、継続した保護者への寄り添いや関わりが必要です。	3	・今後も、一人ひとりに応じた指導やきめ細かな寄り添い方が重要です。そのためにも、家庭状況を把握することにより、効果的な指導につなげていくことを目指します。
	2	基本的な生活習慣習得のための指導 (継続的取組み)		学務課	・年齢や個人差を踏まえながら、家庭と連携を図り、生活習慣を習得することの大切さを伝え、公立幼稚園と家庭双方とで丁寧に取り組ましました。	・毎日の生活の積み重ねにより、幼児が自分でできることが増えてきました。5歳児が卒園するまでには、基本的な生活習慣が身に付くようになりました。	・排泄自立に関しては、個人差が大きく幼稚園で取り組んでいても、家庭では、おむつをはかせてしまっていたりして、自立するまで時間を要しました。	3	・生活習慣の習得の大切さを啓発しながら、今後も一人ひとりの発達や成長に応じて、家庭との連携を大切にしていくことで、基本的な生活習慣の定着を図っていきます。
2 食育の推進	3	野菜の栽培や収穫体験の実施 (継続的取組み)		学務課	・幼児にとって身近な野菜を育て、収穫し、食べる経験を通して、食べ物への興味や関心を高めていきました。(中央幼稚園5種類、栗橋幼稚園6種類) ・中央幼稚園は久喜南中学校との交流により、栗橋幼稚園は園内の畑において、じゃが芋掘りを行い、収穫を体験できました。	・自分たちで、水やりや成長の様子を観察を行い、また収穫し、食べることで、野菜や食事への興味関心をもたせることができました。	・栽培のための土について、必要な質・量を確保できるよう工夫する必要があります。	3	・幼児にとって身近な野菜との出会いを大切にし、栽培や収穫などの直接体験の機会を大切にしていきたいと思います。
	4	栄養士による食育指導 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園において、市内の給食の栄養士に依頼をし、幼児向けにわかりやすく食事の大切さについてお話をしてもらいました。(中央幼稚園2回/年)(栗橋幼稚園1回/年)	・専門職の方のお話は幼児にとって、わかりやすく、楽しく学ぶことができました。	・幼稚園で意識啓発を行っても、食生活の改善につながりにくいことが課題です。	3	・毎日の食事の大切さについては、継続して指導していく必要があります。 ・特に保護者に向けては、折に触れて具体的に意識啓発を行っていきます。
	5	友だちと一緒に食事をとる機会の設定 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園では、通常は家庭から弁当を持参していますが、2ヶ月に1度、共通食を提供し、皆で同じ食事をする機会を設定しました。(中央幼稚園6回、栗橋幼稚園5回)	・食わず嫌いの傾向のある幼児には、様々な食材に触れる良い機会となり、友達と一緒に同じ物を食べる喜びを味わうことができました。	・共通食のメニューは、根菜などの煮物や魚などを提供しています。保護者へレシピ等を提供していますが、家庭から持参する弁当に根菜の煮物・魚が追加されていることが少なく、日常的に様々な食材に触れる機会を確保することが課題です。	3	・保護者によっては、回数を月に1回程度に増やしてほしいという要望もありますが、弁当だけでよいというアンケート結果もあります。今後も教育的な効果を十分に検証していく必要があります。
3 コミュニケーション能力の育成や自立心の育成	6	幼児の主体的な生活の実現 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園において、幼稚園教育要領に基づき、教育課程、年間指導計画、月案、週案を学年ごとに作成し、発達年齢、季節感等を考慮し、幼児の興味関心をもたせることで、主体的な学びを大切にしました。	・幼児それぞれの興味関心に合わせた教育環境を整えることで幼児の心身両面での育ちにつながりました。自分で考えて遊ぶ力、生活しようとする姿がみられるようになりました。	・幼児の主体的な生活を実現するために、バランスのとれた教育指導計画が必要です。個人差が大きい幼児や特別な支援を要する幼児の場合、個に合わせた支援プランを作成する必要があります。全体への指導とのバランスが難しい点もありました。	3	・幼児の主体的な生活の実現は、短期間で身に付くものではありません。長期的に幼児が卒園していくまでの3年間をかけ、継続して指導する必要があります。
	7	あいさつや生活に必要な言葉の習得に向けての指導 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園において、言語表現を教育計画の中に位置づけ、登園時のあいさつや生活の中での具体的なやりとりを教師が見本となって指導しました。	・初めは、促されてあいさつをしていた幼児が、毎日の積み重ねによって、自分からできるようになりました。そのことを認められたことで、自信をもち遊びにも主体的に取り組めるようになっていきました。	・日々のあいさつについては、家庭との連携も重要であり、言葉でのやりとりの重要性について、意識啓発する必要があります。	3	・幼児自らがあいさつや言葉での表現の大切さに気づき、進んでできるようになるまで根気よく継続した取り組みを行っていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標 施策		1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実 2 小学校との連携							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 子どもの交流活動の推進	8	幼児と小学生が触れ合う交流会や見学会の実施 (継続的取組み)		学務課	・久喜市内の小学校と交流事業を行いました。(公立幼稚園0回、私立幼稚園3回) ・公立幼稚園では、新型コロナウイルス感染防止のため、直接交流を行うことが困難でしたが、小学校に行き、校庭から体育の授業を見学するなどして、小学校の雰囲気を楽しむことができました。	・初めは緊張した様子が見られましたが、体育の授業を見学したり遊具で遊んだりとしみを感じ、就学への不安を和らげることができました。	・小学校教諭との交流会前の打ち合わせ等の時間が互いに業務多忙のため十分でないときもあります。 ・交流内容の深まりについて検討する余地があります。	3	・就学を控えた幼児にとって、適切な時期に様々な交流機会を作ることが大切です。コロナ禍であっても不安を和らげ、小学校入学の段差を乗り越えることができるよう継続していきます。
2 教員間の連携強化	9	幼稚園・小学校連絡会の実施 (継続的取組み)		指導課 学務課	・公立幼稚園において、小学校就学先の個別の連絡会などを行いました。 ・幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続のため、各小学校と幼稚園で3学期に、就学児一人ひとりの情報交換を実施しました。	・幼児それぞれの実態を伝えることで、小学校入学後の指導体制の連携が図られました。 ・就学児一人ひとりの情報交換を実施したことで、小学校入学当初から個に応じた支援ができました。	・幼小の共通理解が図られています。が、年度ごとに教員の異動もあり、教育カリキュラムも変更が生じることから、連絡会を維持していくことが課題です。 ・小学校入学後も、必要に応じて連携を図ることで、新入学児が円滑に学校生活を送れるよう配慮する必要があります。	3	・今後も幼小の接続を円滑にしていくなために連携をとっていく必要があります。 ・保育者や教員が連絡会等の交流できる機会をもてるよう連携を深めていきます。
	10	久喜市幼保小連絡協議会の開催 (継続的取組み)		指導課	・幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続のため、久喜市幼保小連絡協議会として講演会と公開保育、協議会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、開催中止となりました。	・幼稚園内で、アブローチカリキュラムの見直しを行い、小学校就学に向け準備できることを抽出し、保育指導を行いました。年長組の園児に対しては、就学への期待を高めることができました。	・接続期プログラムについて、幼稚園と保育園、認定子ども園の取組みの共通点を明らかにし、小学校への接続の段差を減らすよう改善を図る必要があります。	3	・公開保育、公開授業の機会を設け、接続期プログラムの見直し・改善を図る研修を充実していきます。
	11	幼稚園と小学校の教員間における交流活動や授業参観等の実施 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園教員と小学校教員との連絡会を実施しました。 (中央幼稚園 6校) (栗橋幼稚園 5校) コロナ感染対策のため、授業や保育参観は実施できませんでした。	・小学校教員との連絡会を通し、幼児教育と小学校教育との違いなど、現状や課題について、共通理解を図ることができました。	・主に年長組の担任が参加しており、実施後に園全体の課題を共有し、指導の改善につなげていくことが課題です。	3	・今後も小学校との連携を図りながら交流活動を継続していくことが大切です。また、園内でも情報を共有し、長期的な視点を持ちながら幼児の成長につながる指導を工夫していきます。
基本目標 施策		1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実 3 教員の資質・能力の向上							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 教員研修の充実	12	園内研修の実施 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園全体の教員の指導力の向上を目指し、研究課題を設定し、計画的に研修を実施しました。 (中央幼稚園: 5回実施、参加者数延べ75人) (栗橋幼稚園: 10回実施、参加者数延べ50人)	・学期ごとに研修会を行い、反省・評価について教員全体で振り返りを行うことができました。 ・中央幼稚園では、外部指導者の講師を招き、より実践的な研修を受け、指導に生かすことができました。	・園の教員の年齢が若くなっている反面、個々のスキルアップのための研修を継続していくことや実践的な研修の機会をどう確保していくかが課題です。	4	・様々な課題について職員全体で共有することや、意識を高めていくために今後も園内研修の取組みを継続していきます。
	13	園外研修等への参加機会の設定 (継続的取組み)		学務課	・保育に関する様々な情報に触れられるよう、県主催の幼児理解研修、幼稚園教育研究協議会に参加する機会を設けました。 (中央幼稚園3人、栗橋幼稚園3人)	・研究課題をもとに、レポートを作成し、協議する研修に参加しました。研修回数は減りましたが、幼児理解や、指導の在り方について、理解を深めることができました。	・研修で得ることができた知識や情報を職員全体で共有し、個々のスキルアップにつなげていくことが必要です。 ・新型コロナウイルス感染防止のため外部研修の機会が減り、意識の向上を持続することが課題です。	3	・園外研修の機会をできるだけ設け、教員の指導力の向上を図ります。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標 施策		1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実 3 教員の資質・能力の向上							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	14	研究保育の実施及び外部指導者を招いての研修 (継続的取組み)		学務課	・指導課及び学務課の指導主事訪問指導において、教育要領の趣旨を踏まえた教育課程に基づいた指導についての研修を受けました。(栗橋幼稚園1回、中央幼稚園はコロナウイルス感染防止のため、0回。) ・外部指導者を招いての研修として、公立幼稚園2園合同により、園の環境構成に関する研修を行い、園職員の知識を深めました。	・指導課及び学務課の指導主事の指導の下に、園内の職員で研修課題について実施、評価、反省を行いました。	・教員の視点を広げるため、公立幼稚園の各園全体で掲げた共通の課題を確認し、改善に向けての指導方法を探ることが必要です。 ・自園のみの事例研究では不十分なため、外部指導者からの研修、指導が必要です。	3	・今後も幼稚園職員が研修の機会を作り、協議を深めながら保育の質を向上させるため、継続していきます。

基本目標 施策		1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実 4 保護者への支援体制の充実							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 保護者が参加できる幼稚園行事や保育活動等の充実	15	保護者間でコミュニケーションを図る機会となるような園行事の実施 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園では、年間4種類のコミュニケーションが図れる行事を計画していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、保護者間の交流の場としての行事は行うことができませんでした。	・本事業は、保護者間でコミュニケーションを図ることにより、保護者が抱える子育ての悩みや不安を軽減することを目的としています。目的を達成するため、コミュニケーションの場を提供できない代わりとして、その他の行事を実施する際、園だより、学年だより等を通して取組みの過程を保護者に伝え、幼児の育ちの具体的な点について共通理解をしていただきました。 また、子育てについて不安や孤独感を抱えている保護者に、園から声かけをしたり、毎日の送迎の際にPTA役員から話しかけていただいたりすることにより、子育ての悩みや不安を軽減することができました。	・保護者間の受け止めにも多少の意識の差があることから、幼稚園として趣旨を理解していただくことが課題です。	3	・コロナ禍であっても、感染対策を講じ、保護者がより主体的に取り組むことで子育てへの意欲や喜びにつながるよう今後も継続して取り組んでいきます。
	16	保護者の「保育参加」の機会の設定 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園では、保護者の方が選べるよう年間数種類の保育参加を計画していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、中止としました。	—	・保護者にも個人差があり、保育参加の意義を理解していただくこと、積極的な子育てへの意欲につなげていくことが課題です。	—	・「保育参加」の意義を保護者に分かりやすく伝えて、日程等の周知についても、園のおたより等を工夫していきます。
2 教育時間外の保護者支援	17	預かり保育の実施 (継続的取組み)		学務課	・中央幼稚園では、年間182日実施し、1,121人の利用がありました。 ・栗橋幼稚園では、年間225日実施し、394人の利用がありました。	・仕事をもつ保護者や不意の用事ができたときなども、安心して預けられる場所を提供することができました。	・日にちによって利用人数にばらつきがあったため、保育の内容については、臨機応変な対応が必要であり、幼児、保護者共に安心して利用できるようにすることが課題です。	3	・今後も、保護者を支援するため、預かり保育の充実を図ります。
3 子育てについての相談の場の提供	18	保護者が教員に相談できる体制の充実 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園において、担任教員との個別面談や、いつでも相談できるよう時間と場所を確保し、保護者が不安なく活用できるようにしました。	・保護者と教員同士のコミュニケーションがスムーズになることで相互関係が良好になり、幼児への指導も効果的に取組むことができました。	・保護者が相談しやすい話を聞く環境を整えるだけでなく、園としての取組みを保護者にご理解いただけるよう伝えていくことが課題です。	3	・子育てへの悩みや不安をかかえる保護者も増えていることから、しっかりとサポート体制を整えるためにも相談できる体制を整えていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標 施策		1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実 4 保護者への支援体制の充実							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
4 「3つのめばえ」の活用	19	「3つのめばえ」の共通理解と家庭と連携して取り組む体制を構築 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園で実施した保育懇談会の際に、家庭教育の重要性について、「3つのめばえ」をもとに説明を行い、園や家庭での様子について共通理解を図るなど、園と家庭の連携について保護者に理解を求めました。	・就学前までに育てたい幼児の姿のめやすを具体的に伝えることができませんでした。また、園と家庭が連携することの大切さを伝えることができませんでした。	・保護者にとり、保育懇談会での説明だけでは、一過性になりがちなため、個人面談など個別の機会にも「3つのめばえ」の意識の定着を図っていくことが課題です。	3	・健やかな幼児の成長につなげるために、家庭教育の大切さを保護者に向けて啓発することを継続していきます。
6 幼児教育無償化の実施	20	私立幼稚園の施設等利用に係る給付 (継続的取組み)		学務課	・子育てのための施設等利用給付認定した幼児が通う私立幼稚園に対し、施設等利用給付費を支給しました。	・幼児教育に係る保護者の経済的負担が軽減され、私立幼稚園における教育機会の確保に寄与することができました。	・園児の異動については、教育委員会で把握することができないため、異動の際は保護者からご連絡いただくよう、さらに周知を図る必要があります。	3	・引き続き、私立幼稚園に対する施設等利用給付費を適正に給付します。
	21	私立幼稚園の実費徴収に係る補足給付 (継続的取組み)		学務課	・低所得世帯又は第3子以降の園児保護者に対し、給食費の一部を支給しました。	・私立幼稚園に通う幼児の保護者の、給食費に係る負担を軽減することができました。	・低所得世帯の課税状況については、教育委員会では把握することができないため、市民税課と連絡を密に進めていく必要があります。	3	・引き続き、私立幼稚園に通う園児の保護者に対する、実費徴収に係る補足給付費を適正に給付します。
基本目標 施策		1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実 5 幼稚園と保育所の連携							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 幼保一体化事業の充実	22	中央幼稚園と中央保育園分園の幼保合同保育の推進 (継続的取組み)		学務課	・新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、合同保育を実施しました。幼保の連携を深めるために、保育士と協議しながら、指導計画や行事等の立案を行いました。 3歳児は分園がいないため 0日 4歳児 176日 5歳児 170日	・合同保育を行うことで園児同士の交流を深めることができました。 ・園児にとっても、多様な同年齢の友達と過ごせることでたくさんの刺激を受けて成長することができました。	・親子で参加する行事については、保育園の保護者は就労により参加できないものもあります。 ・生活の時間帯が同じではないことから、幼児の体調等に気を配りながら合同保育を進めていく必要があります。	3	・中央保育園分園が令和4年3月31日をもって閉園したため、取組みを終了しました。
	23	連絡会議の開催 (継続的取組み)		指導課 学務課	・中央幼稚園と中央保育園分園は、新型コロナウイルス感染対策を行いながら、月次の指導計画案(月案)の会議を11回、週次の指導計画案(週案)の会議を22回実施し、日々の保育の計画を保育士と幼稚園教諭で立てました。 ・幼稚園と保育所で保育や教育内容、行事などについて共通理解を図りました。	・同じ施設内に幼稚園と保育所がある利点を生かし、連絡会議を綿密に行うことで、保育活動のねらいや方法を確かめ合いながら月案や週案を作成することができました。 ・中央幼稚園において幼保一体の合同保育や行事を行い、園児たちの人間形成の基礎を培うことにつながりました。	・保育時間の違いにより、会議の時間の折り合いが難しいこと、予算上できない行事もあり、工夫していく余地があります。 ・月案や週案を立てるだけでなく、保育士と幼稚園教諭が互いの保育・教育を振り返る機会とし、互いの保育内容や方法、スキルを高め合う、質の高い保育・教育を実現するための話し合いの場としても連絡会議を活用する必要があります。	3	・中央保育園分園が令和4年3月31日をもって閉園したため、取組みを終了しました。
基本目標 施策		1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実 6 特別支援教育の充実							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 特別な支援を要する幼児の特性に応じた指導方法の推進	24	一人ひとりの特性に応じた教育の推進 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園において、特別支援会議を行い、職員全体の共通理解を図りました。その結果を個人面談等で保護者に周知し、より良い支援につなげました。 ・幼児が通う療育施設職員との連絡会において、協議を行いました。 ・保健センターを通して、発達が気になる幼児を医療機関へとつなげることができました。	・一人ひとりの幼児の課題について長期的、計画的に指導に取り組むことができ、集団生活での個々の成長を促すことができました。同時にクラス全体の思いやりの気持ちなどの成長もみられるようになりました。	・一人ひとりに応じた援助を行うため、園児の特性などについて保護者と共通認識を持つことが必要ですが、保護者によってはそれが難しい場合があります。そうした場合には、支援の方向性を決定するため、時間をかけて保護者との信頼関係を築く必要があります。	3	・幼児期の援助とその育ちが、進学先でどのような経過をたどるのかを検証し、経過を見届け、園での指導につなげていくよう努めます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標	1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実
施策	6 特別支援教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
2 支援体制の強化	25	教員の指導力の向上 (継続的取組み)		学務課	・幼児教育の専門的な研修の機会を図りました。 (中央幼稚園: 2回実施、参加者数18人) (栗橋幼稚園: 2回実施、参加者数12人)	・専門機関の心理士等から、より課題に沿った研修を受けることができ、教員の資質・能力の向上につながりました。	・課題について園全体で評価・反省をする機会を設け、職員間で共有することで、次年度以降の指導計画にも反映させていく必要があります。	3	・多様化する支援児に対して具体的な指導方法について常に研修を継続し、個々の教員の資質向上を図ります。
	26	個別の支援計画・指導計画の作成やサポート手帳の活用 (継続的取組み)		学務課	・一人ひとりの幼児の発達課題を明確にするために個別の支援プランを作成し、園全体で共有しました。 (作成件数: 中央幼稚園24件、栗橋幼稚園8件) ・必要な保護者に、サポート手帳の活用等について個人面談で知らせました。	・一人ひとりの発達課題について職員全体で把握することができ、一貫した指導につなげることができました。	・特別な支援を要する幼児が増え、個々の発達課題も多様化していることから、個々の幼児の課題について指導方法を工夫する必要があります。	3	・発達課題が多様化していることから、子どもたちに丁寧に関わり、個の育ちを促していくために、今後も継続して取り組んでいきます。
	27	補助教員の配置 (継続的取組み)		学務課	・特別な支援を要する幼児の実態に合わせた指導や支援ができるよう、補助教員を配置しました。 (中央幼稚園6人配置、栗橋幼稚園4人配置)	・多様化する特別な支援を要する幼児一人ひとりに応じた指導や支援を行うことで、安定した園生活を送ることができ、個々の成長を促すことができました。	・学級内に複数の支援が必要な幼児がおり、複数の職員配置が求められています。	3	・特別な支援が必要な幼児が増える傾向にあります。今後も職員間で連携を図り、個々に応じた指導や支援に努めます

基本目標2

「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実

基本目標の概要

確かな学力、豊かな人間性や健やかな体（生きる力）、他者を尊重し助け合おうとする共助の意欲（絆）、知性や感性（情操）の「総合的な人間力」をはぐくむ学校教育の充実を図ります。

施策

- 1 学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の充実
- 2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実
- 3 体力の向上と心身の健康づくりを図る教育の充実
- 4 学校における人権教育の充実
- 5 自立する力をはぐくむ教育の充実
- 6 安全教育の充実

6つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 33 ○数値目標 18 ○取組み 89

担当課

○指導課

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全18件)	達成度		件数	割合
	A	達成率 100%以上	0	0.0%
	B	達成率 90%以上 100%未満	7	38.9%
	C	達成率 80%以上 90%未満	5	27.8%
	D	達成率 80%未満	6	33.3%
	—	※成果指標としている調査が出来なかった	0	0.0%

継続的 取組み (全88件)	達成度		件数	割合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	0	0.0%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	86	97.7%
	2	予定を下回る取組み結果となった	0	0.0%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	0	0.0%
	—	評価できない	2	2.3%

目標年度が 設定された 取組み (全1件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	1	100.0%
	B	概ね計画どおりである	0	0.0%
	C	計画より遅れている	0	0.0%
	D	計画倒れ・中止となった	0	0.0%

学識経験者の意見

- 規律ある態度の育成に関して、中学校に比して小学校の「靴そろえ」の達成率が年々低くなっていることから、小学校においては家庭との連携を一層密にして規律ある態度の育成を図っていただきたい。
- 読書環境に関して、1日1回読書をしている児童生徒の割合が、令和3年度は小・中学校ともに今までの最低数値となっており、一層、児童生徒に対して読書に親しむ働きかけをしていただきたい。
- 食育の推進に関して、毎日朝食を食べている児童生徒の実績値が、小・中学校ともに前年度を下回っており、特に中学校では最も低い数値となっていることから、朝食に関しては、食べない理由を把握するとともに、その重要性について保護者や児童生徒へ理解していただくように働きかけることが大切である。
- 久喜市ステップアップテストや放課後学習支援室（くき本樹塾）は、個に応じた子どもの学習支援の充実などに貢献し、一定の成果を上げている。この取組みにより、埼玉県学力・学習状況調査の結果が、小・中学校ともに県平均を上回るという良い結果に表れていると思う。
- 今後、ますます進展すると予想されるグローバル化に備え、国際社会で活躍できる人材を育成するために、小学校に外国語が教科化されるなどの状況の中で、小・中学校ともに授業の質と量の改善は不可欠である。授業の改善などが着実に実施されることで、児童生徒のコミュニケーション能力の向上につながるものと思われる。
- 災害はいつ、どこで、どのような場面で身に迫るか分からないという意識を常にもって、日頃から危険と思われる所には近寄らないように子ども達に意識付けをお願いしたい。
- 久喜市教育研究委員会による実践研究の推進について、具体的施策が「学力向上」となっているが、次の教育振興計画では、「資質・能力の向上」へ言葉を変えた方がいいと思う。「学力」というのは、学校教育で育成する力であるが、学習指導要領においては「学力」という言葉は使われていない。「資質・能力」については、生涯にわたって身に付けていく力を想定して学習指導要領に記載されていることから、施策としても「学力向上」ではなく、「資質・能力の向上」を目指した教育の展開でよいのではないかと思う。

- 個に応じた指導を行う教職員の指導力向上のためのステップは、個に応じた指導を行う場を明確にすることであり、個に応じた指導を展開する年間指導計画の見直しが必要である。
- 「教育活動指導員・支援員」に対しては、どこの単元のどこのところを、どの児童生徒に教えるのかといったことを学校内で打合せを行った上で明確にしなければならず、これについては指導課の指導主事に必要な指導を期待したい。
- 「くき本樹塾」については、各学校が支援員にどのような指導をお願いしたいのかということを明確にしなければならず、これについては指導課の指導主事に必要な指導をお願いしたい。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「学びの改革」の推進にあたり、校内研修を支援する学校訪問の実施は素晴らしい取り組みであると思う。研修にあたっては、主体的な学びとは何なのか、対話的な学びとは何なのか、深い学びとは何なのかということに沿った研修テーマになっているか、また、特に対話的な学びについては、コミュニケーションが重要であることから、今後、授業研究会のあり方も含めて改善することを考えていただきたい。
- 教員の兼務発令を実施する際は、小学校の意図をきちんと聞いた上で兼務を認め、小中学校の連携を図っていただきたい。
- 小学校の理科支援員に関しては、理科の実験準備を行うため配置しているが、理科の実験準備も教員の力量向上にとっても大切なことである。理科を指導する教員は、理科の準備から授業であることは忘れないでいただきたい。
- 1人1台のタブレットによる久喜市の取り組みは進んでおり、素晴らしいと思う。一方で、子どもたちのスマートフォンやタブレットによる間接体験が増えている状況もあることから、実物を見せることも大切にしていきたい。
- 運動部活動を中学校から地域に移行させる動きがある中で、部活動がなくなった後の教員への研修のあり方というものについて、これから構想していかなければならない。
- 食育の推進に関しては、朝食の摂取率が段々減ってきている中で、保護者の意識を変えることは大変なことではあるものの、その意識を変えるためには保護者の行動を変えることが大切であり、栄養士等を招いたPTA活動等の取り組みをすることで保護者の意識は変わっていくのではないかと、検討の余地がある。
- 不登校の解消を図る指導・支援体制に関して、家庭訪問をする場合、担任とスクールカウンセラーが役割分担を行っている学校があるが、学校は一体となって対応しなければならないと思う。
- 不登校の児童生徒の多い学校は、教育相談部会ではなく、不登校対策委員会を作り、不登校児童生徒のいる担任を含めて、単なる報告会に終始するのではなく、いつまでに何を行うのか、目標と方策についての話し合いをするべきである。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
施策	2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実
具体的施策	3 規律ある態度の育成

数値目標名	「靴そろえ」の達成率 【小学校】	担当課	指導課													
単位	%	達成率	86.1%													
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	87.0	達成度	C													
平成30年度 実績値	86.8	推移グラフ														
令和元年度 実績値	85.0	<table><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>平成30年度 実績値</td><td>令和元年度 実績値</td><td>令和2年度 実績値</td><td>令和3年度 実績値</td><td>令和4年度 実績値</td><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td></tr><tr><td>87.0</td><td>86.8</td><td>85.0</td><td>84.1</td><td>81.8</td><td></td><td>95.0</td></tr></table>	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	87.0	86.8	85.0	84.1	81.8		95.0
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値		令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)									
87.0	86.8		85.0	84.1	81.8		95.0									
令和2年度 実績値	84.1															
令和3年度 実績値	81.8															
令和4年度 実績値																
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	95.0															

具体的施策 3 規律ある態度の育成

数値目標名		「靴そろえ」の達成率 【中学校】	担当課	指導課														
単位		%	達成率	95.1%														
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)		92.3	達成度	B														
平成30年度 実績値		93.2	推移グラフ															
令和元年度 実績値		93.3	<table><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>平成30年度 実績値</td><td>令和元年度 実績値</td><td>令和2年度 実績値</td><td>令和3年度 実績値</td><td>令和4年度 実績値</td><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td></tr><tr><td>92.3</td><td>93.2</td><td>93.3</td><td>91.6</td><td>90.3</td><td></td><td>95.0</td></tr></table>	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	92.3	93.2	93.3	91.6	90.3		95.0	
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)											
92.3	93.2	93.3		91.6	90.3		95.0											
令和2年度 実績値		91.6																
令和3年度 実績値		90.3																
令和4年度 実績値																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)		95.0																

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

- 基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
 施策 2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実
 具体的施策 3 規律ある態度の育成

数値目標名	「話を聞き発表する」の達成率【小学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	83.9%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	76.8	達成度	C
平成30年度 実績値	77.3	推移グラフ	令和元年度 実績値 77.6 令和2年度 実績値 75.9 令和3年度 実績値 75.5 令和4年度 実績値 令和4年度 目標値 (計画策定時数値) 90.0
令和元年度 実績値	77.6		
令和2年度 実績値	75.9		
令和3年度 実績値	75.5		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90.0		

具体的施策 3 規律ある態度の育成

数値目標名	「話を聞き発表する」の達成率【中学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	83.8%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	73.8	達成度	C
平成30年度 実績値	72.2	推移グラフ	令和元年度 実績値 76.2 令和2年度 実績値 75.9 令和3年度 実績値 75.4 令和4年度 実績値 令和4年度 目標値 (計画策定時数値) 90.0
令和元年度 実績値	76.2		
令和2年度 実績値	75.9		
令和3年度 実績値	75.4		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90.0		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
施策	2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実
具体的施策	4 読書環境の充実と読書活動の推進

数値目標名		1日1回は読書をして いる児童生徒の割合 【小学校】		担当課		指導課															
単位		%		達成率		80.8%															
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)		83.1		達成度		C															
平成30年度 実績値		86.5		推移グラフ																	
令和元年度 実績値		※1 —		推移グラフは、平成28年度から令和4年度までの実績値と目標値を示しています。縦軸は0.0から100.0までの割合を示し、横軸は年度を示します。実績値は平成28年度(83.1)、平成30年度(86.5)、令和2年度(78.6)、令和3年度(76.8)です。令和4年度の実績値は斜線で示され、目標値は95.0です。赤い線は実績値の推移を示しています。 <table><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>83.1</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>86.5</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>78.6</td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>76.8</td></tr><tr><td>令和4年度 実績値</td><td>—</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>95.0</td></tr></table>				年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	83.1	平成30年度 実績値	86.5	令和2年度 実績値	78.6	令和3年度 実績値	76.8	令和4年度 実績値	—	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	95.0
年度	数値																				
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	83.1																				
平成30年度 実績値	86.5																				
令和2年度 実績値	78.6																				
令和3年度 実績値	76.8																				
令和4年度 実績値	—																				
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	95.0																				
令和2年度 実績値		※2 78.6																			
令和3年度 実績値		76.8																			
令和4年度 実績値																					
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)		95.0																			

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の成果指標調査を実施できませんでした。

※2 令和2年度実績値を訂正しました(訂正前:小学校78.7%)。

具体的施策 4 読書環境の充実と読書活動の推進

数値目標名		1日1回は読書をして いる児童生徒の割合 【中学校】	担当課	指導課													
単位		%	達成率	71.7%													
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)		71.7	達成度	D													
平成30年度 実績値		75.9	推移グラフ														
令和元年度 実績値		※1 —	推移グラフは、平成28年度から令和4年度までの実績値と目標値を示しています。縦軸は0.0から100.0までの割合を示し、横軸は年度を示します。実績値は平成28年度(71.7)、平成30年度(75.9)、令和2年度(69.6)、令和3年度(64.5)です。令和4年度の実績値は斜線で示され、目標値は90.0です。赤い線は実績値の推移を示しています。 <table><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>71.7</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>75.9</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>69.6</td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>64.5</td></tr><tr><td>令和4年度 実績値</td><td>—</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>90.0</td></tr></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	71.7	平成30年度 実績値	75.9	令和2年度 実績値	69.6	令和3年度 実績値	64.5	令和4年度 実績値	—	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90.0
年度	数値																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	71.7																
平成30年度 実績値	75.9																
令和2年度 実績値	69.6																
令和3年度 実績値	64.5																
令和4年度 実績値	—																
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90.0																
令和2年度 実績値		※2 69.6															
令和3年度 実績値		64.5															
令和4年度 実績値																	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)		90.0															

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の成果指標調査を実施できませんでした。

※2 令和2年度実績値を訂正しました(訂正前:中学校69.8%)。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実		
施策	2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実		
具体的施策	5 「久喜の子ども、5つの誓い」の推進		
数値目標名	「学校が好きだ」と考えている児童生徒の割合【小学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	96.6%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	91.2	達成度	B
平成30年度 実績値	87.8	推移グラフ	令和元年度 実績値 令和2年度 実績値 令和3年度 実績値 令和4年度 実績値 令和4年度 目標値 (計画策定時数値)
令和元年度 実績値	※ ー		
令和2年度 実績値	82.0		
令和3年度 実績値	88.9		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	92.0		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の成果指標調査を実施できませんでした。

具体的施策	5 「久喜の子ども、5つの誓い」の推進		
数値目標名	「学校が好きだ」と考えている児童生徒の割合【中学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	92.7%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	92.0	達成度	B
平成30年度 実績値	80.8	推移グラフ	令和元年度 実績値 令和2年度 実績値 令和3年度 実績値 令和4年度 実績値 令和4年度 目標値 (計画策定時数値)
令和元年度 実績値	※ ー		
令和2年度 実績値	83.3		
令和3年度 実績値	85.3		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	92.0		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の成果指標調査を実施できませんでした。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
施策	3 体力の向上と心身の健康づくりを図る教育の充実
具体的施策	1 学校体育の充実

数値目標名	新体カテストの5段階絶対評価で上位3ランクの児童生徒の割合【小学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	92.4%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	85.6	達成度	B
平成30年度 実績値	87.5	推移グラフ	
令和元年度 実績値	88.0		
令和2年度 実績値	※ ー		
令和3年度 実績値	83.2		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90.0		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、成果指標調査を実施できませんでした。

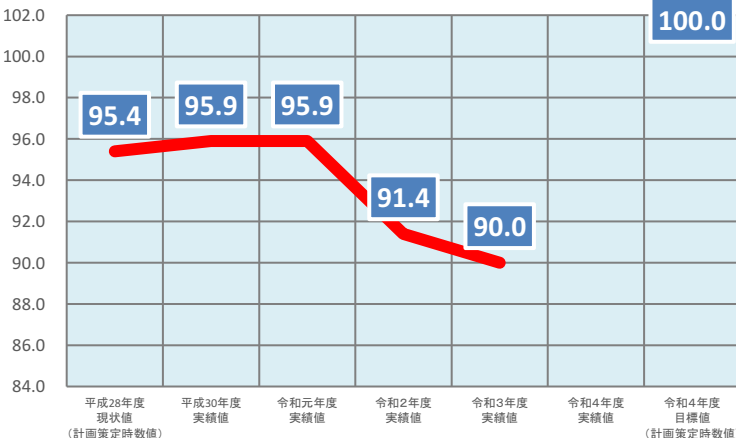
具体的施策 1 学校体育の充実

数値目標名	新体カテストの5段階絶対評価で上位3ランクの児童生徒の割合【中学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	90.7%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	86.2	達成度	B
平成30年度 実績値	88.5	推移グラフ	
令和元年度 実績値	85.3		
令和2年度 実績値	※ ー		
令和3年度 実績値	81.6		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90.0		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、成果指標調査を実施できませんでした。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

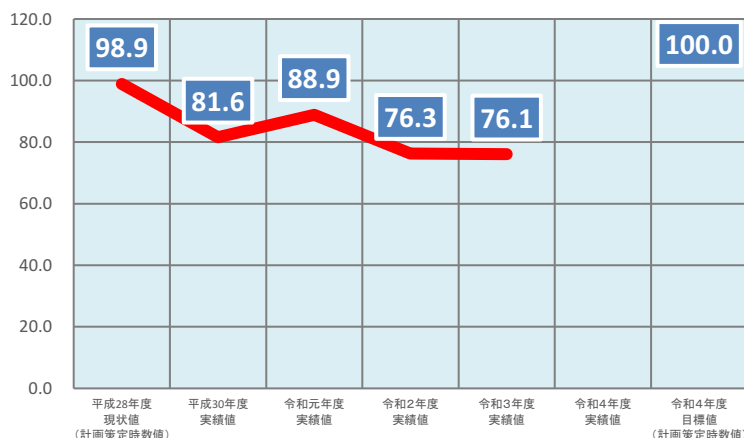
基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実																
施策	3 体力の向上と心身の健康づくりを図る教育の充実																
具体的施策	3 食育の推進																
数値目標名	毎日朝食を食べている児童生徒の割合【小学校】	担当課	指導課														
単位	%	達成率	95.6%														
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	96.5	達成度	B														
平成30年度 実績値	97.3	推移グラフ	<table><caption>朝食摂取率推移グラフ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>96.5</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>97.3</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>95.6</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>96.0</td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>95.6</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>100.0</td></tr></tbody></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	96.5	平成30年度 実績値	97.3	令和元年度 実績値	95.6	令和2年度 実績値	96.0	令和3年度 実績値	95.6	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100.0
年度	数値																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	96.5																
平成30年度 実績値	97.3																
令和元年度 実績値	95.6																
令和2年度 実績値	96.0																
令和3年度 実績値	95.6																
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100.0																
令和元年度 実績値	95.6																
令和2年度 実績値	96.0																
令和3年度 実績値	95.6																
令和4年度 実績値																	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100.0																

具体的施策	3 食育の推進		
数値目標名	毎日朝食を食べている児童生徒の割合【中学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	90.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	95.4	達成度	B
平成30年度 実績値	95.9	推移グラフ	
令和元年度 実績値	95.9		
令和2年度 実績値	91.4		
令和3年度 実績値	90.0		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100.0		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

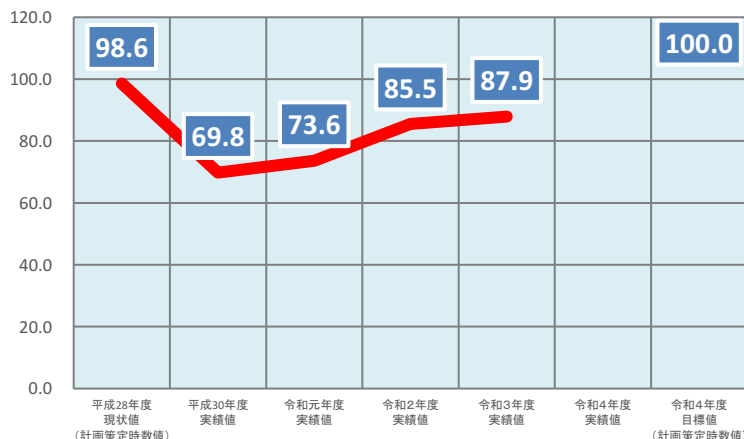
基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
施策	5 自立する力をはぐくむ教育の充実
具体的施策	4 いじめの防止対策の推進

数値目標名	いじめの解消率【小学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	76.1%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	98.9	達成度	D
平成30年度 実績値	81.6	推移グラフ	
令和元年度 実績値	88.9		
令和2年度 実績値	76.3		
令和3年度 実績値	76.1		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100.0		



具体的施策 4 いじめの防止対策の推進

数値目標名	いじめの解消率【中学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	87.9%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	98.6	達成度	C
平成30年度 実績値	69.8	推移グラフ	
令和元年度 実績値	73.6		
令和2年度 実績値	85.5		
令和3年度 実績値	87.9		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100.0		



第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
施策	5 自立する力をはぐくむ教育の充実
具体的施策	5 不登校の防止対策の推進

数値目標名	不登校児童生徒数【小学校】	担当課	指導課
単位	人	達成率	30.2%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	18	達成度	D
平成30年度 実績値	22	推移グラフ	
令和元年度 実績値	39	平成28年度 現状値 (計画策定時数値) 平成30年度 実績値 令和元年度 実績値 令和2年度 実績値 令和3年度 実績値 令和4年度 実績値 令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	
令和2年度 実績値	56		
令和3年度 実績値	43		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	13		

具体的施策		5 不登校の防止対策の推進															
数値目標名	不登校児童生徒数【中学校】	担当課	指導課														
単位	人	達成率	37.0%														
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	68	達成度	D														
平成30年度 実績値	107	推移グラフ															
令和元年度 実績値	109	<table><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>68</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>107</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>109</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>124</td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>138</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>51</td></tr></tbody></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	68	平成30年度 実績値	107	令和元年度 実績値	109	令和2年度 実績値	124	令和3年度 実績値	138	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	51	
年度	数値																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	68																
平成30年度 実績値	107																
令和元年度 実績値	109																
令和2年度 実績値	124																
令和3年度 実績値	138																
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	51																
令和2年度 実績値	124																
令和3年度 実績値	138																
令和4年度 実績値																	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	51																

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実																	
施策	5 自立する力をはぐくむ教育の充実																	
具体的施策	5 不登校の防止対策の推進																	
数値目標名	不登校児童生徒数(市内全児童生徒に対する割合)【小学校】	担当課	指導課															
単位	%	達成率	31.7%															
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	0.25	達成度	D															
平成30年度 実績値	0.30	推移グラフ																
令和元年度 実績値	0.54	平成28年度 現状値 (計画策定時数値) 平成30年度 実績値 令和元年度 実績値 令和2年度 実績値 令和3年度 実績値 令和4年度 実績値 令和4年度 目標値 (計画策定時数値) <table><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>0.25</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>0.30</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>0.54</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>0.80</td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>0.63</td></tr><tr><td>令和4年度 実績値</td><td>0.63</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>0.20</td></tr></tbody></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	0.25	平成30年度 実績値	0.30	令和元年度 実績値	0.54	令和2年度 実績値	0.80	令和3年度 実績値	0.63	令和4年度 実績値	0.63	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	0.20
年度	数値																	
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	0.25																	
平成30年度 実績値	0.30																	
令和元年度 実績値	0.54																	
令和2年度 実績値	0.80																	
令和3年度 実績値	0.63																	
令和4年度 実績値	0.63																	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	0.20																	
令和2年度 実績値	0.80																	
令和3年度 実績値	0.63																	
令和4年度 実績値																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	0.20																	

具体的施策		5 不登校の防止対策の推進																		
数値目標名	不登校児童生徒数(市内全児童生徒に対する割合)【中学校】	担当課	指導課																	
単位	%	達成率	35.9%																	
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1.82	達成度	D																	
平成30年度 実績値	2.99	推移グラフ																		
令和元年度 実績値	3.09	平成28年度 現状値 (計画策定時数値) 平成30年度 実績値 令和元年度 実績値 令和2年度 実績値 令和3年度 実績値 令和4年度 実績値 令和4年度 目標値 (計画策定時数値) <table><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>1.82</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>2.99</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>3.09</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>3.47</td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>3.87</td></tr><tr><td>令和4年度 実績値</td><td>3.87</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>1.39</td></tr></tbody></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1.82	平成30年度 実績値	2.99	令和元年度 実績値	3.09	令和2年度 実績値	3.47	令和3年度 実績値	3.87	令和4年度 実績値	3.87	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	1.39		
年度	数値																			
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1.82																			
平成30年度 実績値	2.99																			
令和元年度 実績値	3.09																			
令和2年度 実績値	3.47																			
令和3年度 実績値	3.87																			
令和4年度 実績値	3.87																			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	1.39																			
令和2年度 実績値	3.47																			
令和3年度 実績値	3.87																			
令和4年度 実績値																				
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	1.39																			

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
施策	1 学ぶ意欲と確かな学力をはぐむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 学力向上を目指した教育の展開	28	久喜市教育研究委員会による実践研究の推進 (継続的取組み)		指導課	・市より委嘱を受けた教職員が委員となる、「久喜市版未来の教室」「STEAM教育研究委員会」「未来の公教育」「学力向上推進」「社会科副読本」「道德教育」「個を大切にする」の7つの研究委員会を設け、実践的研究を行いました。 (延べ120名の教員が参加)	・GIGAスクール環境下一人一台端末の活用を基盤とした効果的な学びについて、実践事例の共有や活用ライブラリを通した事例発信に取り組みました。 ・企業との連携を通し、教科横断的な単元構想とSTEAM教育の推進を図ることができました。 ・GoogleWorkspaceを活用した、校務システムや個別支援サービスを開発し、個に応じた支援の充実及び教員の業務効率化を図ることができました。 ・「オンラインくき検定」を実施し、郷土を愛する心を養うことができました。	・久喜市版未来の教室実現に向けた取組みを加速するため、それぞれの研究委員会を整理・体系化する必要があります。	3	・すべての研究委員会の取組みについてGoogleWorkspace上で共有できる体制を整えるとともに、学習ポータル活用の活用を通したデータ活用など、第3期教育振興基本計画を見据えた取組みを進めていきます。
	29	全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査の結果分析と活用 (継続的取組み)		指導課	・結果を分析して明らかになった成果と課題を各学校に示し、ホームページで公開しました。 ・久喜市ステップアップテストの問題に内容を取り上げ、課題の解決を図りました。	・結果の分析を行ったことで、久喜市の傾向を掴むことができました。 ・各学校の課題を明らかにしたうえで指導主事が学校を訪問し、実際に即した指導を行うことができました。	・各学校においても結果の分析を行い、より実態に即した指導を実践していく必要があります。	3	・結果の分析を行い、各学校の課題を解決するための学習指導について学校を訪問し、指導を行います。
	30	久喜市ステップアップテストの実施 (継続的取組み)		指導課	・7月から2月まで毎月1回実施し、児童生徒の学力の実態と伸びを把握するとともに、児童生徒一人ひとりの課題に合わせた補習問題を自動で編集してくれるWebサイトを開設し、学力の向上を図りました。	・本年度の埼玉県学力・学習状況調査における「学力の伸び率(※)」は、小学校は県が「9」に対して久喜市は「10」とやや上回り、中学校は県が「13」に対して久喜市は「12」とやや下回りましたが、「平均得点率」は小学校は県平均より「10.9」、中学校は「4.3」とともに上回りました。 ※学力の伸び率…全ての児童生徒の「学力の伸び」の値を足し合わせて、受検者数で割った値	・各学校のデータを分析し、学力向上に向けた教材や支援を充実させていく必要があります。	3	・全国学力学習状況調査や埼玉県学力学習状況調査の問題を分析し、テストの内容や補修問題の内容へ反映させ充実を図ります。 ・久喜市ステップアップテストの問題や個票にある補習問題について、市の学力向上推進委員会の中で協議していきます。
	31	学習支援カルテの活用 (継続的取組み)		指導課	・久喜市ステップアップテストのデータをもとに、個別の学力状況や学力の伸びが確認できる電子データの個票を作成するとともに、それが閲覧できるWebサイトを開設し、学校、家庭及び各個人に配布しました。	・各学校において個票を活用し、児童生徒の実態に合わせた授業形態の工夫や個別指導の充実が図られました。また、CBT化により、個票を返却するまでの時間が短縮されました。	・個票の活用の仕方について周知し、個別支援や授業改善の充実を推進することが課題です。	3	・市の学力向上推進委員会の中で、個票の効果的な活用方法について協議し、成果を市内で共有していきます。
	32	2年間の研究委嘱と計画的・継続的な学校訪問の実施 (継続的取組み)		指導課	・研究委嘱校の要望に合わせ、指導課訪問を通した校内研修支援を年間12回実施しました。 ・コロナ感染状況に応じた柔軟な実施形態を支援しました。	・各研究委嘱校の研究構想の充実及び、研究発表に向けた支援を行い、成果を発信することができました。	・オンラインやオンデマンド等研究発表会及び授業公開、研究協議会の柔軟な実施形態を整えることが課題です。	3	・ICTを活用して、コロナ禍におけるより効率的・効果的な研究成果の共有の方策を研究します。
	33	個に応じた指導の推進 (継続的取組み)		指導課	・少人数指導や習熟の程度に応じた指導等の学習形態の工夫について指導しました。 ・指導方法の工夫改善について、各学校の達成状況と課題をまとめたものをもとに、指導助言を行いました。	・学力を伸ばした児童生徒の割合が埼玉県平均を上回りました。 (埼玉県平均73.1%、久喜市平均73.2%) ※令和3年度埼玉県学力学習状況調査における小学校第4学年から中学校第3学年までの実施全教科平均値	・個に応じた指導を行う教職員の指導力向上が課題です。 ・個別最適化された補習学習と教職員の働き方改革の両立が課題です。	3	・ICTを活用するなどして、全ての児童生徒に対応できる個別最適化された教育を推進していきます。 ・各学校の効果的事例を取りまとめ情報提供し、実践されているか見届けをしていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
施策	1 学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	34	個に応じた学習問題の提供 (継続的取組み)		指導課	・久喜市ステップアップテストの結果から、児童生徒一人ひとりの学力に応じて、家庭で取り組むことができる学習問題を電子データで提供しました。	・各学校において、授業や家庭学習等で活用されました。また、保護者への啓発により、家庭での活用も進んできました。	・より個に応じた学習問題を提供できるようにするため、補習問題の数や種類の更なる充実を図っていく必要があります。	3	・全国学力・学習状況調査の過去の問題や県のHP等を活用し、補習問題の内容を充実させていきます。 ・市の学力向上推進委員会で、より児童生徒の実態にあった補習問題について検討・作成していきます。
	35	放課後等学習支援教室「くき本樹塾」の実施 (継続的取組み)		指導課	・久喜市中学生学力アップ教育推進事業である、放課後等学習支援教室「くき本樹塾」を市内全中学校に設置し、288名の生徒に対し、放課後や長期休業を利用した学習支援を行いました。	・市独自の学力調査において、くき本樹塾受講者の得点レベルの伸びは、未受講者より1.3ポイント上回ることができました。	・時期によって、受講者の欠席が多くなってしまうことが課題です。 ・学習支援員に欠席が出た際、必要な人員を配置できないことが課題です。	3	・生徒の学習習慣が定着するように、各学校と調整を図り定期的な「くき本樹塾」の開催を実施します。 ・学習支援員の募集開始の時期を早め、期間を長く設定することで、人数を十分に確保できるようにします。
2 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「学びの改革」の推進	36	校内研修を支援する学校訪問の実施 (継続的取組み)		指導課	・県東部教育事務所の指導主事を、市内の小中学校の校内研修に指導者として招聘し、教職員の指導力向上を図りました。(指導者招聘回数17回)	・各学校において、研究授業及び研究協議が行われ、「主体的・対話的で深い学び」の授業改善について教職員の理解が深まりました。	・研修内容を共有し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を、市内全体で推進していくことが課題です。	3	・研修の内容を市の学力向上推進研究委員会で活用したり学校WANで閲覧できるようにしたりする等、共有化を図ります。
	37	ICT機器の効果的な活用についての事例集の作成及び研修会の実施 (継続的取組み)		指導課	・Google for Education(コア研修、アドバンス研修、コアplus研修、動画作成研修、管理職向け研修、操作スキルアップ研修)研修会を実施しました。 (実施校31校、参加者数のべ504人) ・市内研究委員会委員、清久小、栗橋西小、江面小や有志の教職員と協力し、一人一台端末の活用事例をサイトにまとめ、教職員向けに公開しました。 (新規100事例以上掲載)	・研修会を通して、各校のICT推進リーダー育成に寄与するとともに、一人残らずスキルアップを図ることで、各校のGIGAスクール推進に向けた取組みの原動力となりました。 ・実践事例を通し、一人一台端末の活用イメージを市内全職員で共有することで、ICTの日常的な活用に資することができました。	・各学校の実態と教職員のスキル、および異動教職員向けの研修機会を確保することが必要です。	3	・Google社の支援を得つつ、継続的な研修会の実施と同時に、基礎基本及び発展研修、管理職向け研修等、それぞれのニーズに応じた研修を企画し、教職員のICT活用能力向上と、児童の情報活用能力育成に向け取り組みます。
3 小・中学校9年間を一貫した教育の推進	38	小学校と中学校の連携を図った教育課程編成の推進 (継続的取組み)		指導課	・各中学校区で、各小・中学校の教務主任を中心に、新学習指導要領全面实施に向け、9年間を見通した教育課程の編成の支援を行い、教育指導計画にまとめました。	・各中学校区の研修会や協議により、中学校区を中心とした小学校・中学校の連携が深まり、9年間の一貫した教育課程編成の推進につながりました。	・小・中学校の学習指導要領全面实施に伴う9年間を見通した教育課程を編成し、検証を行い改善することが必要です。	3	・中学校区の学校同士の連携をさらに深め、学習指導要領に基づく社会に開かれた教育課程の実現に向けて改善を図ります。
	39	教員の「兼務発令」の実施 (継続的取組み)		指導課	・9年間を見通した学びを実現するため、兼務発令を計画的に実施し、中学校教員35名を、中学校区の小学校に兼務発令しました。	・兼務発令された中学校教員が小学校で授業を行うことで、小中一貫教育の推進と、児童の中学校生活への不安を取り除くことができました。	・小学校教員が中学校教員の指導を参観することで、教科特有の専門的な指導技術を向上させていく必要があります。	3	・兼務教員を増加させ、小学校と中学校の一貫した指導体制の構築及び小学校教科担任制を進めます。
4 国際社会で活躍できるコミュニケーション能力の育成のための教育の推進	40	児童生徒のコミュニケーション能力を高める外国語活動及び英語教育の充実 (継続的取組み)		指導課	・英語指導法の工夫改善に向けた授業研究会を実施し、教員の指導力向上を図りました。 (年間1回、小・中学校英語担当教員27名参加) ・外国語指導助手(ALT)21名を小中学校に配置し、児童生徒のコミュニケーション能力の向上を図りました。	・小学校では新学習指導要領が全面实施となつてから1年が経過し、各学校で研究実践が進み、英語授業における工夫改善や質の向上が見られました。 ・中学校では新学習指導要領が全面实施となり、各学校での研究が進む中で、小学校とのつながりを意識した指導の充実が見られました。	・小学校で学習したことを中学校でさらに発展充実させていくこと、学習到達目標を明確にし評価方法を共有することが今後の課題です。	3	・小学校と中学校の交流や連携を深める研修を実施し、9年間を見通した英語教育の充実を図ります。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
施策	1 学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	41	英語検定受験料補助の実施 (継続的取組み)		指導課	・中学3年生の英語検定受験料の補助を実施し、生徒の英語力及び学習意欲の向上を図りました。	・市内在住の中学3年生314名が英語検定を受験し、受験料補助を申請しました。 ・英語学習の成果の指標となり、生徒の意欲喚起につながりました。	・本事業についてのさらなる周知の徹底が必要です。また、生徒に受験しやすい環境を提供するために、準会場受験について市内中学校の協力が必要です。 ・補助対象学年の拡大を求める声が多くありました。	3	・本事業の周知徹底及び市内中学校への試験会場等の協力について呼びかけを行います。 ・補助の対象学年及び回数について検討します。
	42	姉妹都市提携をしているローズバーグ市との久喜市中学生国際親善交流事業 (継続的取組み)		指導課	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業が中止になりました。	—	・持続可能な交流の在り方について検討する必要があります。	—	・「国際化の進展する社会における望ましい交流のあり方を身に付ける」という目的達成に向けて、実施方法や時期について検討し、事業の更なる充実を図ります。
	43	久喜市小学生イングリッシュキャンプの実施 (継続的取組み)		指導課	・市内小学校6年生を対象とし、コロナ禍のためオンラインで実施しました。児童の英語力及び学習意欲の向上を図りました。	・市内の小学6年生22名がオンラインによるイングリッシュキャンプに参加しました。 ・児童の英語力を高めることができ、また学習意欲も高まりました。	・実施内容や児童の参加方法等について、様々な選択肢を用意する必要があります。	3	・外国語指導助手(ALT)と指導内容及び方法について工夫改善を図り、オンラインでの実施も視野に入れながら活動内容の充実を目指していきます。
5 環境・キャリア教育等、多彩な指導の推進	44	SDGs実現に向けたESDの推進 (継続的取組み)		指導課	・各学校が、教育課程とSDGsの関連を明らかにした一覧表や、各学年の学習がSDGsの視点でどのように関連しているかを体系化した「ESDカレンダー」を作成しました。	・それぞれの教育活動とSDGsのゴールとの関連が視覚化、明確化され教員同士の連携を図ることができました。 ・社会とのつながりを意識した教科横断型の学習を計画できるようになりました。	・ESDの取組みをより一層進めるためには、SDGs及び教科横断型の学習に関する教職員の理解を図っていくことが必要です。	3	・市の研究委員会を活用し、SDGs及び教科横断型の学習に関する研修を実施していきます。 ・学校が、地域や企業と連携したプロジェクト型学習を実施できるように支援していきます。
	45	学校の教育活動全体を通じた環境教育の推進 (継続的取組み)		指導課	・環境教育全体計画に基づき、学校周辺の環境美化や飼育栽培活動に主体的に取り組んだり、リサイクル活動など身近な環境問題についての学習に取り組んだりしました。	・各教科や総合的な学習の時間等で、身近な環境問題について調べ、解決策を考えた結果、環境美化やごみの分別への意識が高まりました。	・学習指導要領の内容を踏まえ、カリキュラムマネジメントの視点でより教育効果の高いものにしていくことが大切です。	3	・今後も身近な環境問題に目を向けられるよう教育活動全体を通じて指導するよう支援します。
	46	発達の段階に応じたキャリア教育の推進 ※再掲(連番No.82) (継続的取組み)		指導課	・進路指導・キャリア教育全体計画に基づき、各教科、特別活動、総合的な学習の時間等の中で、職業についての学習や、進路指導、体験学習を通して、望ましい職業観の育成に努めました。	・職業に関する学習や、体験活動、進路学習を行っていくことで、自分の生き方に通じる職業への関心が高まりました。	・さらに教育効果を高めていくため、指導計画に教科横断的な視点を取り入れたり、地域の方などの協力を得たりして、児童生徒の意識の高揚と、学習内容の充実の両立を図っていくことが必要です。	3	・今後は、指導計画に教科横断的な視点を取り入れ、自己の能力を生かし社会に貢献していくための資質能力を育むための学びの充実を図る必要があります。
	47	主体的な進路選択の能力を育成する社会体験チャレンジの実施 ※再掲(連番No.83) (継続的取組み)		指導課	・中学2年生に対して、新型コロナウイルス感染対策を行い、可能な範囲で、社会体験チャレンジの代替行事として、体験、インタビュー、講演などを実施しました。これらの活動を通して、望ましい勤労観や社会観を身に付ける学習に取り組みました。	・職業体験に代わる行事や授業を通して、職業観の育成が図られ、主体的な態度や社会観が育成されました。	・感染不安の中、社会体験チャレンジの実施に協力していただける事業所の確保等の課題があります。	3	・事業所の確保等、学校の負担が増加しています。教育効果が損なわれないよう配慮しながら、事業の形を少しずつ転換していく必要があります。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
施策	1 学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
6 情報通信ネットワークを活用した学習、プログラミング教育、情報モラル教育の推進	48	情報モラル教育の実施 (継続的取組み)		指導課	・情報モラル講演会の開催(トレンドマイクロ株式会社、Google社)やひろきょう情報モラルコンテンツの活用を通して、積極的な取組みを促進し、情報モラル教育の充実を図りました。	・各機関と連携した児童生徒向けの情報モラル教室を実施し、モラルやマナーについての意識の向上を図ることができました。	・一人一台端末の活用を前提とした情報モラル教育を行う必要があります。 ・小学校第1学年から中学校第3学年まで、デジタル・シティズン・シップを育む系統的な指導計画を作成する必要があります。	3	・デジタル・シティズン・シップ教育をはじめとする一人一台端末の活用を前提としたGIGAスクール環境下における情報モラル教育の充実を図る必要があります。 ・企業等との協力体制を構築します。
	49	一人一台のChromebookを活用した学習の推進 ※再掲(連番No.151) (継続的取組み)		*指導課	・Chromebookの基本操作各種ツールを活用した学びのデザインについて研修会を実施しました。 (実施校33校、参加者数のべ504人) ・市内全児童生徒分のChromebookが整備され、情報活用能力が高まりました。 ・児童生徒が、主体的な学びのツールとしてChromebookを利用したり、ハイブリッド、オンライン授業の日常化が図られたりしました。	・児童生徒の情報活用能力育成のために、教職員同士がChromebookの活用と授業のアイデアについて共有することで、取組みを推進することができました。	・教員ごとに端末を活用する頻度に差があります。 ・教職員用端末の配備と学習者用端末の修繕対応、破損防止対策が必要です。	3	・全ての教員が端末を活用した授業と児童生徒が主体的に端末を扱うことができるよう、研修会を工夫します。 ・活用事例をもっと手軽に見られる環境づくりや映像化を進めます。
	50	プログラミング教育の実施 (継続的取組み)		指導課	・小学校プログラミング教育について、ChromeOS対応アプリの整備や、事例集等の授業資料のサイト掲載を通じた整理を行いました。 ・企業と連携したSTEAM教育の取組みを通じ、エコパックにプログラミングしたデザインを印刷するなど教科横断的な授業を行いました。	・小学校プログラミング授業を通して、対話的、協働的な学びを位置づけることができ、プログラミング的思考の育成に寄与することができました。	・共有された事例や教材をもとに、更なる指導事例の蓄積や、資質能力を育むことができるカリキュラムの検証及び体系化や、企業と連携したSTEAM教育の推進が必要です。	3	・各校で教材・教具をより活用しやすくできる環境整備と実践事例の更なる蓄積、共有化を進めています。 ・市内小学校プログラミング教育の年間カリキュラムの検証と、企業と連携したコンテンツの提供を行っていきます。
	51	情報通信ネットワークを活用した学習 (継続的取組み)		指導課	・教職員向けサイトや共有ドライブ、学校WANを活用して、指導案や実践事例・資料等の共有化を行いました。 ・臨時休業時のオンライン授業の取組みを行い、コロナ禍においても、Google Workspace for EducationなどのICTを活用し、学びを止めない教育活動が推進できました。	・資料等の共有化が図られ、教材研究のための時間の確保や教育活動の質が向上しました。教材に関する情報交換もスムーズに行えるようになりました。 ・オンライン授業やハイブリッド授業を実施する際の配慮事項や必要なスキル等が明らかとなりました。	・活用に際して、引き続きすべての教職員に対し、操作やシステムについて周知していく必要があります。	3	・ICT推進役となる教師の育成を進めます。 ・更なる活用に向け、周知を徹底して行きます。 ・Google Workspace for Educationを活用した効果的な学習を進めます。
7 理数系人材の育成	52	小学校理科支援員の配置 (継続的取組み)		指導課	・各校年間30回、8名の理科支援員を第3学年から第6学年までの理科授業に配置し、観察・実験活動等における教員の支援を行いました。	・理科の授業で担任や担当教員と連携を深めることで、理科の授業を通して思考力や表現力の育成が図られました。 ・理科担当の教員と連携し、理科室経営を充実させ、理科室での授業が行いやすくなりました。	・各校担当教員と支援員との連携がより円滑になるよう、体制を構築していくことが必要です。	3	・定期的に学校を訪問し、実施状況を把握するとともに、運営方法や指導について支援していく必要があります。
	53	小学校理科教育研修会の実施 (継続的取組み)		指導課	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から研修会が中止になりました。	—	・若手の教員が多くなってきています。また、理科を専門としていない教員も多く、指導力を向上させることが必要です。 ・研修会のオンライン化を進め、コロナ禍においても実施ができるようにすることが必要です。	—	・オンラインを活用した研修会を実施するとともに、研修の様子を配信し、教員の指導力の向上を図ります。

* 連番49 実施計画作成時点においては学務課と指導課が事務を所管しておりましたが、令和3年度から学務課の事務が指導課に移管となりました。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
施策	2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 道徳教育の充実	54	読み物資料を活用した道徳の時間の充実 (継続的取組み)		指導課	・「彩の国の道徳」、「私たちの道徳」、久喜市郷土資料「本多静六」の資料を年間指導計画に位置付け、計画的に指導を行いました。	・各校で「彩の国の道徳」、「私たちの道徳」、久喜市郷土資料「本多静六」を意識して活用し、授業を行うことで、児童生徒の道徳性を養うことができました。	・特別の教科道徳における児童生徒の学びがより深いものとなるよう、授業改善を図っていく必要があります。	3	・今後も、適正に年間指導計画に位置付け、授業を行うようにします。 ・道徳教育推進に係る情報を提供できるようにしていきます。
	55	学校の教育活動全体を通じての道徳教育の推進 ※再掲(連番No.88) (継続的取組み)		指導課	・道徳教育研究委員会を3回開催し、特別の教科道徳の視点での教材研究と授業実践を行い、実践事例を作成しました。 ・実践事例や久喜市独自教材等を活用できる「久喜市版道徳教育リーフレット」を作成しました。	・授業改善につながる実践事例を作成、情報提供できました。 ・久喜市版道徳教育リーフレットを全教職員が活用できるようになりました。	・久喜市版道徳教育リーフレットを全教職員が効果的に活用できるようにしていく必要があります。	3	・久喜市版道徳教育リーフレットを効果的に活用できるよう、周知していくとともに、次年度の研究委員会で内容を深めていきます。
2 体験活動の充実	56	発達の段階に応じた体験活動の計画的な実施 ※再掲(連番No.80) (継続的取組み)		指導課	・70万人体験活動や自然体験活動、集団宿泊活動、文化的活動やボランティア活動等の豊かな体験活動において、道徳教育との関連を年間計画や具体的な実施計画に位置付け、計画的に実施できるようにしました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、集団宿泊活動を宿泊を伴わない代替案で実施した学校もありました。	・様々な体験活動を通して、児童生徒は、集団や社会の中で自分の役割を果たすことや、友人との人間関係などを実感として学ぶことができました。	・多くの体験活動を実施できる学校がある一方で、体験活動を実施するための人的資源や物的資源の確保が難しい学校もあることから、各校の有する人的・物的資源を共有していくことが必要です。	3	・各校の有する人的・物的資源を共有していくための情報交換の機会を設定します。
	57	家庭、地域と連携を図った自然体験、文化活動等の体験活動の充実 (継続的取組み)		指導課	・学校応援団ボランティアの協力により、学校ファームの充実や田植え体験等を行いました。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、社会チャレンジ事業を職場インタビューなど、代替案で実施した学校もありました。	・学校応援団の研修会を実施し、事例を共有したことで、団員がよりよい学校応援団の在り方を学ぶことができました。 ・実際の生活や社会、自然のあり方を学ぶことで、主体的に取り組む力を身に付けることができました。	・学校に関わってくださる様々な方々の確保や、物的な教育資源の整理を行い、より効率的な教育活動の展開を目指す必要があります。	3	・今後も、学校・家庭・地域で連携して、体験活動の充実を図ります。 ・学校に関わってくださる方々の確保や、地域社会にある教育資源の発掘や有効活用を行っていきます。
	58	地域の行事等を生かした体験活動の充実 (継続的取組み)		指導課	・コロナ禍のため、祭りやボランティア活動など地域の行事は中止または規模が縮小されましたが、地域の方々と、地域の取組みを体験し、地域について学ぶことができました。	・地域の方々と共同して活動することにより、社会性や他者を尊重する態度等の育成につながりました。	・地域の行事等に積極的に参加する児童生徒もありますが、より多くの児童生徒に地域社会を通しての体験活動を体験させることが必要です。	3	・学校運営協議会等を活用し、児童生徒が参加できる場を設定したり、積極的に参加できる環境を整えたりしていきます。
	59	小学校における学校動物飼育の推進 (継続的取組み)		指導課	・小学校における動物飼育の診断等に関する契約を獣医師会と締結し、学校ごとに診察、検査を日常的に行うとともに、獣医師による巡回飼育指導を2回行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、年2回行っていた動物飼育担当の研修会は中止しました。 ・獣医師による巡回指導の内容を児童に伝えることで、生命尊重の心と豊かな感性を育むことができました。	・獣医師と連携し、適切な動物飼育の管理体制が構築できました。 ・児童に生命尊重の精神と豊かな心をはぐくむことができました。	・動物飼育担当者が毎年変わり、若く経験が少ない教職員が担当となることが多い状況が課題となっています。	3	・今後も、初めて動物飼育を担当する教職員に対して、年度当初に研修会を計画したり、動物飼育に関する資料が確実に引き継がれたりするよう、学校を指導します。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
3 規律ある態度の育成	60	基本的な生活習慣や学習習慣の定着 (継続的取組み)		指導課	・学校便り、学年便り、学級便り等で情報を提供しました。 ・長期休業日の過ごし方について周知しました。 ・学級懇談会等で議題にとりあげました。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、久喜市生徒指導推進委員会は、中止しました。	・学校においては、時間を守ること、身の回りの整理整頓、挨拶等、小・中学校が連携し充実した取組みができました。	・教師からの働きかけによる定着ではなく、児童生徒中心の自治活動を進めていく必要があります。	3	・今後は、児童会や生徒会中心の自治活動や、小中一貫に関わる取組みを進めていきます。
4 読書環境の充実と読書活動の推進	61	学習・情報センターとしての機能を有した学校図書館の運営 (継続的取組み)		指導課	・市内小・中学校33校に学校図書館教育主任を配置することができました。また司書教諭については、市内小・中学校33校中、32校に配置することができました。 ・読書活動の実践事例を募集し、特色ある学校図書館の運営について広報しました。	・各教科等で、資料を活用した学習が促進され、学習意欲の高まりが見られました。 ・市内の学校に特色のある取組みについて知らせることができました。	・市内に特色のある取組みを広げ、利用率、貸し出し数の拡大や、センター的機能を高めていく必要があります。	3	・今後も、児童生徒の読書活動や学習活動の充実のため、実践事例を全ての教員が閲覧できるようにします。
	62	朝読書、読書週間等の充実 (継続的取組み)		指導課	・読書タイムを設定したり、読み聞かせボランティアを活用したりして朝読書、読書週間等の充実に図りました。また、市立図書館職員によるブックトークも実施しました。 (久喜地区53回、菖蒲地区29回実施、栗橋地区27回、鷺宮地区22回)	・一週間の朝の活動の中で読書の時間を設け、学校全体で取り組むことにより、読書意欲が高まりました。 ・市内全地区でブックトークが実施され、本に親しむ機会が増えました。	・読書週間等への取組みにおける家庭地域との連携をさらに深めていく必要があります。 ・市立図書館職員によるブックトークを読書活動の充実に生かしていけるよう、教育課程に組み込んでいく必要があります。	3	・今後は、読書週間等に家庭・地域と連携して取り組めるよう推進に努めます。 ・コロナ禍においても充実した読書活動ができるよう工夫していく必要があります。
	63	学校応援団による読み聞かせの実施 (継続的取組み)		指導課	・読書ボランティアによる読み聞かせを実施しました。 (小学校：月2回、中学校：学期1回)	・読み聞かせボランティアによる読み聞かせにより、本に親しむ機会が増えました。 ・読み聞かせボランティアの読み聞かせは、児童生徒の落ち着いた心につながりました。	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動が減りましたが、徐々に通常の活動に戻りつつあり、本に親しむ機会を増やすためにも、オンライン読み聞かせも並行して行っていく必要があります。	3	・授業場面での読み聞かせボランティアを活用した取組み等、更に朝の読書時間以外での活用を広げられるよう努めます。
5 「久喜の子ども、5つの誓い」の推進	64	「久喜の子ども、5つの誓い」の学校・家庭・地域での推進 (継続的取組み)		指導課	・「久喜の子ども、5つの誓い」の具体的な取組みを実施するため、市教育委員会と市PTA連合会、市小・中学校長が連携しました。 ・学校だより、ホームページ等を通じて積極的に情報発信しました。 ・久喜市教育委員会の取組をまとめた「ALLKUKI教育改革プロジェクト」に記載し、周知しました。 ・オープン参観や学校行事の際には、家庭や地域に案内しました。	・積極的な情報発信を通して、学校・家庭・地域の連携を深めることができました。	・「久喜の子ども、5つの誓い」を学校・家庭・地域で推進するために、情報発信の手段をより多様にするのが課題です。	3	・ALL KUKI 教育改革プロジェクトを各学校のホームページ上に掲載する等、情報発信の手段を検討します。

基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 3 体力の向上と心身の健康づくりを図る教育の充実							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 学校体育の充実	65	児童生徒の体力に係る課題解決に向けた指導の工夫と改善 (継続的取組み)		指導課	・体育主任や養護教諭、保健主事、栄養教諭が委員として構成される体力向上推進委員会を開催し、市の体力課題について共有を図りました。また、各学校の体力課題に係る取組みをまとめた報告書を作成し、それをういた実践発表会を開催しました。	・各校が体育主任を中心に自校の課題解決に向けた取組みを継続的に実施することができました。 ・令和3年度新体力テストにおける体力上位(A・B・C)の割合は、令和元年度と比較すると、小学校は4.8ポイント減、中学校は3.7ポイント減でした。	・コロナ禍においても自らの目標を持ち他者と楽しく運動ができるように、ICTを活用した体育活動における個別最適な学びと協働的な学びについて推進していく必要があります。	3	・体力向上推進委員会において、ICTを活用した体力向上に係る効果的な取組みについて協議し、その成果を市内小中学校に発信していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標 施 策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実		3 体力の向上と心身の健康づくりを図る教育の充実					
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	66	児童生徒の体力の向上を目指した体育授業づくりの支援 (継続的取組み)		指導課	・青毛小学校、本町小学校において授業研究会を実施し、体力向上へ向けた授業改善を積極的に行いました。また、実践事例を教職員が閲覧できる共有ネットワークへ掲載し、各学校へ成果を周知しました。	・研究授業実践校の積極的な情報発信と、各校体育主任による協議により久喜市全体で授業づくりの工夫改善が図られました。	・体育主任だけでなく、すべての教員が体力向上に向けた授業改善を行えるよう、情報の発信に努める必要があります。	3	・市内で実施した研究授業の指導案やワークシートを共有サイトにアップし、全ての教員が閲覧できるようにします。
2 生涯にわたる心身の健康保持増進や豊かなスポーツライフを実現する力の育成	67	児童生徒が主体的に健康生活を行い、生涯にわたり運動を行う力の育成 (継続的取組み)		指導課	・体力向上推進委員会において、指導者を招聘し、オンラインによる体育授業及び健康の保持増進に関する研究授業を実施しました。 (体育主任、栄養教諭、保健主事、養護教諭等の計42名参加)	・体験活動を通して、各校の体育担当教諭が指導技術や知識を高めることができました。	・体育主任だけでなく、すべての教員が研修内容を活用できるよう、情報の発信に努める必要あがります。	3	・体力向上推進委員会で実施した研究授業及び講義の内容を、共有サイトにアップし、全ての教員が閲覧できるようにします。
	68	運動部活動の充実 (継続的取組み)		指導課	・中学校5校の運動部に部活動指導員を配置し、運動部活動における専門的な技術指導等の充実を図りました。	・専門的な技術及び指導法の充実により、生徒の技術力向上を図ることができました。 ・地域の指導者の活用により、運動部活動の充実とともに、地域社会との連携や協力体制が促進されました。	・各部活動の指導方針やマナー、安全面での指導等について、顧問教員と部活動指導員の共通理解を徹底していく必要があります。	3	・久喜市の部活動ガイドラインを周知徹底させ、安全かつ充実した部活動指導を推進していきます。 ・部活動の地域移行を見据え、関係各課と連携を図り、部活動のあり方を検討していきます。
3 食育の推進	69	「食」に関する指導の推進 (継続的取組み)		指導課	・「食」の大切さを学ぶため、各学校において、学校ファームを活用し、栄養教諭等と連携した学習指導の工夫と改善を図りました。 ・小・中学校における家庭科・技術家庭科・学級活動・総合的な学習の時間を中心に、児童生徒に対して食に対する啓発を行いました。	・久喜市の健康増進・食育推進計画に係る「朝食摂取率」の調査では、小学生は95.6%、中学生は90.0%と9割を越す児童生徒が朝食を摂って登校しています。	・朝食摂取率は、小・中学校ともに前年度より下降しており、今後摂取率の向上を目指し、保護者への啓発を行っていく必要があります。 (小学生:96.0%から95.6%となり0.4ポイント減、中学生:91.4%から90.0%となり1.4ポイント減)	3	・各学校の取組みや朝食の重要性をまとめて学校に配付し、各家庭への啓発を図っていきます。
4 学校保健の充実	70	学校保健計画の作成及び実践 (継続的取組み)		指導課	・養護教諭や保健主事を中心に、久喜市健康増進計画を参考にしながら、学習指導要領に基づき学校保健計画の作成及び実践を行いました。	・学校保健計画に基づき、児童生徒等及び職員の心身の健康の保持増進を図ることができました。 ・久喜市の健康増進・食育推進計画に係る「むし歯治療率」の調査では、小学校では、87.6%(対前年度比3.9ポイント増)、中学校では83.7%(対前年度比2.4ポイント増)でした。	・むし歯の治療率の上昇を図るため、保護者への啓発や指導法の改善に努める必要があります。	3	・外部機関と連携した授業の充実と、懇談会や個別面談を活用した保護者への啓発を各学校へ指導・支援していきます。
基本目標 施 策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実		4 学校における人権教育の充実					
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 人権問題を主体的に考え行動する児童生徒をはぐむ人権教育推進体制の充実	71	転入・新採用教職員学校同和教育現地研修会の実施 ※再掲(連番No.169) (継続的取組み)		指導課	・夏季休業中に転入・新採用教職員を対象に、現地研修会を2日間開催しました。 (参加者数71名)	・転入・新採用教職員が、差別の現実を学び、同和問題についての認識を深めることができました。	・転入・新採用教職員が様々な人権問題についての正しい理解を深め、人権感覚をより磨いていくため、今後も継続して実施する必要があります。	3	・次年度も、夏季休業中に転入・新採用教職員を対象に、現地研修会を2日間開催します。
	72	教職員人権教育研修会の実施 ※再掲(連番No.170) (継続的取組み)		指導課	・夏季休業中に全教職員を対象に、「これからの人権教育について」を演題として、教職員人権教育研修会を4回開催しました。 (参加者数743名 会場106名、オンライン637名)	・全教職員が参加することにより、教職員の人権教育の一層の推進に役立てることができました。	・全教職員が人権感覚をより高めるため、正しい理解のもと指導に当たることができるよう、今後も継続して実施する必要があります。	3	・次年度も、夏季休業中に全教職員を対象に、教職員人権教育研修会を4回開催します。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
施策	4 学校における人権教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	73	校長同和教育研修会の実施 ※再掲(連番No.171) (継続的取組み)		指導課	・市内小・中学校長を対象に、校長同和教育研修会を1回開催しました。	・市内全小・中学校長が参加することにより、差別の実態を学び、部落差別の解消を目指す学校同和教育の一層の推進に役立てることができました。	・校長が様々な人権問題についての正しい理解を深め、人権感覚をより高めるため、今後も継続して実施する必要があります。	3	・次年度も、市内小・中学校長を対象に、校長同和教育研修会を1回開催します。
	74	人権教育教職員啓発資料「あおぞら」の作成 ※再掲(連番No.172) (継続的取組み)		指導課	・教職員人権教育啓発資料「あおぞら」を10月と3月の2回発行し、全教職員や市内公共施設にも配布しました。 ・授業等に活用し、人権意識の啓発を図りました。	・全教職員への配布により、教職員の人権意識を高めることができました。 ・市内公共施設に配布し、学校における人権教育の実施状況について、理解を広めることができました。	・全教職員が人権感覚をより高めるため、今後も継続して作成する必要があります。	3	・次年度も、教職員人権教育啓発資料「あおぞら」を10月と3月の2回発行し、全教職員や市内公共施設にも配布します。
	75	人権文集「えがお」の作成と積極的な活用 ※再掲(連番No.168) (継続的取組み)		指導課	・人権文集「えがお」を編集し、市内全児童生徒に配布しました。 ・各学校において人権文集「えがお」を発達段階に応じて活用し、人権教育を推進しました。	・人権作文や人権標語を書くことを通じて、児童生徒一人ひとりの心を耕すことができました。 ・人権文集「えがお」を活用し、児童生徒の人権意識を高めることができました。	・今後も継続して人権に関わる理解や、人権意識を高めていく必要があります。	3	・学校行事や道徳、特別活動等で人権作文の効果的な活用を進めます。
	76	心のこもったあいさつの奨励 (継続的取組み)		指導課	・学校便りや学年便り、学級便り、保護者会や面談等で心のこもった挨拶の実施について伝えました。 ・学校・家庭・地域がそれぞれの役割を再確認しました。	・学校・家庭・地域がそれぞれの役割を再確認し、役割を果たすことで充実した連携が図れました。	・学校内でのあいさつだけでなく、更に家庭・地域への心のこもったあいさつを広げていく必要があります。	3	・今後、学校・家庭・地域などのさまざまな生活の場において、自主性や自立性をはぐむ指導を進めます。
2 「人権感覚育成プログラム」の普及・活用	77	「人権感覚育成プログラム」の有効的な活用 ※再掲(連番No.167) (継続的取組み)		指導課	・栗橋南小学校に人権教育を主とした研究委嘱を行い、「多様な他者を認め合うみなみっ子の育成」を研究主題とし、ESD教育をはじめとするSDGsの視点に立った授業について研究を行うとともに、「人権感覚育成プログラム」を活用した授業を行いました。	・SDGsの視点に立った授業実践とともに、「人権感覚育成プログラム」を活用した授業を実践することができました。	・「人権感覚育成プログラム」を生かした授業等を積極的に実践していくよう、今後も普及・活用していくよう努める必要があります。	3	・「人権感覚育成プログラム」の一層の活用を推進するため、研修会への参加を推進していきます。
3 人権教育の指導内容・指導方法の工夫・改善	78	人権教育の指導内容、指導方法等についての工夫・改善 (継続的取組み)		指導課	・参加体験型学習(ロールプレイ・ブレインストーミング等)を取り入れた、児童生徒の主体的な学習活動を促す指導内容・指導方法の工夫・改善を推進しました。 ・各学校で進めている人権教育の取組状況をまとめた人権教育実践事例集を作成しました。	・「人権感覚育成プログラム」を活用した授業を実践するなど、指導内容・指導方法の工夫ができました。	・インターネット上でのトラブルなど、新たな人権課題に対して、理解を深めていく必要があります。	3	・今日的な人権問題に対応する人権教育を推進するため、研修の実施を推進していきます。
	79	男女共同参画の視点に立った指導内容、指導方法等の研究 (継続的取組み)		指導課	・校内研修等を通して、全教職員の共通理解を図り、指導方法の研究を行いました。 ・学校教育全体を通じて、組織的、計画的、継続的な指導を推進しました。	・人権教育を基盤として、男女平等の重要性、男女の相互理解と協力等、男女平等の視点に立った教育を積極的に進めることができました。	・今後も継続して、教職員への理解を図っていく必要があります。	3	・今後も、校内研修を充実し、男女共同参画の視点に立った指導ができるように努めます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 5 自立する力をはぐくむ教育の充実				自己点検・評価		達成度	今後の方向性
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	成果	課題		
1 夢と自信をもち、可能性に挑戦するために必要な力の育成	80	発達段階に応じた体験活動の計画的な実施 ※再掲(連番No.56) (継続的取組み)		指導課	・70万人体験活動や自然体験活動、集団宿泊活動、文化的活動やボランティア活動等の豊かな体験活動において、道徳教育との関連を年間計画や具体的な実施計画に位置付け、計画的に実施できるようにしました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、集団宿泊活動を宿泊を伴わない代替案で実施した学校もありました。	・様々な体験活動を通して、児童生徒は、集団や社会の中で自分の役割を果たすことや、友人との人間関係などを実感として学ぶことができました。	・多くの体験活動を実施できる学校がある一方で、体験活動を実施するための人的資源や物的資源の確保が難しい学校もあることから、各校の有する人的・物的資源を共有していく必要があります。	3	・各校の有する人的・物的資源を共有していくための情報交換の機会を設定します。
	81	自立を図るための主体的・能動的な力を養う体験活動の実施 (継続的取組み)		指導課	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「市内音楽会」は中止、「小学校陸上大会」は各学校開催としました。市内小・中学生が一堂に会することはできませんでしたが、記録に挑戦する活動を行いました。	・「小学校陸上大会」などに向けて、自分の通う学校だけでなく、他の学校の記録を交えた、より大きな目標に向けて挑戦していく態度を育むことができました。	・主体的・能動的な力の育成のために、学校だけでなく社会の中でも自分の役割を果たせる場の設定が必要です。	3	・今までの取組みを継承しながら、更に地域社会にある教育資源の発掘や有効活用を行っていきます。
2 生き方教育としての進路指導・キャリア教育の充実	82	発達段階に応じたキャリア教育の推進 ※再掲(連番No.46) (継続的取組み)		指導課	・進路指導・キャリア教育全体計画に基づき、各教科、特別活動、総合的な学習の時間等の中で、職業についての学習や、進路指導、体験学習を通し、望ましい職業観の育成に努めました。	・職業に関する学習や、体験活動、進路学習を行っていくことで、自分の生き方に通じる職業への関心が高まりました。	・更に教育効果を高めていくため、指導計画に教科横断的な視点を取り入れ、地域の方などの協力を得たりして、児童生徒の意識の高揚と、学習内容の充実の両立を図っていく必要があります。	3	・今後は、指導計画に教科横断的な視点を取り入れ、自己の能力を生かし社会に貢献していくための資質能力を育むための学びの充実を図る必要があります。
	83	主体的な進路選択の能力を育成する社会体験チャレンジの実施 ※再掲(連番No.47) (継続的取組み)		指導課	・中学2年生に対して、新型コロナウイルス感染対策を行い、可能な範囲で、社会体験チャレンジの代替行事として、体験、インタビュー、講演などを実施しました。これらの活動を通して、望ましい勤労観や社会観を身に付ける学習に取り組みました。	・職業体験に代わる行事や授業を通して、職業観の育成が図られ、主体的な態度や社会観が育成されました。	・感染不安の中、社会体験チャレンジの実施に協力していただける事業所の確保等の課題があります。	3	・事業所の確保等、学校の負担が増加しています。教育効果が損なわれないよう配慮しながら、事業の形を少しずつ転換していく必要があります。
3 相談・指導体制の充実	84	教育相談の充実 (継続的取組み)		指導課	・心理専門員2名、スクールソーシャルワーカー2名、スクールカウンセラー9名、適応指導教室に室長1名及び指導員10名を配置し、学校と児童生徒、その保護者との連携や相談活動を行いました。 ・小学校に8名、中学校に11名の教育相談員を配置し、悩みのある児童生徒やその保護者に対し、相談活動を行いました。 (相談件数:小学生1,817件、小学生保護者196件、中学生5,296件、中学生保護者1,258件) ・悩みを抱える児童生徒の担任等との連携を図りました。 ・小中一貫教育を推進していることから、小中学校相談員も連携を図りました。	・相談者に対し、多角的・多面的に指導、支援を行うことができました。 ・相談者の孤立感を軽減させることができました。 ・相談内容によっては、他の支援者と連携し、問題解決につなげることができました。 ・小中学校相談員が連携を図ることで、中1ギャップの軽減につながりました。	・相談内容が個人情報のため、丁寧に扱う必要があり、本人の確認を取りながら進めるので、思ったようにすぐに問題解決には至らないことがあります。 ・児童生徒や保護者の悩みの主訴が解決されるよう、正確な情報を支援者間でつないでいくことが課題です。	3	・教育相談員のスキルの向上を目指し、講師を招いた研修会等を実施し、相談員の資質、能力の向上に努めます。 ・正確な個人情報連携していくことができるよう、作成した支援シート等を活用していきます。
	85	心理専門員・スクールソーシャルワーカーによる相談の実施 ※再掲(連番No.92・95) (継続的取組み)		指導課	・心理専門員2名、スクールソーシャルワーカー2名を配置し、学校と児童生徒、その保護者との連携や相談活動を行いました。 (相談件数:心理専門員208件、スクールソーシャルワーカー472件) ・発達や不登校、引きこもり等の悩みを抱えている児童生徒、またその保護者に対する支援を行いました。また、学校や家庭との連携強化も図りました。	・専門職を配置したことで、よりよい指導、支援を行うことができました。 ・相談者や学校に対し、多角的、多面的に指導、支援を行うことができました。	・いじめや不登校、引きこもりの児童生徒やその保護者への支援の在り方を更に検討していくことです。	3	・児童生徒やその保護者にとって、よりよい支援につながる相談体制は継続しつつ、各専門職に適正な人数と、専門職間の支援内容の連携を更に検討し、課題・問題点を解決していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
施策	5 自立する力をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	86	教育相談研修会の実施 (継続的取組み)		指導課	・教育相談員や適応指導教室指導員等の資質、能力の向上や、相談スキル向上を目指し、心理専門員等による教育相談研修会を実施しました。 「内容：指導課専門家チームによるシンポジウム(不登校支援について)」 (オンラインで1回実施、各校1名以上の教員と相談員、適応指導教室指導員が参加)	・久喜市の課題である不登校児童生徒について、支援の方法や、不登校児童生徒の傾向別対応のヒントをもとに検討することができました。	・コロナ禍以前のように、年に2回研修会を実施し、相談員の資質、能力、スキル向上を目指す必要があります。	3	・相談員の相談スキルの更なる向上をめざし、研修会の実施方法や回数等を検討していきます。
	87	生徒指導・教育相談中級研修会の開催 (継続的取組み)		指導課	・県立総合教育センターと共催で、教員対象に教育相談のカウンセリング技法を学ぶ研修会を行いました。 (8月2、3、5日の3日間開催) (参加者数24人)	・久喜市内小・中学校の教員採用3年次以降の教員の教育相談スキルを向上させることができました。	・より多くの教職員が相談技術を身に付けていくことができるように、呼びかけをしていくことです。	3	・各学校の研修未参加の教員に参加を促し、教職員の教育相談スキルを向上させていきます。
4 いじめの防止対策の推進	88	学校の教育活動全体を通じての道徳教育の推進 ※再掲(連番No.55) (継続的取組み)		指導課	・道徳教育研究委員会を3回開催し、特別の教科道徳の視点での教材研究と授業実践を行い実践事例を作成しました。 ・実践事例や久喜市独自教材等を活用できる「久喜市版道徳教育リーフレット」を作成しました。	・授業改善につながる実践事例を作成、情報提供できました。 ・久喜市版道徳教育リーフレットを全教職員が活用できるようになりました。	・久喜市版道徳教育リーフレットを全教職員が効果的に活用できるようにしていく必要があります。	3	・久喜市版道徳教育リーフレットを効果的に活用できるよう、周知していくとともに、次年度の研究委員会で内容を深めていきます。
	89	ネットいじめやネットトラブルから子どもを守る啓発リーフレットの作成 (目標年度：令和4年度)		指導課	・啓発リーフレットの内容について、久喜市小・中学校校長会、久喜市PTA連合会と連携を図りながら検討を行い、啓発リーフレットを作成、配布しました。	・啓発リーフレット「久喜市版3つのスマホルール」(小学校版・中学校版)を作成することができました。	・ホームページや保護者会等で、啓発リーフレットの内容について、児童生徒、保護者、地域に周知し、トラブルの未然防止及び解決法等について理解を深めていくことが課題です。	A	・子どもたちがICTを適切、安全に使いこなすことができるよう、ネットリテラシーを含む情報活用能力の育成を推進していきます。
	90	放射線等に関する発達段階に応じた指導 (継続的取組み)		指導課	・中学校学習指導要領の理科第一分野において放射線等に関する学習を行いました。また、放射線等に関する副読本を活用した学習を行い、児童生徒の発達段階に応じて放射線等の基本的な性質について理解を深めました。	・放射線等に関する副読本を活用し、基本的な性質について理解を深めることができました。	・指導する教員にも正しい知識の習得が必要です。	3	・ICTを活用し、指導に有効となる資料や情報等を積極的に教員に提供していきます。
	91	いじめの早期発見・早期対応・早期解決に向けた取組の推進 (継続的取組み)		指導課	・久喜市いじめの防止等のための基本方針をもとに各学校において、いじめアンケートや教育相談を実施し、児童生徒一人ひとりと面談する機会を設け、いじめの早期発見、早期対応を図りました。 ・久喜市いじめ問題対策連絡協議会を2回実施し、現状把握及びいじめの未然防止、早期発見に向けた取組みについて協議しました。 ・いじめの認知件数と解消率は、小学校では544件で76.1%、中学校は66件で87.9%でした。	・いじめの未然防止とともに、早期発見、早期対応を行い、重大事態にならないように対応することができました。	・いじめの解消に向けて取り組み中のものについても、継続して指導、支援を行っていく必要があります。 ・各学校いじめ防止基本方針をもとに着実に取組みを実行できるよう、継続して点検していくことが必要です。	3	・いじめの未然防止や重大事態とならないように、今までの良い取組みを継続して行っていくと同時に、各学校いじめ防止基本方針をもとに着実に取組みを実行できるよう、継続して点検していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
施策	5 自立する力をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	92	心理専門員・スクールソーシャルワーカーによる相談の実施※再掲(連番No.85・95) (継続的取組み)		指導課	・心理専門員2名、スクールソーシャルワーカー2名を配置し、学校と児童生徒、その保護者との連携や相談活動を行いました。 (相談件数:心理専門員208件、スクールソーシャルワーカー472件) ・発達や不登校、引きこもり等の悩みを抱えている児童生徒、またその保護者に対しての支援を行いました。また、学校や家庭との連携強化も図りました。	・専門職を配置したことで、よりよい指導、支援を行うことができました。 ・相談者や学校に対し、多角的、多面的に指導、支援をすることができました。	・いじめや不登校、引きこもりの児童生徒やその保護者への支援の在り方を更に検討していくことです。	3	・児童生徒やその保護者にとって、よりよい支援につながる相談体制は継続しつつ、各専門職に適正な人数と、専門職間の支援内容の連携を更に検討し、課題・問題点を解決していきます。
5 不登校の防止対策の推進	93	不登校の解消を図る指導・支援体制の充実 (継続的取組み)		指導課	・適応指導教室4教室において、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心理専門員、適応指導教室室長・指導員等と連携を図り、必要に応じて子ども未来課等、福祉関係各課とも情報を共有し連携しながら、指導や支援を進めました。 (SSW2名、SC9名、心理専門員2名) (適応指導教室4教室、室長1名、指導員10名) ・年2回開催していた教職員向けの研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、年1回の実施となりました。	・様々な方面からの情報提供があり、各専門職が関わり情報を共有し、ケース会議等を行い、学校と各専門職や福祉関係等の支援者と連携を図り、効果的な不登校対策を推進できました。 〔令和3年度現状値〕 小学校43人(0.63%) 中学校138人(3.87%)	・個人情報の共有や交換となるため、情報の取り扱いには十分注意し、正しい情報が提供できるようにしていくことです。	3	・不登校や引きこもりの児童生徒やその保護者にとって、よりよい支援につながる支援体制は継続しつつ、各専門職に適正な人数と、専門職間の支援内容の連携を更に検討し、課題・問題点を解決していきます。
	94	適応指導教室指導員・スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問指導、相談の実施 (継続的取組み)		指導課	・適応指導教室訪問指導員と訪問相談員が行っていた訪問指導と訪問相談を、適応指導教室指導員とスクールソーシャルワーカーとの連携の中で行いました。家庭に引きこもっている児童生徒、またその保護者に対しての支援を行いました。 (適応指導教室指導員10名・スクールソーシャルワーカー2名) 家庭訪問の対応件数8件	・引きこもりの児童生徒、またその保護者に対しての家庭訪問による相談や支援、その後の学習指導を行うことができました。また、適応指導教室への通級へとつなげることもできました。 ・社会的自立に向けた支援として、家庭訪問での相談や学習指導が必要な段階の引きこもりの児童生徒に対し、関係機関と連携し、学校生活以外のことにも相談にのるなど、広く支援を行うことができました。	・引きこもりだけでなく、ヤングケアラー・貧困等の問題を抱える児童生徒、またその保護者への支援や問題解決に向け、スクールソーシャルワーカーを今まで以上に積極的に活用する必要があります。	3	・スクールソーシャルワーカーがつなぎ役として家庭訪問等を行い、適応指導教室への通級等、自ら外に出て支援を受けに来る段階まで進めていきます。
	95	心理専門員・スクールソーシャルワーカーによる相談の実施※再掲(連番No.85・92) (継続的取組み)		指導課	・心理専門員2名、スクールソーシャルワーカー2名を配置し、学校と児童生徒、その保護者との連携や相談活動を行いました。 (相談件数:心理専門員208件、スクールソーシャルワーカー472件) ・発達や不登校、引きこもり等の悩みを抱えている児童生徒、またその保護者に対しての支援を行いました。また、学校や家庭との連携強化も図りました。	・専門職を配置したことで、よりよい指導、支援を行うことができました。 ・相談者や学校に対し、多角的、多面的に指導、支援をすることができました。	・いじめや不登校、引きこもりの児童生徒やその保護者への支援の在り方を更に検討していくことです。	3	・児童生徒やその保護者にとって、よりよい支援につながる相談体制は継続しつつ、各専門職に適正な人数と、専門職間の支援内容の連携を更に検討し、課題・問題点を解決していきます。
6 非行・問題行動の防止対策の推進	96	学校・家庭・地域が一体となった積極的な生徒指導の推進 (継続的取組み)		指導課	・各学校で生徒指導推進委員会を実施し、学校・家庭・地域・関係機関との連携を図りました。 ・学校運営協議会等を中心に、学校・家庭・地域との連携を強化し、非行・問題行動の予防・根絶を図りました。 ・コロナウイルス感染状況に鑑みて、久喜市生徒指導推進委員会は開催しませんでした。	・校内での情報共有や関係機関・地域との連携の中で、問題行動の早期発見を図ることができました。	・学校、家庭、地域、関係機関、それぞれの立場でできることや役割を明確にし、組織が連携して取り組んでいく必要があります。 ・コロナ禍において、オンラインでの開催を含め、久喜市生徒指導推進委員会が開催できる体制を整えることが必要です。	3	・今後も組織的な連携の更なる充実を図ります。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
施策	5 自立する力をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	97	非行・問題行動の防止策の推進 (継続的取組み)		指導課	・久喜警察署、幸手警察署管内学校警察連絡協議会を開催しました。 (各年3回実施) ・市内小・中学校において、非行防止教室、薬物乱用防止教室を実施しました。	・交通事故、非行問題行動の現状についての情報交換など、久喜警察署、幸手警察署との連携が強化されました。	・緊急事態や様々な事案に対応できるよう日頃から連携を密にし、情報を共有しておく必要があります。	3	・細やかな連携を図り、重大事案が起きた時だけでなく、日頃から児童生徒の健全な育成に努めていきます。
7 インクルーシブ教育体制の整備・充実	98	特別支援教育巡回指導、県立特別支援学校との連携 (継続的取組み)		指導課	・久喜市心理専門員や特別支援教育指導員を派遣し、対象児童生徒の支援方法について校内研修等、各校1回ずつ、それぞれ33回実施することができました。 ・特別支援学校のセンター的機能を活用し、巡回支援及び教育相談を実施しました。 (小学校21回、中学校7回)	・臨床心理士による、より専門的な立場からの児童生徒の困り感や障がいの状況、その子に合った支援方法、教育的ニーズは何かについて、指導・助言を得ることができました。 ・特別支援学校のセンター的機能の活用回数が増えました。	・モデル授業を基に特別支援学級の優れた実践を各校に広げるなど、授業の改善を図ることが必要です。	3	・特別支援学校のセンター的機能について、校長会で周知し、活用を推進していきます。
	99	適切な就学支援の推進 ※再掲(連番No.105) (継続的取組み)		指導課	・障がい児就学支援委員会を4回開催し、委員会の意見を生かし、保護者と合意形成を図りながら適切な学習形態を選ぶよう支援しました。 ・未就学児・在学児童生徒について学校や関係機関と連携し、就学支援を進めました。 ・久喜市教育相談室を隔週水曜日に開設しました。 (就学相談件数：指導課76件、面接相談室79件)	・704人の未就学児、小・中学校児童生徒の就学について、障がい児就学支援委員会で審議され、適切に就学先を決めることができました。	・児童生徒数が減少している中、支援を必要とする児童生徒が増加しているため、支援体制の整備が必要です。	3	・障がい児就学支援委員会の内容を精選し、丁寧に審議できるようにします。 ・関係機関と連携し適切な就学支援を行えるよう体制を整備します。
	100	特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する指導方法の共通理解 (継続的取組み)		指導課	・個別の指導計画・支援計画の作成について「できること」を中心に記述するよう指導助言しました。 ・特別支援教育指導員を市内33校に派遣し特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する指導方法について助言を行いました。 ・支援学校と連携を図り、研修をオンラインで行いました。 ・特別支援教育コーディネーター等を対象とした研修を3回実施しました。	・特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援の仕方の具体的な手立てを考える機会となりました。	・児童生徒の見立てについて多面的な理解ができるようにすることや、その子の特性に合わせ、得意なところを伸ばす指導の工夫に視点を当て指導方法を工夫改善することが必要です。	3	・市内全特別支援学級に特別支援教育指導員を派遣し、授業改善や環境づくり、児童生徒の見立てなどの指導・助言を行う体制づくりをします。
	101	通級指導教室の運営の充実 (継続的取組み)		指導課	・年間活動計画を作成し各学校に啓発しました。 ・通級指導教室担当による在籍校訪問を実施し、各校との連携を強めました。 ・市教育委員会担当者と通級指導教室担当者の連絡会を3回実施しました。	・通級指導教室に係る事務処理の手続きに年間活動計画が入ったことで1年間の見通しや共通理解が保護者と在籍校で図れるようになりました。	・通級指導教室への相談人数が増えている中、時間割の組み方や教育相談対応の児童への適切な支援について改善する必要があります。	3	・時間割の工夫や通級指導教室の増設の方向で検討するなど、指導体制を整えていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
施策	5 自立する力をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	102	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の支援の充実 (継続的取組み)		指導課	・教育活動指導員43人、教育活動支援員13人、教育活動看護支援員1名を適切に小・中学校に配置し、児童生徒への個別の支援を行いました。	・コロナ禍で、感染拡大防止策を講じながらの教育活動を行う上で、より丁寧な個別の支援を行うことができました。	・小・中学校では個別の支援が必要な児童生徒が増え、学校や保護者からの要望もあるため、教育活動指導員・教育活動支援員の増員を検討していく必要があります。	3	・児童生徒が安心・安全で適切な支援を受けられるよう教育活動指導員を増やすための働きかけを続けていきます。
	103	支援籍学習の充実 (継続的取組み)		指導課	・特別支援学校の児童生徒23名が各小・中学校での支援籍学習に円滑に取り組めるよう、連絡調整を行いました。 ・特別支援学校の児童生徒の保護者に案内する際に、支援籍交流について説明し、良さを伝えました。	・児童生徒が支援籍学習に参加することで、地元の小・中学校とのつながりを自覚し、自立する力をはぐくむことができました。	・中学校での支援籍学習の実施が少ないことが課題です。	3	・就学相談で支援籍学習を紹介し、中学生の実施の効果を保護者や学校に広めるなどインクルーシブ教育を推進します。
	104	「個別の支援計画・指導計画」の作成と活用の推進 (継続的取組み)		指導課	・「個別の支援計画・指導計画」の作成の仕方について、特別支援教育指導員を指導助言のために派遣しました。 ・記入上の留意点や記入例を小・中学校の特別支援教育コーディネーターに配布し研修会の中で説明しました。また、定例校長会・教頭会でも管理職に内容を知らせました。	・「できること」を中心に記入すること、保護者への公開、共通理解が図れるように配慮することなど啓発することができました。	・通常学級に在籍する児童生徒にも、支援が必要とする児童生徒の場合には作成することが必要です。	3	・教育活動指導員・支援員が支援する児童生徒に対しては通常学級の場合にも作成するよう進めていきます。
8 就学支援・相談の充実	105	適切な就学支援の推進 ※再掲(連番No.99) (継続的取組み)		指導課	・障がい児就学支援委員会を5回開催し、委員会の意見を生かし、保護者と合意形成を図りながら適切な学習形態を選ぶよう支援しました。 ・未就学児・在学児童生徒について学校や関係機関と連携し、就学支援を進めました。 ・久喜市教育相談室を隔週水曜日に開設しました。 (就学相談件数:指導課76件、面接相談室79件)	・704人の未就学児、小・中学校児童生徒の就学について、障がい児就学支援委員会で審議され、適切に就学先を決めることができました。	・児童生徒数が減少している中、支援を必要とする児童生徒が増加しているため、支援体制の整備が必要です。	3	・障がい児・就学支援委員会の内容を精選し、丁寧に審議できるようにします。 ・関係機関と連携し適切な就学支援を行えるよう体制を整備します。
	106	心理専門員による相談・検査の実施 (継続的取組み)		指導課	・心理専門員を配置し、様々な課題のある児童生徒、またその保護者に対しての相談、助言を行いました。また、その際、必要がある児童生徒に対しては、発達心理検査等を行い、児童生徒のよりよい成長と、保護者と学校への支援を行いました。 (心理専門員2名、相談・検査等対応件数23件)	・様々な課題のある児童生徒、またその保護者に対して相談・助言をし、児童生徒の成長や生活に対してのアドバイスを行うことができました。 ・発達心理検査等を行うことで、児童生徒、またその保護者、学校への支援につなげることができました。	・小・中学校に配置されている県費のスクールカウンセラー(臨床心理士)の活用をする前に、久喜市心理専門員への依頼が来ることで多くなってしまっていたので、臨床心理士の活用に関するマニュアル等を整えました。まだ、浸透していないので、実践しながら活用していく必要があります。	3	・令和元年度から、小学校にも県費のスクールカウンセラーが配置されたため、「教育相談のリーフレット」を作成し、相談の流れ(臨床心理士の活用順)について明記しました。また、教育相談についてのガイドラインを作成したので、実践、活用し、各専門職の活用の流れを整えていきます。
9 日本語指導の推進	107	小・中学校に在籍する外国籍児童生徒の日本語指導の推進 (継続的取組み)		指導課	・小学校10校、中学校5校に在籍する日本語指導が必要な児童生徒33名を対象に4名の日本語指導員を配置し、個々のレベルに応じて指導を行いました。	・個別指導を基本とした丁寧な指導を積み重ねることにより、「話すこと」「読むこと」については、多くの児童生徒に大きな成果が見られました。	・漢字や文章を書くことについては、更なる指導の工夫や時間の確保が必要です。 ・中学校については、教科書や授業の内容を理解するための学習言語の習得に向けた指導が課題です。	3	・外国籍児童生徒は、これから更に増えていくことが予想されるため、指導の効率化及び実践的な指導の充実はもとより、指導員の増員も検討していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 5 自立する力をはぐくむ教育の充実							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	108	ユニバーサルデザインの授業の推進 (継続的取組み)		指導課	・令和元年度から令和3年度の研究として、多様な教育ニーズに対応するユニバーサルデザインを取り入れた授業研究を清久小学校に委嘱し、研究実践を推進しました。 ・各校から参集した授業研究会参加者が自校において清久小の実践を伝達し、ユニバーサルデザインの授業に資する校内研修が推進されました。	・清久小学校では、「久喜市版未来の教室の創造～一人一台タブレットの導入による個別最適化の学習～」を研究主題とし、個別支援の方法の一つとしてICTの有効な活用方法を、市内外の教職員、関係各機関に、実践内容とを広めることができました。	・清久小学校の授業の取組みが、久喜市内の小・中学校で広く実践されていくことが課題です。	3	・清久小学校の授業の取組みが、久喜市内の小・中学校で広く実践されていくように、各小・中学校と共に授業研究等を行っていきます。
10 教育センターの整備	109	就学相談・発達相談の充実 (継続的取組み)		指導課	・特別支援教育や生徒指導など、教育相談に係る情報を共有できるようにしました。 ・特別支援教育と生徒指導の担当指導主事を同じチームとして業務を行う組織にしました。 ・心理専門、特別支援教育指導員を配置し、就学相談や発達相談を実施しました。	・教育相談や生徒指導関係、就学相談関係の情報が共有化できるような体制が整備されました。 ・就学相談や発達の相談に対し、3人体制で相談を行うことができ、業務の効率化が図られました。	・教育センターに教育相談の部屋と機能を設置し、市民にサービスを早く提供することが急務です。	3	・教育センター設置に向けて人、モノ、施設の整備を前進させます。
	110	関係機関との連携 (継続的取組み)		指導課	・幼稚園、保育所、認定子ども園、保健センターや障がい者福祉課、子ども未来課、県立特別支援学校、放課後デイサービス、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心理専門員、特別支援教育指導員、ことばの教室指導員等、必要に応じて相談ができるよう体制を整えとともに、情報共有等を行い、連携を図りました。	・フリースクールについての情報や児童相談所などが家庭に訪問する際の留意点など専門的な立場から助言を得られました。	・教育センター機能を教育センターに集約することで、情報共有と関係機関との円滑な連携を図ることが必要です。	3	・教育センターの方向性が定まるまでに、関係機関及び関係職員が、円滑に連携できる体制整備を進めます。
	111	教職員研修の実施 (継続的取組み)		指導課	・教職員の資質能力の向上を図るため、オンラインを活用して、各種研修会を実施しました。 (参加者数:通級指導1回33名、ICT活用13回のべ389名、ミドルリーダー6回のべ216名、校長先進校視察1回33名) ・通年で各小・中学校の校内研修支援を実施しました。(年間33回)	・教職員の資質能力の向上を図ることができました。	・これまで実施してきた研修を見直し、キャリア段階や教職員の特質・関心に応じ体系化された研修計画の作成が必要です。	3	・これまで実施してきた研修を抜本的に見直し、キャリア段階や教職員の特質・関心に応じ、研修計画全体を整理・体系化します。
基本目標 施策		2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実 6 安全教育の充実							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 児童生徒の危機回避能力の育成	112	実践的な災害対策訓練の実施支援 (継続的取組み)		指導課	・実践的な対策訓練として、災害図上訓練DIG(大きな地図をみんなで囲み、経験したことのない災害をイメージして地域の課題を発見し、災害対応や事前の対策などを検討するための手法)を実施しました。(青葉小、久喜東小、桜田小、栗橋西小にて各1回実施、336名参加)	・災害図上訓練DIGを取り上げ、研修を行うことで、学校に取組みを広げることにつながりました。 ・学校での取組みが家庭、地域に広がり、地域一体で実践的な災害対策訓練を実施することができました。	・児童と保護者だけでなく、地域と連携した取組みになることが望まれます。	3	・今後は、実践的な災害対策訓練をさらに市内に拡大していけるよう努めます。
	113	「共助」の精神をはぐくむ安全教育の推進 (継続的取組み)		指導課	・安全教育年間指導計画に沿って、計画的に安全教育を推進しました。 ・図上訓練DIG、避難訓練、引渡し訓練等、保護者と地域とともに、研修会を行いました。	・児童生徒の防災意識の向上につながり、「共助」の精神の高まりが見られました。 ・保護者、地域とともに災害図上訓練DIGを行ったことで、近隣の方の間にも「共助」の精神の高まりが見られました。	・実践行動につながるよう、学校、家庭、地域の連携の強化が必要です。	3	・今後はさらに学校が核となり、地域社会への「共助」の精神を育んでいけるよう連携強化に努めていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
施策	6 安全教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
2 交通安全教育の充実	114	児童生徒の交通安全意識の向上 (継続的取組み)		指導課	・交通安全教室の実施状況の点検をしました。 (各校年1回) ・学校便り、学年便り、朝会等で交通事故防止についての啓発を行いました。 ・長期休業日前には、交通事故等安全に気をつけるよう確認をしました。	・交通安全教室を開催し、横断の仕方や自転車の乗り方の指導を行ったことにより、登下校を含む学校生活での安全意識が向上しました。	・管理外での自転車事故が発生しており、自転車事故防止への取組みが今後さらに必要です。	3	・交通安全教室、便り、朝会等での啓発だけでなく、授業等教育活動の中でも啓発を進めています。
3 学校の危機管理体制の整備・充実	115	危機管理マニュアルの整備・改善 (継続的取組み)		指導課	・文科省で作られた「生きる力をはぐむ安全教育」の資料を学校に周知し、従来の危機管理マニュアルを見直しました。 ・組織として機動的に対応できる救急及び緊急連絡体制を整え、危機管理体制を整備しました。	・危機管理マニュアルの見直しを働きかけたことで、より実践的なマニュアル整備につながりました。	・より実践的なマニュアルとなるよう、引き続き見直し、整備が必要です。	3	・今後も、マニュアルの見直しを定期的に行い、危機管理に努めます。
4 防災に係る教職員の研修の実施	116	学校における危機管理能力の向上 (継続的取組み)		指導課	・様々な災害に対する危機管理について、各学校の実態に合わせた研修を行いました。 ・心肺蘇生法(AED)研修や、地域の危険箇所等を情報交換し、危機管理能力を高めるための研修を行いました。 (市内各学校1回実施、参加者数744人)	・学校の実態を踏まえ、新しい視点で研修計画を立て、様々な災害や事故を想定した研修を実施したことが、教職員の危機管理能力の向上につながりました。	・地震、火災、不審者等危機管理能力を高めるだけでなく、洪水等その他の防災についても危機管理能力を高めていく必要があります。	3	・今後も、様々な防災に係る研修や実践の工夫、充実に努め、教職員の危機管理能力の向上を図ります。

基本目標3

信頼される学校づくりの推進

基本目標の概要

教職員の指導力の向上、家庭・地域との連携の強化、教育環境の整備を推進し、家庭や地域から信頼される学校づくりに努めます。

施策

- 1 教職員の資質・能力の向上
- 2 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進
- 3 安全の確保
- 4 学校の適正規模・適正配置の推進
- 5 学校施設・設備の整備・充実
- 6 学校給食の充実

6つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 20 ○数値目標 2 ○取組み 49

担当課

○教育総務課 ○学務課 ○学校給食課 ○指導課

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全2件)	達成度		件数	割合
	A	達成率 100%以上	1	50.0%
	B	達成率 90%以上 100%未満	0	0.0%
	C	達成率 80%以上 90%未満	0	0.0%
	D	達成率 80%未満	1	50.0%

継続的 取組み (全41件)	達成度		件数	割合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	1	2.4%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	40	97.6%
	2	予定を下回る取組み結果となった	0	0.0%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	0	0.0%

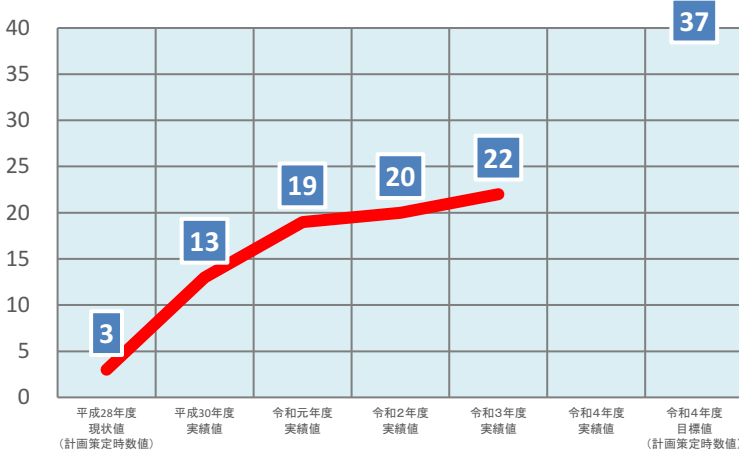
目標年度が 設定された 取組み (全8件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	3	37.5%
	B	概ね計画どおりである	3	37.5%
	C	計画より遅れている	2	25.0%
	D	計画倒れ・中止となった	0	0.0%

学識経験者の意見

- 数値目標における点検・評価調書のうち、「地元農産物を取り入れた学校給食食材の割合」については、4年連続達成度が「A」と成果を上げられている。今後も、地元の農産物を積極的に取り入れていただきたい。
- 服務に関する研修や不祥事防止の研修などを継続的・計画的に行い、一定の成果が上がっているものの、今後とも信頼に応えるためにも、今まで予想を超えた不祥事が他の自治体において発生したことなどを受け、研修の仕方や内容を工夫して取り組んでいただきたい。
- 安全監視員を配置している地方自治体は全国的に少ない中で、久喜市は、安全監視員による立哨や校内巡視により学校内における児童の安全確保に大いに寄与していると思う。今後も、安全確保への取組みを継続・充実させていただきたい。
- 不正アクセスや情報漏えい、情報の改ざんなどインターネットを介した多くの情報問題がある中で、情報セキュリティに関する様々な取組みを行い、一定の効果を上げているが、今後とも情報セキュリティに関する取組みに力を入れて、充実させていただきたい。
- 校内研修の活性化のために指導主事は、「個に応じた指導」という点を単元計画や年間計画に入れているかどうか、また、それがどのように行われているかということが重要である。例えば研究授業の場合、今までの基礎・基本の「習得」ではなく、「活用」が行われているかどうかということを研究授業の中で指導していただきたい。
- 小・中学校においては、タブレットやエアコンなど施設・設備がすばらしく、様々な取組みを行っているが、主体的・対話的な学びを軸に、研修を絡ませながら改革していく必要があると思う。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

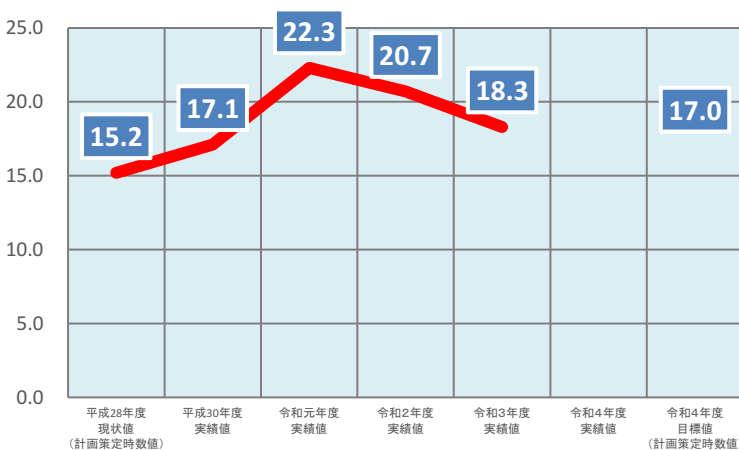
基本目標	3 信頼される学校づくりの推進
施策	5 学校施設・設備の整備・充実
具体的施策	1 学校施設の非構造部材の耐震化の推進

数値目標名	校舎及び屋内運動場等の非構造部材の落下防止対策をした施設数	担当課	教育総務課														
単位	施設	達成率	59.5%														
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	3	達成度	D														
平成30年度 実績値	※ 13(9)	推移グラフ	 <table><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>平成30年度 実績値</td><td>令和元年度 実績値</td><td>令和2年度 実績値</td><td>令和3年度 実績値</td><td>令和4年度 実績値</td><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td></tr><tr><td>3</td><td>13</td><td>19</td><td>20</td><td>22</td><td></td><td>37</td></tr></table>	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	3	13	19	20	22		37
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)										
3	13	19		20	22		37										
令和元年度 実績値	※ 19(6)																
令和2年度 実績値	※ 20(1)																
令和3年度 実績値	※ 22(2)																
令和4年度 実績値																	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	37																

※実績値は、平成28年度からの延べ件数です。カッコ内の数値は、単年度の実績値です。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	3 信頼される学校づくりの推進
施策	6 学校給食の充実
具体的施策	3 食育の推進

数値目標名	地元農産物を取り入れた 学校給食食材の割合	担当課	学校給食課
単位	%	達成率	107.6%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	15.2	達成度	A
平成30年度 実績値	17.1	推移グラフ	
令和元年度 実績値	22.3		
令和2年度 実績値	20.7		
令和3年度 実績値	18.3		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	17.0		

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進
 施策 1 教職員の資質・能力の向上

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 教職員研修の充実	117	服務出前研修の実施 (継続的取組み)		指導課	・夏季休業期間を中心に指導主事が市内小・中学校に出向き、各学校の教職員を対象に服務規律の徹底や不祥事根絶に関する内容の研修を実施しました。 (33校全てで実施・参加者数743人)	・教職員が職責や服務遵守の重要性について改めて実感することができました。	・不祥事根絶が喫緊の課題であることから、研修を継続して行う必要があります。	3	・市内すべての小・中学校で服務出前研修を行います。
	118	ミドルリーダー研修会の実施 (継続的取組み)		指導課	・ミドルリーダーの資質や能力の向上を目指し、市内校長33名が講師となる研修会を36回(全体研修2回、テーマ別研修24回の4テーマ)実施しました。 (参加者数36人)	・全体研修の他、校内研修における役割、校務分掌主任としての役割など、テーマごとに研修を行い、理解が深まりました。 ・ディスカッションを通して、ミドルリーダーとしての自覚が高まりました。	・ミドルリーダーのさらなる活躍が期待されるため、研修生の実態に合わせ、研修会の内容をより一層充実する必要があります。	3	・研修会への参加を呼びかけるとともに、講師となる市内校長33名と協議し、研修内容を充実するようにします。
	119	臨時的任用教職員服務研修の実施 (継続的取組み)		指導課	・新型コロナウイルス感染症対策として、非集合型(所属校研修)としました。 ・教職員としてのあるべき姿や服務規律の徹底などに関する内容の研修を2回実施しました。 (2回とも資料を配付。参加者数①4月:119人、②12月:119人)	・公務員として服務規律を遵守することの重要性や職責の重さ、臨時的任用教職員の任用条件等についての理解が深まりました。	・経験年数の浅い臨時的任用教職員も多数いるため、研修を継続して行う必要があります。	3	・不祥事根絶のために、特にわいせつ・ハラスメント・体罰・交通事故・会計事故等の具体的な事例を取り上げた演習を、年2回継続して行います。
	120	校内倫理確立委員会の充実のための市内小・中学校への指導の実施 (継続的取組み)		指導課	・校内で倫理確立委員会を開催し、計画的に教職員事故の事例や教職員としての勤務の在り方について話し合い、教職員としての倫理観を高めるよう、校長会や教頭会、学校管理訪問等において指導しました。	・教職員が教育公務員としての倫理観を高めるとともに、責任と使命を強く自覚することができました。 ・資料の整理と指導内容を記録し、指導の徹底を図ることができました。	・各学校の教職員の実態に合わせ、校内倫理確立委員会の内容をより一層充実する必要があります。	3	・校長会や教頭会と連携し、教職員の実態に合わせた事例を取り上げる等、校内倫理確立委員会の内容をより一層充実できるようにします。
2 校内研修の活性化の指導・支援	121	市教育委員会・東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問の実施 (継続的取組み)		指導課	・市教育委員会・東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問を全33校で実施しました。	・全教職員による公開授業及び研究授業において、ICTの効果的な活用をはじめとする授業の工夫改善が進められ、教職員の指導力向上を図ることができました。	・より質の高い教育を提供するためには、教職員の授業力向上は必須であり、より一層充実する必要があります。	3	・全小中学校で市教育委員会・東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問を実施します。 ・指導を担当する指導主事の指導力向上を図ります。
	122	教育委員会指導課学校訪問の実施 (継続的取組み)		指導課	・市教育委員会研究委嘱の指導・助言のための指導課訪問を研究委嘱校の12校で実施しました。	・各校の取組みについて情報交換・共通理解を図ることで、今後の学校教育のあり方について研究を推進することができました。	・コロナ禍において、研究内容を効率的かつ効果的に共有する体制づくりと、研究の成果を柔軟に広める形態づくりが課題です。	3	・ICTを活用して、コロナ禍におけるより効率的・効果的な共有の方策を研究します。
4 教職員の健康管理・メンタルヘルスの推進	123	教職員の健康管理のための健康診断の実施、健康相談の充実及び安全衛生管理体制の推進 (継続的取組み)		指導課	・夏季休業中に教職員定期健康診断を3会場で実施しました。また、結核の早期発見のための検査業務も実施しました。 (受診者323人) ・全小・中学校で健康管理医による教職員の健康相談・健康指導を実施しました。 ・養護教諭のB型肝炎の検査を実施しました。(該当者13人) ・全小・中学校の実働教職員(732人)に対して、ストレスチェックを実施しました。	・人間ドック受診者等を除く全職員が健康診断を受診することができ、また健康管理医による保健指導や健康相談、疾病予防及び健康管理医による相談事業の充実が図られました。 ・教職員の心の健康の保持増進・予防のため、心理的な負担の程度を把握できました。	・今後は教職員の心身の健康増進を図ることが課題です。	3	・教職員の心身の健康増進支援のため、健康診断やストレスチェック等の整備を進めていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標 施策		3 信頼される学校づくりの推進 1 教職員の資質・能力の向上							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	124	スクール・サポート・スタッフの配置 (継続的取組み)		指導課	・働き方改革推進のため18校(久喜小、清久小、本町小、青葉小、久喜東小、江面小、小林小、栗橋西小、栗橋南小、鷺宮小、桜田小、上内小、砂原小、久喜南中、久喜東中、太東中、菖蒲中、菖蒲南中)に、スクール・サポート・スタッフを配置しました。	・令和2年度と令和3年度の時間外勤務を比較した結果、一か月当たりの総勤務時間数が平均10%以上減少しました。 ・校内の消毒作業等を教員に代わり、スクール・サポート・スタッフが実施することで、教員の教材研究等の時間確保につながり、学校から大変有効に活用できたとの報告がありました。	・市内の教職員の負担感の軽減、働き方改革の推進のために、限られた人的予算の中でスクール・サポート・スタッフの配置を継続的に取り組んでいくことが課題です。	3	・スクール・サポート・スタッフの配置を継続的に取り組み、市内の教職員の負担感を軽減させ、働き方改革を推進していきます。

基本目標 施策		3 信頼される学校づくりの推進 2 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 学校運営協議会の活動の充実	125	各学校における学校運営協議会への指導・支援の実施 (継続的取組み)		指導課	・各指導主事が、担当校の学校運営協議会へ参加しました。(34回参加)	・各校での取組みや様子を把握するとともに、他校の実践等情報提供することができました。	・各学校の学校運営協議会が充実してきているため、久喜市学校運営協議会推進計画を見直すことが考えられます。	3	・更なる学校運営協議会の充実を目指し、久喜市学校運営協議会推進計画の見直しについて検討してまいります。
	126	学校運営協議会委員の研修会の実施 (継続的取組み)		指導課	・年間1回の全体研修会を実施しCSマイスターを招聘し、知見を深めました。(市内全小中学校参加)	・各校の取組みを情報交流することができました。 ・学校運営に対して適切な助言をいただくことができました。	・各校の取組みを共有する機会を充実する必要があります。	3	・他校の学校運営協議会に参観者として参加したり、各校の研修資料を共有するフォルダを設け、他校の資料を見られるようにいたします。
3 学校・家庭・地域の連携強化による学校マネジメントの推進	127	家庭・地域への学校の取組の積極的な公開の実施 (継続的取組み)		指導課	・学校のホームページや学校だより等を活用して、情報発信を実践しました。学校行事や土曜参観等において、学校の公開を行いました。	・学校の教育活動をホームページや学校だより等を通じて、積極的な情報発信ができました。 ・ホームページの更新回数が増え、内容も充実してまいりました。	・各校のホームページの更新内容に差があります。	3	・各校及びホームページ提携会社と連携し、さらに内容を充実させます。
	128	地域学習の計画的・継続的な実施 (継続的取組み)		指導課	・道徳や総合的な学習の時間・家庭科等において、ゲストティーチャーとして、学校応援団の方が、専門的な指導・支援を行いました。	・地域に対する興味関心を高めることができました。 ・学習する内容がより身近になり、主体的な学びの推進に寄与することができました。	・地域によって協力いただける人材の確保が難しい場合があります。 ・コロナ禍の影響もあり、お手伝いいただける回数が減ってしまいました。	3	・学校運営協議会や学校応援団等と連携し、学校区の枠を超えて、人材を共有できるように働きかけます。

基本目標 施策		3 信頼される学校づくりの推進 3 安全の確保							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 防犯対策の充実	129	防犯カメラの活用及び小学校安全監視員の配置 (継続的取組み)		学務課	・市内全小学校に安全監視員を配置し、立哨や校内巡回を実施することで、学校内における児童の安全確保に努めました。(市内小学校22校各1名配置 全22名配置) ・市内全小・中学校に設置した防犯カメラでの監視により、学校内における児童生徒の安全確保に努めました。また、不具合が生じた防犯カメラを適正に作動させるため、修繕を行いました。(修繕箇所2箇所)	・小学校安全監視員が立哨や校内巡回を実施することで、児童の安全確保に寄与することができました。 ・不具合が生じた防犯カメラの修繕を行い、適正な見守り体制を図ることで、児童の安全確保に寄与することができました。	・安全監視員の高齢化が進んでいるため、新たな人材を確保する必要があります。 ・平成27年度に防犯カメラを設置後、年数が経過していることから、計画的に防犯カメラの交換を行っていく必要があります。	3	・今後も引き続き、市内小学校に安全監視員を配置し、校内での教育活動中の児童の安全確保を図っていきます。 ・防犯カメラの適正な維持管理に努めていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進
 施策 3 安全の確保

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	130	市職員による通学路巡回パトロールの実施 (継続的取組み)		学務課	・児童生徒の下校時間帯(午後3時から午後4時)に市職員による巡回パトロールを実施し、下校時における児童生徒の安全確保に努めました。	・巡回パトロールを実施することで、犯罪抑止効果を高め、児童生徒の安全確保に寄与することができました。 ・不審者情報があつた場合は当該箇所を重点的に巡回するなど、児童生徒の安全な下校環境の確保に寄与することができました。	・不審者情報が寄せられた箇所への対応など、限られた時間で、効果的に通学路を巡回する必要があるため、巡回パトロールの実施方法等について検討する必要があります。	3	・今後も引き続き、通学路の巡回パトロールを実施し、児童生徒の安全な下校環境の確保を図っていきます。
	131	防災行政無線による帰宅を促す放送の実施 (継続的取組み)		学務課	・夕方に防災行政無線による児童生徒の帰宅を促す放送を実施し、児童生徒が安全に帰宅できるように努めました。	・児童生徒の帰宅を促す放送を実施することで、帰宅時における児童生徒の安全確保に寄与することができました。	・文章の区切り方や間のあけ方を工夫し、放送が反響しないようにする必要があります。	3	・今後も引き続き、防災行政無線による帰宅を促す放送を実施し、帰宅時における児童生徒の安全確保を図っていきます。
	132	不審者等に関する情報を関係機関に提供 (継続的取組み)		学務課	・不審者等に関する情報を学校・保護者・関係機関に提供し、注意を促すことで、児童生徒の安全確保に努めました。 (情報提供件数28件)	・不審者情報を学校等に提供し、学校内での注意喚起、市職員による巡回パトロールでの注意喚起に役立て、児童生徒の安全確保を図ることができました。	・不審者等に関する情報があつた箇所については、重点的に巡回パトロールを実施する必要がありますが、全部を巡回できないため、不審者に関する情報を精査し、特に巡回が必要な箇所を設定する必要があります。	3	・今後も引き続き、不審者等に関する情報を関係機関に提供し、注意喚起をすることで、児童生徒の安全確保を図っていきます。
2 交通安全対策の充実	133	通学路の安全点検の実施、通学路の整備の推進 (継続的取組み)		学務課	・通学路の危険箇所の把握を行うよう各学校に指示しました。 ・関係各課へ通学路の危険箇所に関する情報提供を行い、通学路の安全確保を図りました。	・通学路の危険箇所について、関係課と連携、情報共有を行い、通学路の安全確保を図ることができました。	・道路管理者が異なっている場合、迅速な対応が難しいため、関係機関との連携を図っていく必要があります。	3	・児童生徒の通学時の安全を確保するため、今後も引き続き関係課と連携を図り、通学路の安全対策の充実に努めます。
	134	スクールバスの運行 (継続的取組み)	○	学務課	・「久喜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」に基づき、江面小学校においてスクールバスの運行を開始し、児童の登下校における安全確保に努めました。	・児童の通学について、安全確保を図ることができました。	・スクールバスの添乗員として任用している安全監視員の高齢化が進んでいるため、新たな人材を確保する必要があります。	3	・今後も引き続きスクールバスの運行を実施し、受注者や学校等と連携を図り、児童の通学時の安全確保を図っていきます。
3 施設・設備の安全対策の実施	135	施設・設備の安全対策の実施 (継続的取組み)		学務課	・児童生徒が安全に遊具を使用できるよう、遊具の定期点検を行いました(使用禁止と判定された遊具については撤去を行います)。また、予算の範囲内で、計画的に新たな遊具の設置を行いました。 (設置件数6件、撤去件数0件)	・令和元年度に実施した点検結果で使用禁止と判定された遊具を令和2年度に撤去し、令和3年度に新たな遊具を設置することで、児童生徒が安全に遊具を使用できる環境を整えることができました。	・点検により使用禁止と判定された多くの遊具を撤去したため、順次、新たな遊具を設置していく必要があります。	3	・今後も児童生徒が安全に遊具を使用できるよう、引き続き点検を行い、点検結果に応じた対策を行うとともに、遊具を撤去した学校に、順次、遊具を設置していきます。
4 小・中学校等放射線量測定の実施	136	小・中学校等の空中放射線量等の測定 (継続的取組み)		学務課	・小・中学校において、空間放射線量の定点測定(9箇所)と局所的に放射線量が高いと予想される箇所(24箇所)の放射線量の測定を実施しました。	・全ての箇所における測定結果は、毎時1マイクロシーベルト未満であり、子どもたちが安心して生活できる環境であることを確認することができました。 ・測定結果が長期間にわたり安定しているため、今後の測定回数について見直しを行いました。	・東日本大震災から11年が経過し、測定結果が安定していますが、事業の実施方法等については引き続き検討する必要があります。	3	見直しの結果、令和4年度は年4回、令和5年度以降は年2回の測定とします。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標 施策		3 信頼される学校づくりの推進		3 安全の確保					
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	137	プール水及びプールに堆積した汚泥の放射線量の測定 (継続的取組み)		学務課	・プール学習を実施する小・中学校において、プールに堆積した汚泥等の放射線量の測定を年1回実施しました。	・測定の結果、汚泥の放射線量は、毎時1マイクロシーベルト未満であり、高値は検出されませんでした。 ・プール水からセシウムは検出されませんでした。 ・測定結果が長期間にわたり安定しているため、今後の事業の実施方法等について見直しを行いました。	・東日本大震災から11年が経過し、測定結果が安定していますが、事業の実施方法等については引き続き検討する必要があります。	3	見直しの結果、令和4年度以降、プール内汚泥の測定は廃止し、プール水の放射線量について年1回の測定とします。

基本目標 施策		3 信頼される学校づくりの推進		4 学校の適正規模・適正配置の推進					
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 学校の適正規模・適正配置の推進	138	学校統廃合等の検討に関する説明会の開催 (目標年度: 令和5年度)		学務課	・上内小学校の統廃合等の検討に関する説明会等を保護者や地域住民を対象に実施しました。 (4回開催、参加者数延べ50人)	・上内小学校については、保護者や地域住民を対象として、関係学校などで説明会等を実施し、学校統廃合に対して認識を深めていただきました。	・小林小学校については、保護者等から意見を伺いながら、統廃合の具体的な方法を示し、理解を深めていただく必要があります。	B	・上内小学校については、関係学校の保護者や地域住民と意見交換の機会を増やしていく考えです。 ・小林小学校の統廃合等の検討についても、説明会等を適宜開催していきます。
	139	市立小・中学校学区等審議会の開催 (目標年度: 令和5年度)		学務課	・審議会を年4回開催し、「久喜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」に基づき、平成29年5月24日に諮問を行った対象校4校について、学校統廃合等の検討に関する審議を行いました。	・菖蒲中学校及び上内小学校の通学区域に関して審議し、地域性や通学環境などを総合的に勘案し、適当であるとの答申をいただくことができました。 ・上内小学校の小規模化に伴う学校の統廃合等の検討について審議し、「久喜市立上内小学校は、久喜市立鷺宮小学校及び久喜市立鷺宮西中学校と統合し、令和7年4月に、統合による新たな義務教育学校を現在の久喜市立鷺宮西中学校の位置に開校することが望ましい」との答申をいただくことができました。	・小林小学校に関する統廃合等の検討については、関係学校の保護者等の共通理解を図っている段階で、継続審議中です。	B	・現在諮問している学校統廃合等の検討対象校1校(小林小)について、今後、審議を進めていく予定です。
	140	新校設立準備委員会の開催 (目標年度: 令和5年度)		学務課	・菖蒲中学校と菖蒲南中学校の統合による新校設立準備委員会を設置し、統合による新校の基本的事項などについて検討を進めました。(会議開催回数: 4回) ・検討結果について、「統合だより」の配布などにより、保護者や地域住民等の関係者に周知を図りました。	・菖蒲中学校と菖蒲南中学校の統合による新校菖蒲中学校については、令和4年4月の開校に向けた準備を進めることができました。	・今後、新校の校章・校歌に関する検討や、開校に向けた準備などを円滑に進め、子どもたちの教育環境を十分に整える必要があります。	B	・上内小学校、鷺宮小学校及び鷺宮西中学校の統合による新校設立準備委員会については、令和4年度に設置し、新校の開校に向けて各種の検討を進めていく予定です。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標 施策		3 信頼される学校づくりの推進 4 学校の適正規模・適正配置の推進							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	141	任期付市費負担教職員の任用 (継続的取組み)		指導課	・任期付市費負担教職員を、江面第二小学校に1名配置しました。	・市内小学校の児童減少に伴う複式学級を回避することができ、円滑な学校運営ができました。	・市内小学校の児童減少に伴う複式学級を回避していくために、児童数の推移を注視していくとともに、複式学級対象となりうる可能性がある場合は教職員を確保する必要があります。	3	・市内小学校の児童減少に伴う複式学級を回避し、円滑な学校運営を進めていくにあたり、児童数の推移に注視していく必要があります。
基本目標 施策		3 信頼される学校づくりの推進 5 学校施設・設備の整備・充実							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 学校施設の非構造部材の耐震化の推進	142	非構造部材の耐震化の実施 防災機能の強化 ※再掲(連番No.144) (目標年度:令和5年度)		教育総務課	・屋内運動場等の天井や照明器具等の非構造部材改修工事を実施しました。 【対象施設】 ・工事 砂原小学校、太東中学校	・砂原小学校及び太東中学校の屋内運動場非構造部材耐震化工事において、学習環境の整備及び安全を図ることができました。	・改修工事にあたっては、小・中学校の授業や行事等を考慮して、余裕のある工期の設定に努めることが必要です。	C	・改修工事未実施の小学校11校及び中学校3校について、実施に向けて関係部局と協議し、設計業務及び工事を行っています。
2 学校施設の計画的な改修	143	プール改修工事等の実施 (目標年度:令和4年度)		教育総務課	・老朽化したプールの改修工事を実施しました。 【対象施設】 ・工事 久喜東小学校 ※設計については令和2年度完了	・久喜東小学校プール改修工事が完了し、学習環境の整備及び安全を図ることができました。	・改修工事にあたっては、学校の授業や行事等を考慮して、余裕のある工期の設定に努めることが必要です。	A	・改修工事未実施の小学校1校について、実施に向けて関係部局と協議し、設計業務及び工事を行っています。
	144	非構造部材の耐震化の実施 防災機能の強化 ※再掲(連番No.142) (目標年度:令和5年度)		教育総務課	・屋内運動場等の天井や照明器具等の非構造部材改修工事を実施しました。 【対象施設】 ・工事 砂原小学校、太東中学校	・砂原小学校及び太東中学校の屋内運動場非構造部材耐震化工事において、学習環境の整備及び安全を図ることができました。	・改修工事にあたっては、小・中学校の授業や行事等を考慮して、余裕のある工期の設定に努めることが必要です。	C	・改修工事未実施の小学校11校及び中学校3校について、実施に向けて関係部局と協議し、設計業務及び工事を行っています。
	145	校庭の整備 (目標年度:令和3年度)		教育総務課	・緑豊かな教育環境の向上を図るため、前年度までに芝生化した学校の校庭について、維持管理を実施しました。 【対象施設】桜田小学校	・緑豊かな校庭で、教育環境の向上を図ることができました。	・芝生化施工後の維持管理を要するため、新規に芝生化を希望する学校が少ない状況です。	A	・子どもたちがみどりにふれあう環境を創出するため、学校と協議しながら整備を進めていきます。
	146	バリアフリー化の推進 (継続的取組み)		教育総務課	・江面小学校特別教室棟大規模改修工事において、多目的トイレを設置しました。 ・鷲宮西中学校改修工事において、スロープを設置しました。	・江面小学校特別教室棟大規模改修工事において、多目的トイレを、また、鷲宮西中学校改修工事において、スロープを設置し、学校環境の整備を図ることができました。	・バリアフリー化の整備が必要な学校はあるが、財政面から多数の学校の整備は施工できない状況です。	3	・関係部局と協議し、順次整備ができるよう計画していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進
 施策 5 学校施設・設備の整備・充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	147	学校施設の大規模改造の実施 (継続的取組み)		教育総務課	・老朽化した施設及び統合する施設の整備を進めるため、大規模改造の設計及び工事を実施しました。 【対象施設】 ・工事 太東中学校、江面小学校特別教室棟、菖蒲中学校 ・設計 栗橋小学校、鷺宮東中学校	・太東中学校及び菖蒲中学校、江面小学校特別教室棟大規模改造工事において、学校環境の整備を図ることができました。 ・栗橋小学校及び鷺宮東中学校大規模改造工事の設計業務が完了し、翌年度に実施する工事の準備ができました。	・多額の工事費を要し、学校統廃合の進捗や久喜市公共施設個別施設計画の策定に合わせて、計画的な改修が必要です。	3	・関係部局と協議し、順次工事が実施できるよう計画していきます。
	148	空調設備の整備 (継続的取組み)		教育総務課	・学習室及び相談室に空調設備設置工事を行いました。 【対象施設】栗橋西小学校、太東中学校	・栗橋西小学校及び太東中学校の教室に空調設備を設置し、学習環境の整備及び猛暑対策を図ることができました。	・設置工事にあたっては、小・中学校の授業や行事等を考慮し、暑くなる前に設置できるよう工期の設定に努める必要があります。	3	・翌年度の増加学級の照会を行い、設置が必要な教室数を把握し、設計業務及び工事を行っていきます。
	149	市内小・中学校の小規模化に伴う教育環境の整備 (継続的取組み)	○	教育総務課	・菖蒲中学校と菖蒲南中学校の統合に伴い、新校菖蒲中学校大規模改造工事を実施しました。	・菖蒲中学校大規模改造工事を実施しました。	・学校統廃合の進捗や久喜市公共建築物個別施設計画に合わせて、計画的な改修が必要です。	3	関係部局と協議し、順次整備できるよう計画していきます。
3 学校ICT、教育情報ネットワークの活用	150	校務用パソコンの活用 (継続的取組み)		*指導課	・校務用パソコン及び校務支援ソフトを有効に活用し、校務の効率化に取り組みました。	・校務用パソコン及び校務支援ソフトを活用することで、日々の学習活動の過剰や保護者配布文書の作成といった作業の効率化が図られました。	・パソコン及びソフトウェアに関する教職員の習熟度向上を図る必要があります。	3	・今後も学校からの要望を校務用パソコンに取り入れていきます。
	151	一人一台のChromebookを活用した学習の推進 ※再掲(連番No.49) (継続的取組み)		*指導課	・Chromebookの基本操作各種ツールを活用した学びのデザインについて研修会を実施しました。 (実施校33校、参加者数のべ504人) ・市内全児童生徒分のChromebookが整備され、情報活用能力が高まりました。 ・児童生徒が、主体的な学びのツールとしてChromebookを利用したり、ハイブリッド、オンライン授業の日常化が図られたりしました。	・児童生徒の情報活用能力育成のために、教職員同士がChromebookの活用と授業のアイデアについて共有することで、取組みを推進することができました。	・教員ごとに端末を活用する頻度に差があります。 ・教職員用端末の配備と学習者用端末の修繕対応、破損防止対策が必要です。	3	・全ての教員が端末を活用した授業と児童生徒が主体的に端末を扱うことができるよう、研修会を工夫します。 ・活用事例をもっと手軽に見られる環境づくりや映像化を進めます。
	152	情報セキュリティに関する学習 (継続的取組み)		指導課	・授業や集会等、様々な教育活動の中で機会を捉えて学習し、教員対象の研修会を実施し指導力の向上を図ることで、児童生徒の情報セキュリティに関する学習の充実を図りました。 (参加人数29人)	・各学校において、情報セキュリティや情報モラルに対して意識が向上し、授業や集会等で確実に取り上げられるようになりました。	・家庭・地域、企業やその他の専門機関との連携を図り、連携、協働体制を構築する必要があります。	3	・今後も研修会を実施するとともに、内容の充実が図られるよう企業や専門機関、外部有識者との協力体制を構築していきます。
4 学校教材・備品の計画的な整備	153	学校教材・備品の計画的な整備 (継続的取組み)		学務課	・市内小・中学校で使用する教材備品を計画的に購入し、老朽化等により破損した教材備品は修繕しました。 ・不要となった理科薬剤を処分し、使用できなくなったものは入れ替えをして廃棄しました。	・学校教材・備品の整備により、学習効果が高まりました。	・教材備品について適切に管理・整備していく必要があります。	3	・今後も計画的に教材備品の購入・更新・廃棄を実施し、教育環境の整備を図ります。

* 連番150、151 実施計画作成時点においては学務課と指導課が事務を所管しておりましたが、令和3年度から学務課の事務が指導課に移管となりました。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進
 施策 5 学校施設・設備の整備・充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
5 学校図書館の充実	154	図書館担当教員を対象とした研修会等の実施 (継続的取組み)		指導課	・市内小・中学校に設置した図書管理システムの機能充実を図るため、サポートサービスを利用し、活用及び操作方法の研修を行いました。	・システム操作の習熟を図ることで、学校図書館を円滑に運営することができました。	・司書教諭の異動等に伴い、適時、システムの操作方法の研修や説明が必要となります。	3	・システム操作研修会を実施し、学校図書館の円滑な運用を図ります。
	155	学校図書館図書の適正な蔵書管理 (継続的取組み)		学務課 指導課	・文部科学省が設定した「学校図書館図書標準」における充足率の向上を図りました。 ・市内小・中学校に設置した図書管理システムを更新し、適正な蔵書管理を行いました。	・システムの活用により、図書を適正に管理し、効率的な学校図書館を運営することができました。 (学校図書館充足率：目標100%以上、実績126.2%)	・適切な蔵書管理を行うため、システムの安定稼働を図る必要があります。	3	・図書管理システムを活用した適切な蔵書管理を行います。

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進
 施策 6 学校給食の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 新たな学校給食センターの整備	156	新たな学校給食センターの整備 (目標年度：令和3年度)		学校給食課	・令和元年度から令和3年度までの年次計画により久喜市立学校給食センター新築工事等を実施しました。 (新築工事定例会議：15回開催) ・栗橋西小学校等の配膳室改修工事を実施しました。 ・学校給食管理システムの導入及び調理用品の購入を行いました。	・久喜市立学校給食センターの新築工事、栗橋西小学校等の配膳室改修工事及び調理用品の購入等の整備が完了しました。	・令和3年7月に学校給食センターの新築工事等が完了したことから、同センターの管理・運営を適切に行う必要があります。	A	・学校給食センターの管理・運営を適切に行っていきます。
2 安全・安心な学校給食の提供	157	安全でおいしい給食の提供、栄養管理、食材の安全確保等による学校給食の充実、並びに食物アレルギーへの対応 (継続的取組み)		学校給食課	・文部科学省が定める学校給食実施基準に基づき栄養管理を実施しました。 ・文部科学省が定める学校給食衛生管理基準に基づき衛生管理を実施しました。 ・食材の安全確保のために、理化学及び微生物検査を実施しました。 (理化学及び微生物検査数：42検体) ・残量調査や給食日誌等により、喫食状況の把握を行いました。 ・食物アレルギーのある児童生徒には、国の指針や県、市の対応マニュアルに基づき対応を行いました。 (食物アレルギー申請児童生徒数332人)	・栄養管理、衛生管理及び食物アレルギー対応を実施したことで、安全・安心な給食を提供することができました。	・安全・安心な学校給食を提供するため、栄養管理及び衛生管理に関する情報の共有や各種研修の参加により、学校給食従事者の知識向上、意識高揚を図り、衛生管理や栄養管理、食物アレルギーへの対応を進める必要があります。	3	・安全・安心な学校給食を提供するため、栄養管理及び衛生管理に関する情報の共有や各種研修の参加により、学校給食従事者の知識の向上や意識の高揚を図り、より充実した学校給食の運営を行っていきます。
	158	季節の食材や行事食、郷土料理、伝統料理等を採り入れた給食の提供 (継続的取組み)		学校給食課	・年間指導計画を作成し、季節の食材を計画的に取り入れました。 ・行事食、郷土料理・教科関連献立、かみかみ献立を提供しました。	・季節が感じられる献立や行事等と関連した献立を提供することで、学校給食の充実を図ることができました。 ・郷土料理の提供により、各地域の食文化への理解を深めることができました。	・季節が感じられる献立や行事等と関連した献立を提供することにより、児童生徒の学校給食への関心を高める必要があります。	3	・季節が感じられる献立や行事食、郷土料理、教科と関連した献立を継続的に実施します。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進
 施策 6 学校給食の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	159	学校給食費補助の実施 (継続的取組み)		学校給食課	・学校を通し、保護者に制度をお知らせするとともに、市ホームページへ掲載し、広く市民に周知しました。 ・児童生徒を3人以上養育している保護者に、上期と下期に分けて補助金を交付しました。 (補助金交付者数:325人)	・学校給食費補助金を交付したことで、保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援の推進が図られました。	・学校事務職員や庁内関係課職員との連携を図り、事務処理の効率化を図る必要があります。	3	・保護者の経済的負担を軽減するため、引き続き、事業を実施していきます。
3 食育の推進	160	予定献立表や給食だよりの配布、予定献立表や給食写真のホームページへの掲載 (継続的取組み)		学校給食課	・児童生徒の家庭に予定献立表及び給食だよりを配布しました。(予定献立表11回、給食だより11回) ・予定献立表及び給食写真を市ホームページに掲載しました。	・予定献立表及び給食だよりの配布、ホームページへの掲載を通じて、望ましい食生活の知識の普及・啓発を図ることができました。	・児童生徒や保護者に対して、食生活の知識の普及・啓発を図るため、予定献立表及び給食だよりの内容を工夫しながら作成する必要があります。	3	・予定献立表及び給食だよりを配布するとともに予定献立表及び給食写真をホームページに掲載し、望ましい食生活の知識の普及・啓発を図っていきます。
	161	学校給食を生きた教材として活用 (継続的取組み)		学校給食課	・教科や行事との連携、郷土料理の提供、地場産農産物の活用、家庭の食事の見本となるような献立作成等、生きた教材としての学校給食を提供しました。 ・献立のねらい等を学校や家庭に周知し、情報の発信を行いました。	・毎日の学校給食を通じて、望ましい食習慣の形成を図ることができました。 ・食経験と併せて食に関する情報を発信することで、食への興味、関心をより深めることができました。	・学校給食を通じた望ましい食習慣を形成するため、食に関する情報発信を進める必要があります。	3	・生きた教材として、家庭の食事の見本となるような学校給食の提供をするとともに、給食だよりにより食に関する情報発信を行っています。
	162	地産地消の推進 (継続的取組み)		学校給食課	・久喜市産農産物を使用するとともに、情報の発信を行い、地産地消を推進しました。 (年間使用量45.8トン、使用割合18.3%) ・地産地消推進会議を開催しました。	・久喜市産農産物を使用した学校給食を提供することで、地産地消の推進を図ることができました。 (R3目標値16.7%、実績値18.3%) ・地産地消推進会議を開催し、学校給食従事者の情報の共有や意識の高揚が図れました。	・久喜市産農産物の使用量を増やすため、生産者等と連携し、需給体制の強化を図る必要があります。 ・久喜市産農産物の使用量を増やすため、長期休暇期間中に新たな取組みをする必要があります。	4	・久喜市産農産物の需給体制を強化するため、生産者等への情報共有や意識の高揚を図っていきます。 ・久喜市産農産物の使用量を増やすため、長期休暇期間中に新たな取組みを行います。
4 学校給食の衛生管理の徹底	163	学校給食調理従事者等への衛生管理指導の実施 (継続的取組み)		学校給食課	・学校給食従事者及び調理業務委託事業者に衛生管理指導及び情報の提供を行いました。 ・学校給食従事者に対し、保菌検査(赤痢菌(月2回)、ノロウイルス(年6回))を実施しました。 ・調理業務委託事業者に対し、健康診断や保菌検査の実施、健康管理記録表を作成させ、内容の確認を行いました。	・学校給食従事者等に対し、衛生管理指導及び健康保持を行うことで、児童生徒にとって安全・安心でおいしい学校給食を円滑に提供することができました。	・衛生管理指導、情報の共有及び保菌検査の実施により、学校給食従事者の健康管理や知識の向上を図り、学校給食衛生管理基準に基づき、徹底した衛生管理を実施する必要があります。	3	・継続的に健康診断や保菌検査を実施し、学校給食従事者の健康保持・管理を行っています。 ・衛生管理指導及び情報を共有し、給食従事者の知識の向上や意識の高揚を図ります。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進
 施策 6 学校給食の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	164	給食施設の整備・点検及び食品の衛生検査 (継続的取組み)		学校給食課	・委託業者による施設点検を実施させました。また、その結果を報告させて内容の確認を行いました。 ・食品搬入時において、検収責任者が立ち合い、検収簿に基づき品名、数量、納品者、製造者及び所在地、生産地等に関して確認・点検を行いました。	・学校給食衛生管理基準に基づき、施設の整備・点検、食品の衛生検査等を行い、児童生徒に安全・安心な学校給食を提供することができました。	・安全・安心な学校給食を提供するため、学校給食衛生管理基準に基づく、施設の維持管理や食品衛生検査を実施する必要があります。	3	・安全・安心な学校給食を提供するため、今後も給食施設の点検及び食品の衛生検査を行っていきます。
5 学校給食食材の放射性物質検査の実施	165	学校給食に使用する食材の放射性物質検査の実施 (継続的取組み)		学校給食課	・令和3年4月から7月までは、鷲宮総合支所で週2回(隔週1回)、1日あたり1給食施設の食材3品目及び給食まるごと1食分の検査を行いました。(20回) ・令和3年8月から令和4年3月までは、学校給食センターで週1回、食材3品目及び給食まるごと1食分の検査を行いました。(28回) ・検査結果について、ホームページに掲載しました。	・食材の放射性物質検査を行うことにより、児童生徒に安全・安心な学校給食を提供することができました。	・測定結果の推移等を注視しながら、運用面の見直しをする必要があります。	3	・測定結果の推移を注視しながら、運用面の見直しを行うなど業務改善を図っていきます。

基本目標4

人権を尊重した教育の推進

基本目標の概要

市民一人ひとりが、人権が尊重される社会を確立する担い手であることを認識し、様々な人権問題に対する正しい理解と認識を深め、人権問題の解決に主体的に取り組めるように人権教育を推進します。

施策

- 1 P T A・児童生徒・教職員に対する人権教育の推進
- 2 家庭・地域における人権教育の推進
- 3 企業・事業者に対する人権教育の推進

3つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 8 ○数値目標 4 ○取組み 12

担当課

○指導課 ○生涯学習課

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全4件)	達成度		件数	割合
	A	達成率 100%以上	1	25.0%
	B	達成率 90%以上 100%未満	0	0.0%
	C	達成率 80%以上 90%未満	0	0.0%
	D	達成率 80%未満	3	75.0%

継続的 取組み (全11件)	達成度		件数	割合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	0	0.0%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	10	90.9%
	2	予定を下回る取組み結果となった	0	0.0%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	0	0.0%
	—	評価できない	1	9.1%

目標年度が 設定された 取組み (全1件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	0	0.0%
	B	概ね計画どおりである	1	100.0%
	C	計画より遅れている	0	0.0%
	D	計画倒れ・中止となった	0	0.0%

学識経験者の意見

- P T A等に対する人権教育研修会の実施は、P T A研修会テーマの工夫により、幅広い人権問題の理解と人権意識を高めるなどの成果を上げている。
- 児童生徒が人権作文や人権標語を書く取組みは、それらを考えていく中で、子ども自身の身の回りの人権に関することへの気付き、人としてどうあるべきかを考える機会となっている。今後も、これらの取組みの継続と充実をお願いしたい。
- 人権教育の推進者としての教員に対する研修会が、毎年継続的に様々なプログラム、かつ、コロナ禍の開催方法を工夫して行われ、教員の人権意識を確認する機会となっている。今後も継続して実施していただきたい。
- 人権問題は、身近なところでも様々な形で起こっている。子どもたちに指導する立場にある教員は、高い人権意識が求められることから、新たな人権問題や人権問題に関する正しい理解と人権感覚を再認識する機会などを設ける研修を引き続き継続していただきたい。
- コロナ禍において、コロナ感染者、濃厚接触者、医療従事者やその子ども達に対して、人権問題となる言動があったという数多くの報道があった。子ども達もその報道に接し、悪い影響を受けたことと思う。学校における人権教育の充実だけではなく、子ども達にとって身近な大人や地域社会の人々が手本となって子ども達に良い影響を与えなければならない中で、今後とも様々な機会や方法でもって、全ての大人の人権意識を高める取組みを継続し発展させていきたい。
- P T A等への人権教育研修の開催について、令和2年度はコロナ禍のために思うように実施できなかったが、令和3年度はオンライン開催に取り組み、努力の成果があったと思う。子どもに対して人権教育を行っても保護者がよく理解していないと、家庭において人権に対して誤解が生じ困るという観点からも、この取組みは重要だと思う。また、コロナ禍において、オンラインを含めて人権教育研修を4回実施したことは、久喜市教育委員会として人権教育を大切にしており、大変重要なことであると思う。
- 教職員への人権教育研修の開催について、教職員人権研修会や校長同和教育研修会など様々な取組みを行っているが、非常に大切なことであると思う。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	4 人権を尊重した教育の推進		
施策	1 PTA・児童生徒・教職員に対する人権教育の推進		
具体的施策	1 PTA等への人権教育研修の開催		
数値目標名	PTA人権教育研修会の開催数	担当課	生涯学習課
単位	回	達成率	100.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	4	達成度	A
平成30年度 実績値	4	推移グラフ	平成28年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和4年度 (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値) (計画策定時数値)
令和元年度 実績値	4		
令和2年度 実績値	※ 0		
令和3年度 実績値	4		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	4		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響等により、研修会が全て中止となりました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

- 基本目標 4 人権を尊重した教育の推進
 施策 2 家庭・地域における人権教育の推進
 具体的施策 3 教育集会所事業の充実

数値目標名	野久喜集会所事業参加者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	41.7%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1,284	達成度	D
平成30年度 実績値	1,468	推移グラフ	1,284 1,468 1,366 523 659 1,580
令和元年度 実績値	※ 1,366		
令和2年度 実績値	※ 523		
令和3年度 実績値	※ 659		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	1,580		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により講座が一部中止となったことに伴い、参加者数が減少しました。

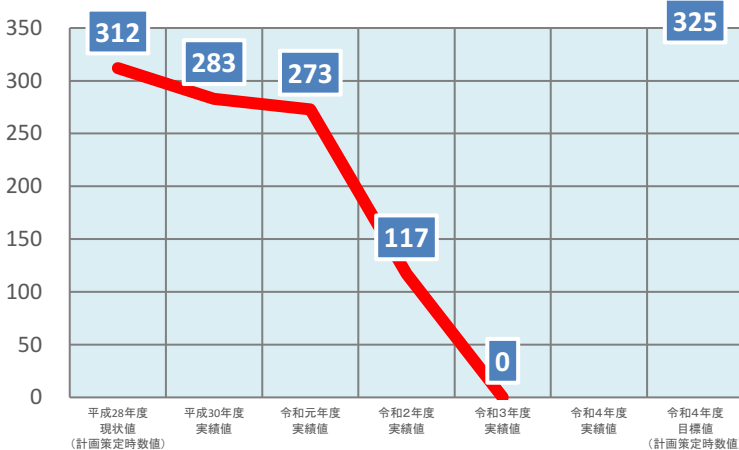
具体的施策 3 教育集会所事業の充実

数値目標名	内下集会所事業参加者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	21.8%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	382	達成度	D
平成30年度 実績値	340	推移グラフ	382 340 362 34 107 490
令和元年度 実績値	362		
令和2年度 実績値	※ 34		
令和3年度 実績値	※ 107		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	490		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により講座が一部中止となったことに伴い、参加者数が減少しました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	4 人権を尊重した教育の推進
施策	3 企業・事業者に対する人権教育の推進
具体的施策	2 人権教育指導者の養成

数値目標名	社会人権教育指導者養成講座の参加者数	担当課	生涯学習課														
単位	人	達成率	0.0%														
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	312	達成度	D														
平成30年度 実績値	283	推移グラフ	 <table><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>平成30年度 実績値</td><td>令和元年度 実績値</td><td>令和2年度 実績値</td><td>令和3年度 実績値</td><td>令和4年度 実績値</td><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td></tr><tr><td>312</td><td>283</td><td>273</td><td>117</td><td>0</td><td></td><td>325</td></tr></table>	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	312	283	273	117	0		325
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)										
312	283	273		117	0		325										
令和元年度 実績値	273																
令和2年度 実績値	※1 117																
令和3年度 実績値	※2 0																
令和4年度 実績値																	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	325																

※1 令和2年度は、新型コロナウイルスの感染症の影響により、会場入場者数を通常の50%以下に制限して開催したため、参加者数が減少しました。

※2 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を中止としました。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標	4 人権を尊重した教育の推進
施策	1 PTA・児童生徒・教職員に対する人権教育の推進

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 PTA等への人権教育研修の開催	166	PTA等に対して人権教育研修の開催 (継続的取組み)		生涯学習課	・PTA人権教育研修会を開催しました。 (4回開催、うち3回はオンライン動画配信にて再生回数792回、1回は会場開催し参加者数24人)	様々なジャンル(同和問題、ハンセン病、障がい者、子どもの人権問題)の講演を設定したことにより、人権問題の幅広い理解と人権意識の高揚を図ることができました。	・オンライン動画配信による人権教育研修会では、配信期間を1週間以上設けたことから、視聴回数は多くなったもののアンケート回答が少なかった。今後、オンライン研修を実施する場合は、アンケートの回答が多くなるような方法等を検討する必要があります。	3	・次年度もPTAを対象とした人権教育研修会を4回開催します。なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、オンライン動画配信による実施などで開催していきます。
2 児童生徒への人権教育の充実	167	「人権感覚育成プログラム」の有効的な活用 ※再掲(連番No.77) (継続的取組み)		指導課	・栗橋南小学校に人権教育を主とした研究委嘱を行い、「多様な他者を認め合うみなみっ子の育成」を研究主題とし、ESD教育をはじめとするSDGsの視点に立った授業について研究を行うとともに、「人権感覚育成プログラム」を活用した授業を行いました。	・SDGsの視点に立った授業実践とともに、「人権感覚育成プログラム」を活用した授業を実践することができました。	・「人権感覚育成プログラム」を生かした授業等を積極的に実践していくよう、今後も普及・活用していくよう努める必要があります。	3	・「人権感覚育成プログラム」の一層の活用を推進するため、研修会への参加を推進していきます。
	168	人権文集「えがお」の作成と積極的な活用 ※再掲(連番No.75) (継続的取組み)		指導課	・人権文集「えがお」を編集し、市内全児童生徒に配布しました。 ・各学校において人権文集「えがお」を発達段階に応じて活用し、人権教育を推進しました。	・人権作文や人権標語を書くことを通じて、児童生徒一人ひとりの心を耕すことができました。 ・人権文集「えがお」を活用し、児童生徒の人権意識を高めることができました。	・今後も継続して人権に関わる理解や、人権意識を高めていく必要があります。	3	・学校行事や道德、特別活動等で人権作文の効果的な活用を進めます。
3 教職員への人権教育研修の開催	169	転入・新採用教職員学校同和教育現地研修会の実施 ※再掲(連番No.71) (継続的取組み)		指導課	・夏季休業中に転入・新採用教職員を対象に、現地研修会を2日間開催しました。 (参加者数71名)	・転入・新採用教職員が、差別の現実を学び、同和問題についての認識を深めることができました。	・転入・新採用教職員が様々な人権問題についての正しい理解を深め、人権感覚をより磨いていくため、今後も継続して実施する必要があります。	3	・次年度も、夏季休業中に転入・新採用教職員を対象に、現地研修会を2日間開催します。
	170	教職員人権教育研修会の実施 ※再掲(連番No.72) (継続的取組み)		指導課	・夏季休業中に全教職員を対象に、「これからの人権教育について」を演題として、教職員人権教育研修会を4回開催しました。 (参加者数743名 会場106名、オンライン637名)	・全教職員が参加することにより、教職員の人権教育の一層の推進に役立てることができました。	・全教職員が人権感覚をより高めるため、正しい理解のもと指導に当たることができるよう、今後も継続して実施する必要があります。	3	・次年度も、夏季休業中に全教職員を対象に、教職員人権教育研修会を4回開催します。
	171	校長同和教育研修会の実施 ※再掲(連番No.73) (継続的取組み)		指導課	・市内小・中学校長を対象に、校長同和教育研修会を1回開催しました。	・市内全小・中学校長が参加することにより、差別の実態を学び、部落差別の解消を目指す学校同和教育の一層の推進に役立てることができました。	・校長が様々な人権問題についての正しい理解を深め、人権感覚をより高めるため、今後も継続して実施する必要があります。	3	・次年度も、市内小・中学校長を対象に、校長同和教育研修会を1回開催します。
	172	人権教育教職員啓発資料「あおぞら」の作成 ※再掲(連番No.74) (継続的取組み)		指導課	・教職員人権教育啓発資料「あおぞら」を10月と3月の2回発行し、全教職員や市内公共施設にも配布しました。 ・授業等に活用し、人権意識の啓発を図りました。	・全教職員への配布により、教職員の人権意識を高めることができました。 ・市内公共施設に配布し、学校における人権教育の実施状況について、理解を広めることができました。	・全教職員が人権感覚をより高めるため、今後も継続して作成する必要があります。	3	・次年度も、教職員人権教育啓発資料「あおぞら」を10月と3月の2回発行し、全教職員や市内公共施設にも配布します。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 人権教育事業の推進	173	人権啓発冊子「久喜市の社会人権教育」の発行 (継続的取組み)		生涯学習課	・人権啓発冊子「久喜市の社会人権教育」を発行し、人権教育の取組み結果を広く市民に配布し、人権教育・啓発を図りました。 (2, 000部発行)	・市内小・中学校、幼稚園、教育集会所運営委員等に配布し、生涯学習における人権教育の実施状況について、理解を深めることができました。	・人権啓発冊子「久喜市の社会人権教育」は、発行・配布するだけにとどまらず、学校等における人権教育の中で活用してもらう必要があります。	3	・人権啓発冊子「久喜市の社会人権教育」を、各学校や幼稚園の授業で活用してもらえるように、引き続き、校長会等を通じて働きかけていきます。
2 教育集会所の整備充実	174	教育集会所の改修の実施 (目標年度: 令和10年度)		生涯学習課	・老朽化している野久喜集会所と内下集会所を維持管理するための修繕を行いました。	・野久喜集会所の水道管の漏水や内下集会所の浄化槽などの修繕を行い、適切な維持管理ができました。	・野久喜集会所、内下集会所の施設本来の機能を維持していくために、今後も必要に応じて設備等の改修を行っていく必要があります。	B	・野久喜集会所、内下集会所ともに老朽化が進んでおりますが、今後は、市公共施設個別施設計画に基づく集会所の方針を踏まえながら、施設の維持管理に必要な修繕を行っていきます。
3 教育集会所事業の充実	175	各種教室・講座、交流事業の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・各教育集会所において、各種教室・講座、交流事業を実施しました。 (参加者数: 野久喜集会所659人、内下集会所107人)	・新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業が中止となったため、参加者数が減少しましたが、実施した各種教室・講座や市内の教育集会所交流事業等を通じ、地域住民の人権意識の高揚、地域住民相互の交流を図ることができました。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、各教育集会所の各種教室、講座等が、日程変更や中止となり参加者数が減少しましたが、十分なコロナ対策を講じて、市の方針に従い実施していく必要があります。	3	・新型コロナウイルス感染症により、事業の開催が制限を受ける場合においても、集会所運営委員会の意見も踏まえながら、十分なコロナ対策を講じ、実施していきます。

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 人権教育講座の開催	176	企業・事業者を主な対象とし、人権教育指導者の養成を図るため、人権教育講座の開催 (継続的取組み)		生涯学習課	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、社会人権教育指導者養成講座は中止しました。	—	・企業・事業者が自らの事業所内で人権教育に取り組んでいけるようにしていく必要があります。	—	・新型コロナウイルス感染症の状況を十分検討し、今後についても企業・事業者を対象とした人権教育講座を開催していきます。
2 人権教育指導者の養成	177	人権啓発冊子、人権啓発品の活用 (継続的取組み)		生涯学習課	・人権啓発冊子、人権啓発品を各小・中学校や教育集会所の各種教室・講座等において活用しました。	・教育集会所の各種教室・講座等の参加者に人権啓発冊子や人権啓発品を配布することで、参加者への啓発をするとともに、人権意識の高揚を図ることができました。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、講座等の開催ができない場合における人権啓発冊子、人権啓発品の配布などによる効果的な啓発を検討する必要があります。	3	・研修会や講座などを通して、人権啓発冊子や人権啓発品の効果的な活用を進めていきます。

基本目標5

豊かな生き方を築く生涯学習の推進

基本目標の概要

自己啓発や生活の充実のための学びの環境を整え、市民のニーズに応える質の高い学習機会を提供するとともに、その成果を生かすことができる、生涯学習社会づくりに努めます。

施策

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 多彩な生涯学習機会の提供 | 2 保護者の交流機会の提供・支援 |
| 3 生涯学習環境の整備・充実 | 4 公民館活動の充実 |
| 5 図書館サービスの充実 | 6 市民大学・高齢者大学の充実 |
| 7 放課後子ども教室の推進 | |

7つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 18 ○数値目標 21 ○取組み 37

担当課

○生涯学習課 ○中央公民館

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全21件)	達成度		件数	割合
	A	達成率 100%以上	4	19.0%
	B	達成率 90%以上 100%未満	2	9.5%
	C	達成率 80%以上 90%未満	1	4.8%
	D	達成率 80%未満	14	66.7%

継続的 取組み (全33件)	達成度		件数	割合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	0	0.0%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	29	87.9%
	2	予定を下回る取組み結果となった	1	3.0%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	0	0.0%
	—	評価できない	3	9.1%

目標年度が 設定された 取組み (全4件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	0	0.0%
	B	概ね計画どおりである	3	75.0%
	C	計画より遅れている	0	0.0%
	D	計画倒れ・中止となった	0	0.0%
	—	評価できない	1	25.0%

学識経験者の意見

- 生涯学習出前講座、市民大学講座、市民大学公開講座、高齢者大学講座などの施策はコロナ禍においても充実し、様々な学びが用意されており、生涯学習の機会の良い提供となっていると思う。
- 市民大学公開講座では、市民大学生以外の方の聴講の方の参加者数の増加があり、公開講座の内容や工夫等により一定の成果があった取組みであった。
今後、生涯学習出前講座や市民大学公開講座については、講座内容や開催案内・紹介等を工夫していただき、参加者の拡大に努めていただきたい。
- 公民館事業については、コロナ禍であったものの各公民館が特色ある取組みを実施し、事業数、参加人数ともに大幅に増加した中で、今後とも地域連帯意識を高めて地域づくりを推進するとともに、講座内容等を工夫して充実させていただきたい。
- 放課後子ども教室については、多くの実施委員やサポーターの方々が積極的に係わってくださるなど、久喜市の取組みは県内や全国の中でも熱心に行われている。小学校の子ども達と保護者の方がこの教室の趣旨を理解の上、多くの教室に参加いただきたい。
- 生涯学習の機会の充実における子ども大学くきの実施については、大変重要なことであり、コロナ禍においても頑張って取り組まれていたと思う。
- 市民大学講座や高齢者大学等に参加する高齢者の方々が、生きがいを感じて生き生きと取り組む姿を見て、これはすばらしい取組みであり、今後とも継続していただきたい。
- 家庭教育学級の実施について、家庭教育学級で学んだ方が、中学校の家庭科の教員と連携し、例えば住居、裁縫、調理、保育に関して家庭教育学級で学んだことを家庭科の時間に伝えるという場面をつくることは、意義のあることではないか。ぜひ中学校の家庭科の授業と結び付けていただきたい。
- 子どもの成長を応援する図書館の推進について、小学校全校において学校訪問のブックトークを実施できたことはすばらしいことであり、これからも続けていただきたい。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	1 多彩な生涯学習機会の提供
具体的施策	1 生涯学習の機会の充実

数値目標名	生涯学習関連の講座・教室の参加者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	33.8%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	14,452	達成度	D
平成30年度 実績値	15,208	推移グラフ	
令和元年度 実績値	12,795		
令和2年度 実績値	※ 1,461		
令和3年度 実績値	※ 4,930		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	14,600		

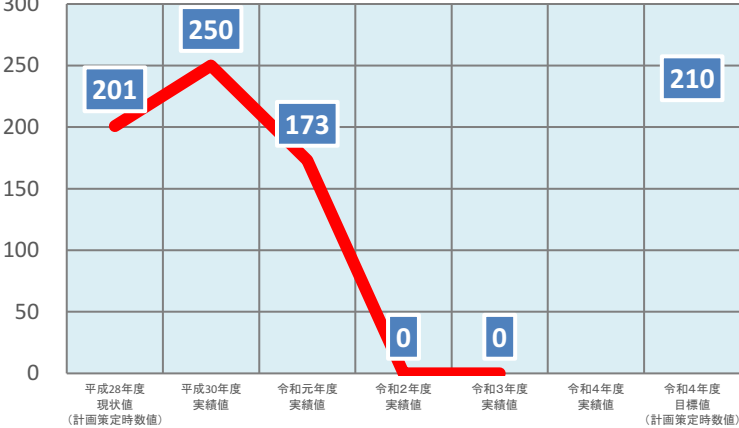
※ 新型コロナウイルス感染症の影響により講座等が中止となったことに伴い、参加者数が減少しました。

具体的施策 3 生涯学習情報の収集と提供

数値目標名	生涯学習人材バンクの登録者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	92.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	221	達成度	B
平成30年度 実績値	223	推移グラフ	
令和元年度 実績値	209		
令和2年度 実績値	200		
令和3年度 実績値	207		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	225		

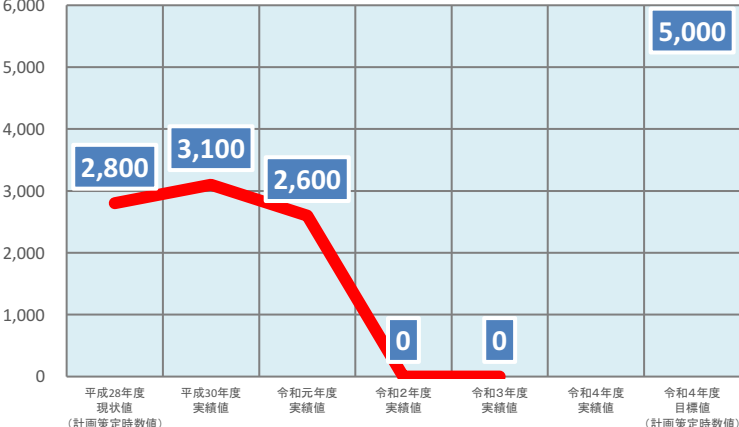
第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	1 多彩な生涯学習機会の提供
具体的施策	4 生涯学習研修大会や生涯学習推進大会への支援

数値目標名	生涯学習研修大会(まなびすとフォーラム)の参加者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	0.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	201	達成度	D
平成30年度 実績値	250	推移グラフ	
令和元年度 実績値	173		
令和2年度 実績値	※ 0		
令和3年度 実績値	※ 0		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	210		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となりました。

具体的施策 4 生涯学習研修大会や生涯学習推進大会への支援

数値目標名	生涯学習推進大会(まなびすと久喜)の参加者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	0.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	2,800	達成度	D
平成30年度 実績値	3,100	推移グラフ	
令和元年度 実績値	2,600		
令和2年度 実績値	※ 0		
令和3年度 実績値	※ 0		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	5,000		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となりました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	2 保護者の交流機会の提供・支援
具体的施策	1 子育てについての意見交換の場の充実

数値目標名	家庭教育学級の参加数	担当課	生涯学習課
単位	学級	達成率	25.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	30	達成度	D
平成30年度 実績値	31	推移グラフ	
令和元年度 実績値	31		
令和2年度 実績値	※ 12		
令和3年度 実績値	※ 10		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	40		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者数が減少しました。

具体的施策 2 各種講演会等の充実

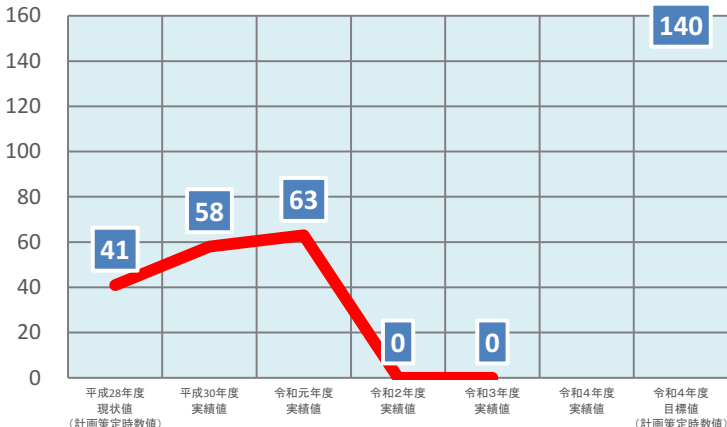
数値目標名	子育て講座「親の学習」の実施校(小学校)	担当課	生涯学習課
単位	校	達成率	100.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	23	達成度	A
平成30年度 実績値	23	推移グラフ	
令和元年度 実績値	23		
令和2年度 実績値	23		
令和3年度 実績値	※1 22(全校)		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	※2 21(全校)		

※1 令和3年度においては、全校で実施しましたが、江面第一小学校と江面第二小学校の統合に伴い学校数が減少しました。

※2 計画策定時は23校で実施予定でしたが、江面第一小学校と江面第二小学校の統合(R3～)及び上内小学校の休校(R4～)に伴い学校数が減少しました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	2 保護者の交流機会の提供・支援
具体的施策	2 各種講演会等の充実

数値目標名	家庭教育フォーラムの参加者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	0.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	41	達成度	D
平成30年度 実績値	58	推移グラフ	
令和元年度 実績値	63		
令和2年度 実績値	※ 0		
令和3年度 実績値	※ 0		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	140		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となりました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	3 生涯学習環境の整備・充実
具体的施策	3 生涯学習センターの整備・充実

数値目標名	生涯学習センター利用者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	0.1%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	0	達成度	D
平成30年度 実績値	0	推移グラフ	
令和元年度 実績値	0		
令和2年度 実績値	0		
令和3年度 実績値	118		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	102,000		

※ 生涯学習センターについては、「東京理科大学久喜キャンパス跡地の活用計画」の中で新設配置することになっていましたが、その後の検討の結果、鷺宮総合支所5階を改修し、生涯学習施設「まなびすポイント」を整備しました(令和4年3月4日開所)。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	4 公民館活動の充実
具体的施策	1 公民館事業の充実

数値目標名	公民館事業数	担当課	中央公民館																
単位	事業	達成率	55.6%																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	88	達成度	D																
平成30年度 実績値	90	推移グラフ	推移グラフのデータ: <table><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>88</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>90</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>78</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>15</td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>50</td></tr><tr><td>令和4年度 実績値</td><td>90</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>90</td></tr></tbody></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	88	平成30年度 実績値	90	令和元年度 実績値	78	令和2年度 実績値	15	令和3年度 実績値	50	令和4年度 実績値	90	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90
年度	数値																		
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	88																		
平成30年度 実績値	90																		
令和元年度 実績値	78																		
令和2年度 実績値	15																		
令和3年度 実績値	50																		
令和4年度 実績値	90																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90																		
令和元年度 実績値	78																		
令和2年度 実績値	※1 15																		
令和3年度 実績値	※2 50																		
令和4年度 実績値																			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90																		

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施した事業数が減少しました。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響下でも実施が可能な事業を選別して行った結果、従前の事業数には至りませんでした。

具体的施策 1 公民館事業の充実

数値目標名	市民企画事業数	担当課	中央公民館
単位	事業	達成率	12.5%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	5	達成度	D
平成30年度 実績値	4	推移グラフ	
令和元年度 実績値	3		
令和2年度 実績値	※1 1		
令和3年度 実績値	※2 1		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	8		

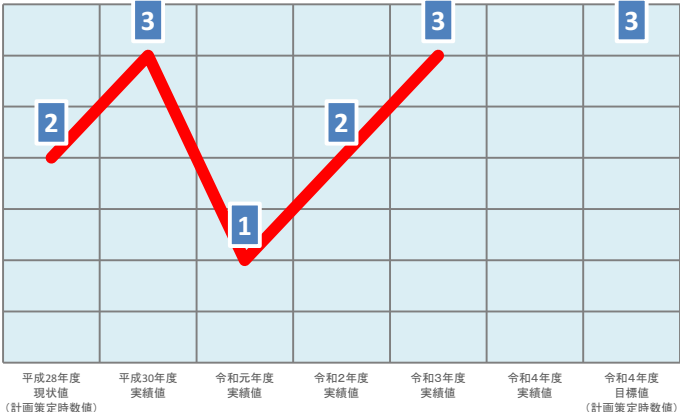
推移グラフのデータ:

年度	数値
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	5
平成30年度 実績値	4
令和元年度 実績値	3
令和2年度 実績値	1
令和3年度 実績値	1
令和4年度 実績値	8
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	8

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施した事業数が減少しました。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、企画した事業の一部が中止となったため、事業数の回復には至りませんでした。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進																		
施策	4 公民館活動の充実																		
具体的施策	1 公民館事業の充実																		
数値目標名	公民館連絡協議会事業数	担当課	中央公民館																
単位	事業	達成率	100.0%																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	2	達成度	A																
平成30年度 実績値	3	推移グラフ	 <table><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>2</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>3</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>1</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>3</td></tr><tr><td>令和4年度 実績値</td><td>3</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>3</td></tr></tbody></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	2	平成30年度 実績値	3	令和元年度 実績値	1	令和2年度 実績値	2	令和3年度 実績値	3	令和4年度 実績値	3	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	3
年度	数値																		
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	2																		
平成30年度 実績値	3																		
令和元年度 実績値	1																		
令和2年度 実績値	2																		
令和3年度 実績値	3																		
令和4年度 実績値	3																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	3																		
令和元年度 実績値	1																		
令和2年度 実績値	2																		
令和3年度 実績値	3																		
令和4年度 実績値																			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	3																		

具体的施策		1 公民館事業の充実	
数値目標名	公民館利用者数	担当課	中央公民館
単位	人	達成率	53.5%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	387,090	達成度	D
平成30年度 実績値	374,850	推移グラフ	※公民館利用者数の目標値については、高齢者大学及び市民大学の活動拠点が中央公民館から新設予定の生涯学習センターに移行されることを考慮し、減じた数値となっています。
令和元年度 実績値	351,741		
令和2年度 実績値	※1 144,750		
令和3年度 実績値	※2 203,896		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	381,000		

年度	数値
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	387,090
平成30年度 実績値	374,850
令和元年度 実績値	351,741
令和2年度 実績値	144,750
令和3年度 実績値	203,896
令和4年度 実績値	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	381,000

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、休館及び利用人数制限を行ったため、利用者数が減少しました。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、開館時間の短縮及び利用人数制限を行ったため、利用者数の伸びが鈍化したものとなりました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	5 図書館サービスの充実
具体的施策	1 「久喜市立図書館の基本的運営方針(※)」の効果的な推進

数値目標名	レファレンスに対する利用満足度	担当課	生涯学習課
単位	%	達成率	90.7%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	51.9	達成度	B
平成30年度 実績値	51.9	推移グラフ	
令和元年度 実績値	48.0		
令和2年度 実績値	49.3		
令和3年度 実績値	54.4		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	60.0		

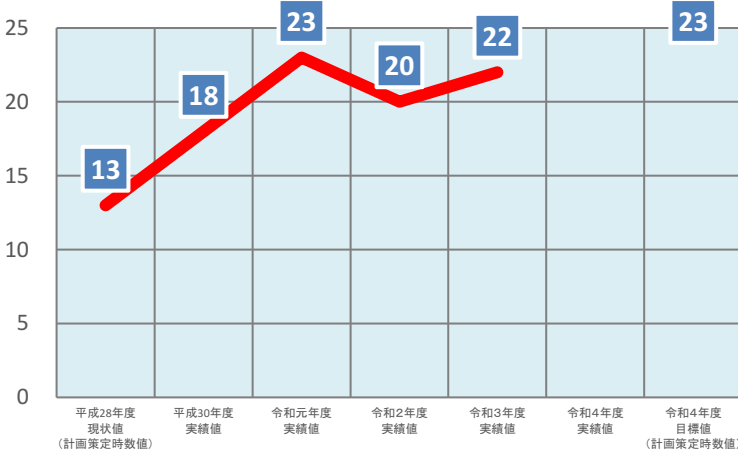
※ 第2期久喜市教育振興基本計画策定時の計画は「久喜市図書館サービス基本計画」でしたが、令和2年度で計画が終了し、令和3年度から新たに「久喜市立図書館の基本的運営方針」を策定したため、変更になりました。

具体的施策 1 「久喜市立図書館の基本的運営方針(※)」の効果的な推進

数値目標名	学校への団体貸出冊数	担当課	生涯学習課
単位	冊	達成率	74.9%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1,064	達成度	D
平成30年度 実績値	1,804	推移グラフ	
令和元年度 実績値	1,243		
令和2年度 実績値	1,137		
令和3年度 実績値	1,124		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	1,500		

※ 第2期久喜市教育振興基本計画策定時の計画は「久喜市図書館サービス基本計画」でしたが、令和2年度で計画が終了し、令和3年度から新たに「久喜市立図書館の基本的運営方針」を策定したため、変更になりました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進																							
施策	5 図書館サービスの充実																							
具体的施策	1 「久喜市立図書館の基本的運営方針(※1)」の効果的な推進																							
数値目標名	学校訪問事業実施学校数	担当課	生涯学習課																					
単位	校	達成率	100.0%																					
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	13	達成度	A																					
平成30年度 実績値	18	推移グラフ	 <table><caption>推移グラフのデータ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th><th>種類</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度</td><td>13</td><td>現状値(計画策定時数値)</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>18</td><td>実績値</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>23</td><td>実績値</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>20</td><td>実績値</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>22</td><td>実績値</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>23</td><td>目標値(計画策定時数値)</td></tr></tbody></table>	年度	数値	種類	平成28年度	13	現状値(計画策定時数値)	平成30年度	18	実績値	令和元年度	23	実績値	令和2年度	20	実績値	令和3年度	22	実績値	令和4年度	23	目標値(計画策定時数値)
年度	数値	種類																						
平成28年度	13	現状値(計画策定時数値)																						
平成30年度	18	実績値																						
令和元年度	23	実績値																						
令和2年度	20	実績値																						
令和3年度	22	実績値																						
令和4年度	23	目標値(計画策定時数値)																						
令和元年度 実績値	23(全校)																							
令和2年度 実績値	※2 20																							
令和3年度 実績値	※3 22(全校)																							
令和4年度 実績値																								
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	※4 21(全校)																							

※1 第2期久喜市教育振興基本計画策定時の計画は「久喜市図書館サービス基本計画」でしたが、令和2年度で計画が終了し、令和3年度から新たに「久喜市立図書館の基本的運営方針」を策定したため、変更になりました。

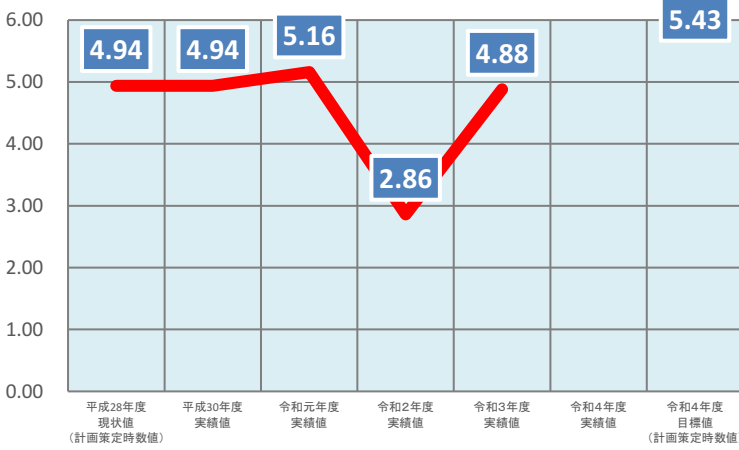
※2 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止にした学校があり、学校数が減少しました。

※3 令和3年度においては、全校で実施しましたが、江面第一小学校と江面第二小学校の統合に伴い学校数が減少しました。

※4 計画策定時は23校で実施予定でしたが、江面第一小学校と江面第二小学校の統合(R3～)及び上内小学校の休校(R4～)に伴い学校数が減少しました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	5 図書館サービスの充実
具体的施策	1 「久喜市立図書館の基本的運営方針(※1)」の効果的な推進

数値目標名	人口一人あたりの貸出冊数	担当課	生涯学習課														
単位	冊	達成率	89.9%														
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	4.94	達成度	C														
平成30年度 実績値	4.94	推移グラフ	 <table><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>平成30年度 実績値</td><td>令和元年度 実績値</td><td>令和2年度 実績値</td><td>令和3年度 実績値</td><td>令和4年度 実績値</td><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td></tr><tr><td>4.94</td><td>4.94</td><td>5.16</td><td>2.86</td><td>4.88</td><td></td><td>5.43</td></tr></table>	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	4.94	4.94	5.16	2.86	4.88		5.43
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)										
4.94	4.94	5.16		2.86	4.88		5.43										
令和元年度 実績値	5.16																
令和2年度 実績値	※2 2.86																
令和3年度 実績値	4.88																
令和4年度 実績値																	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	5.43																

※1 第2期久喜市教育振興基本計画策定時の計画は「久喜市図書館サービス基本計画」でしたが、令和2年度で計画が終了し、令和3年度から新たに「久喜市立図書館の基本的運営方針」を策定したため、変更になりました。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館をしたため、貸出冊数が減少しました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	6 市民大学・高齢者大学の充実
具体的施策	1 市民大学の充実

数値目標名	市民大学入学者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	40.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	12	達成度	D
平成30年度 実績値	13	推移グラフ	
令和元年度 実績値	11		
令和2年度 実績値	8		
令和3年度 実績値	16		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	40		

具体的施策 1 市民大学の充実

数値目標名	公開講座数	担当課	生涯学習課
単位	回	達成率	109.1%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	11	達成度	A
平成30年度 実績値	11	推移グラフ	
令和元年度 実績値	12		
令和2年度 実績値	※ 6		
令和3年度 実績値	12		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	11		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、講座が一部中止となったため、公開講座数が減少しました。

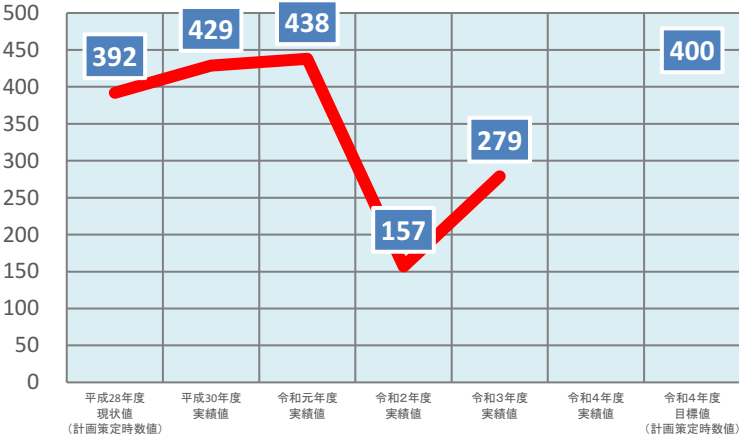
第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	6 市民大学・高齢者大学の充実
具体的施策	2 高齢者大学の充実

数値目標名	高齢者大学入学者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	36.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	67	達成度	D
平成30年度 実績値	56	推移グラフ	120 100 80 60 40 20 0 平成28年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和4年度 現状値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 目標値 (計画策定時数値) (計画策定時数値)
令和元年度 実績値	58		
令和2年度 実績値	59		
令和3年度 実績値	36		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	7 放課後子ども教室の推進
具体的施策	1 放課後子ども教室の推進

数値目標名	講座数	担当課	生涯学習課
単位	講座	達成率	69.8%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	392	達成度	D
平成30年度 実績値	429	推移グラフ	
令和元年度 実績値	438		
令和2年度 実績値	※ 157		
令和3年度 実績値	※ 279		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	400		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった教室もあるため、講座数が減少しました。

具体的施策 1 放課後子ども教室の推進

数値目標名	サポーターの数	担当課	生涯学習課														
単位	人	達成率	71.2%														
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	2,011	達成度	D														
平成30年度 実績値	2,214	推移グラフ	<table><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>平成30年度 実績値</td><td>令和元年度 実績値</td><td>令和2年度 実績値</td><td>令和3年度 実績値</td><td>令和4年度 実績値</td><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td></tr><tr><td>2,011</td><td>2,214</td><td>2,400</td><td>807</td><td>1,567</td><td></td><td>2,200</td></tr></table>	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	2,011	2,214	2,400	807	1,567		2,200
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)										
2,011	2,214	2,400		807	1,567		2,200										
令和元年度 実績値	2,400																
令和2年度 実績値	※ 807																
令和3年度 実績値	※ 1,567																
令和4年度 実績値																	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	2,200																

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった教室もあるため、サポーター数が減少しました。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
 施策 1 多彩な生涯学習機会の提供

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 生涯学習の機会の充実	178	子ども大学くきの実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・久喜青年会議所や平成国際大学、教育委員会が連携して、企画・運営を図り、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、「子ども大学くき」を実施しました。 開催日程：10月31日(日)、11月14日(日)、21日(日)、12月12日(日) 全4日間 対象者：小学4年生～6年生 参加者数：42人	・異なる学年の子どもたちが、大学教授や専門家の先生から、学校では体験できない学習や実習を受けることで、子どもたちの学ぶ力や生きる力を育み、知的好奇心の高揚が図られました。	・「生き方学」「はてな学」のみならず、久喜の歴史や文化に関する「ふるさと学」を実施してより幅広い分野の学びを展開していく必要があります。	3	・参加者数、開催時期、開催日数、内容については、毎年度検討していきます。また、開催場所については、生涯学習施設「まなびすポット」を活用していきます。
	179	生涯学習出前講座の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・団体等が主催する学習の場に市職員等の講師が向かい、市政の説明や、専門的な知識をいかした説明、実技指導等を実施しました。 講座メニュー数：65講座 実施件数：16件	・市職員等が講師として、市民等へ学習の機会を提供したことにより、市政への理解が図られたほか、生涯学習活動を推進することができました。	・コロナ禍で実施が難しかったことも考えられますが、実施件数が減少しているため、市民、学校等への周知方法を工夫していく必要があります。	3	・実施件数が減少しているため、引き続き、市民へ「生涯学習出前講座」のチラシを活用したり、校長会等で呼びかけたりしながら、参加啓発を図っていきます。また、講座内容の見直しを図り、魅力ある講座内容としていきます。
2 市民大学・高齢者大学の充実	180	市民大学講座の充実 ※再掲(連番No.207) (継続的取組み)		生涯学習課	・久喜市の歴史や文化、環境等についての講座をはじめ、特別講座として学長、副学長の講話や生涯学習のリーダー育成のためのボランティア体験、学生自ら企画する企画講座等を実施しました。 (1年生：26講座16人、2年生：18講座5人) ・令和4年度から講座終了後に学生へアンケートを行い、アンケートの回答内容を踏まえ、次年度以降の講座の充実を図ります。	・生涯学習活動やボランティア活動等を通じて、地域コミュニティづくりの担い手及びリーダーとしての素養を高めることができました。	・市民大学生の新入生を増やすことに加え、市民のニーズを把握して、魅力ある講座内容にしていける必要があります。	3	・生涯学習施設「まなびすポット」を積極的に活用し、市民大学・大学院の講座内容や運営方法などの充実を図っていきます。また、新入生の募集方法について検討していきます。
	181	市民大学公開講座の充実 ※再掲(連番No.208) (継続的取組み)		生涯学習課	・公開講座を久喜地区7回、菖蒲地区2回、栗橋地区1回、鷺宮地区2回の計12回開催しました。主な講座として、「本多静六博士と渋沢栄一」「利根川東遷と栗橋宿」「久喜の教育の源流を知る」等、久喜の歴史や文化、自然環境や健康福祉等をテーマに実施しました。 (一般参加者数183人)	・公開講座を実施することにより、市民大学生以外の市民にも聴講していただき、市民大学の講義の状況、活動の様子等を知ってもらう機会を提供することができ、令和2年度より参加者が増加しました。	・魅力ある講座にしていけること、また、市民に広く周知していく必要があります。	3	・今後も4地区で開催し、アンケートを実施して、参加者のニーズに合わせた内容となるように充実を図っていきます。
	182	高齢者大学講座の充実 ※再掲(連番No.209) (継続的取組み)		生涯学習課	・食生活や体力づくり、環境問題、介護問題など実生活に即した講座や、趣味活動や社会参加による生きがいを高めるような講座を実施しました。 (1年生：14講座31人、2年生：13講座48人、3年生：13講座43人、4年生：13講座38人)	・アンケートの集計結果から講座満足度が概ね好評との結果を得ることができました。	・学生数が減少傾向であるため、募集時期の広報活動に注力していく必要があります。	3	・生涯学習施設「まなびすポット」を積極的に活用し、高齢者大学の講座内容や運営方法などの充実を図っていきます。また、新入生の募集方法について検討していきます。
	183	学校行事(体育祭、作品展示会、音楽芸能祭等)の充実 ※再掲(連番No.210) (継続的取組み)		生涯学習課	・学校行事として作品展示会、グラウンドゴルフ大会、音楽芸能祭を実施しました。体育祭は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、その他学校行事や学級活動を通じて学生の連帯感を高めることができました。	・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、多くの学校行事を開催することができました。	・学生の意見を参考に、各学校行事について、開催時期や内容等、検討していく必要があります。	3	・学生ニーズにあった魅力ある行事となるよう、内容の充実を図っていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
 施策 1 多彩な生涯学習機会の提供

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	184	自主活動(クラブ活動、ボランティア活動)の充実 ※再掲(連番No.211) (継続的取組み)		生涯学習課	・クラブ活動を通し、趣味活動を積極的に支援しました。 ・公共施設等の草取りやイベントへのボランティア活動については、学生でボランティア推進委員会を立ち上げましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、第1回会議において実施が見送られることとなりました。	・クラブ活動では、限られた環境の中、同好者が集い、健康で豊かな活動をするとともに、友情の輪を広げることができました。	・ボランティア活動の負担感を軽減するとともに、活動の充実を図って必要があります。	3	・学生の負担感に留意し、クラブ活動とボランティア活動を推進していきます。
3 生涯学習情報の収集と提供	185	生涯学習人材バンクの活用の促進 (継続的取組み)		生涯学習課	・市民の学習意欲に応えるため、豊富な知識や優れた技術を持った方に生涯学習の指導者として生涯学習人材バンクに登録してもらい、申請・要望に応じて指導者を紹介しました。 (紹介件数:4件、登録者数:207人)	・生涯学習等の相談者に対し、講座等を希望する指導者の紹介及び仲介をすることができました。	・紹介件数が少ないため、人材バンクを積極的に活用してもらおうための工夫を行っていく必要があります。	2	・広報紙をはじめ、市ホームページや各種事業において人材バンク登録制度を周知し、登録者の増加とともに、制度の活用について市民等へ周知していきます。
	186	生涯学習情報紙(まなびすと久喜)の発行 ※再掲(連番No.194) (継続的取組み)		生涯学習課	・新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限されたことにより、生涯学習情報紙「まなびすと久喜」を年2回発行しました。 まなびすと久喜 21号、22号(8/1、1/1発行) 発行部数:各63,000部	・全戸配布することにより、市民へ広く生涯学習の取組みや生涯学習施設、地域で活動するサークルの紹介等を情報提供することができました。	・久喜市の生涯学習について、掲載内容等充実した広報紙となるよう、生涯学習推進部広報部会と情報を共有していく必要があります。	3	・「自分づくり・仲間づくり・まちづくり」の学習情報を市民へ提供できるよう、年間2回発行し、今後は広報くきに折り込む形で配布していきます。
4 生涯学習研修大会や生涯学習推進大会への支援	187	生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・新型コロナウイルスの感染拡大防止により中止しました。	—	・開催日数、開催会場等、参加者のニーズに合わせた内容にしていこう検討する必要があります。	—	・開催時期や開催内容等について検討していきます。また、開催場所については、鷺宮総合支所5階生涯学習施設「まなびすポット」を活用していきます。
	188	生涯学習推進大会「まなびすと久喜」の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・新型コロナウイルスの感染拡大防止により中止しました。	—	・開催日数、開催会場等、参加者のニーズに合わせた内容にしていこう検討する必要があります。	—	・開催時期や開催内容等について検討していきます。また、開催場所については、鷺宮総合支所5階生涯学習施設「まなびすポット」を活用していきます。
5 生涯学習活動団体の活性化の促進	189	社会教育関係団体の補助金交付 (継続的取組み)		生涯学習課	・青少年や成人に対して社会教育活動を行う団体を支援しました。 ボーイスカウト補助金 210,000円 子ども会育成連合会補助金420,000円 婦人会連合会補助金 450,000円 ガールスカウト補助金 70,000円	・コロナ禍で各種団体の事業が制限された中、団体事業の支援ができました。	・事業がより充実していくよう、各種団体へ事業の日時や事業内容を改めて見直すことを助言し、継続的に活動を支援していく必要があります。	3	・各種団体へ助言をしながら、社会教育関係団体の補助金を交付し、活動を支援していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標 施策		5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 2 保護者の交流機会の提供・支援							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 子育てについての意見交換の場の充実	190	家庭教育学級の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・子育ての悩みや親子の関わり方等について、仲間とともに話し合える機会を提供するため、小・中学校のPTA及び幼稚園の保護者会が行う家庭教育活動に対し、補助金を交付しました。 全67団体に対して事業の実施を周知しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施した団体は10団体となりました。 交付団体数:10団体(小学校3校、中学校3校、幼稚園4園)	・講座等の開催により子育てに関する学習する機会の提供と保護者同士の子育ての悩み等の情報共有、交流を図ることができました。	・保護者同士が安心して交流できる環境を整えていく必要があります。	3	・子育て支援の講演会等の開催を通じ、保護者同士の情報提供と交流の場の充実を図っていきます。
2 各種講演会等の充実	191	子育て講座(親の学習)の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・各小学校の就学時健康診断の開催日に、保護者を対象とした、子育てに必要な知識やスキルを学ぶ「子育て講座」を実施しました。 開催日程:10～11月、実施校:22校 参加者:1,146人	・家庭教育アドバイザー等による講義を通じて、保護者一人ひとりが、親としての役割や責任を自覚し、子育てに関する必要な知識等の習得を図ることができました。	・保護者のニーズにあった内容に配慮していく必要があります。	3	・引き続き、家庭教育アドバイザーを積極的に活用するよう、小・中学校へ周知していきます。
	192	家庭教育フォーラムの実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・新型コロナウイルス感染拡大防止により中止しました。	—	・参加者のニーズにあった内容をテーマにするなど開催方法を検討していく必要があります。	—	・保護者等の負担も踏まえ、家庭教育学級、子育て講座で内容を補完できるよう努めています。 ・家庭教育アドバイザーによる意見交換会を開催し、「家庭教育支援チーム」の設置について検討していきます。

基本目標 施策		5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 3 生涯学習環境の整備・充実							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 生涯学習施設の建物及び設備の整備・充実	193	社会教育施設の整備 (目標年度:令和4年度)		生涯学習課 中央公民館	・公共施設個別施設設計画の中で、行政サービス、図書館、コミュニティセンターの機能を有する施設(栗橋市民プラザ)の建設が示され、栗橋公民館やいきいき活動センターしずか館の統廃合について、統合手法や今後のスケジュール等を関係課と協議しました。	・栗橋市民プラザの建設について、関係各課における取組みや検討状況などの情報を共有することができました。	・教育委員会の中だけにとどまらず、市長部局の各課とも、部局の枠を超えて検討していく必要があります。	—	・栗橋市民プラザの建設について、引き続き、関係各課と協議を進めていきます。
2 生涯学習施設の利用促進	194	生涯学習情報紙(まなびすと久喜)の発行 ※再掲(連番No.186) (継続的取組み)		生涯学習課	・新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限されたことにより、生涯学習情報紙「まなびすと久喜」を年2回発行しました。 まなびすと久喜 21号、22号(8/1、1/1発行) 発行部数:各63,000部	・全戸配布することにより、市民へ広く生涯学習の取組みや生涯学習施設、地域で活動するサークルの紹介等を情報提供することができました。	・久喜市の生涯学習について、掲載内容等充実した広報紙となるよう、生涯学習推進部広報部会と情報を共有していく必要があります。	3	・「自分づくり・仲間づくり・まちづくり」の学習情報を市民へ提供できるよう、年間2回発行し、今後は広報くきに折り込む形で配布していきます。
3 生涯学習センターの整備・充実	195	生涯学習センターの整備 (目標年度:令和3年度)		生涯学習課	・鷲宮総合支所5階に、本市の生涯学習を推進する拠点施設として、生涯学習施設「まなびすポット」を整備しました。令和4年3月4日に開所式を実施したほか、令和4年度からの市民大学や高齢者大学等による本格的な施設活用について、準備・検討をしました。	・市民大学や高齢者大学の教室、生涯学習推進部専用の部屋など、市の生涯学習関係事業を展開する専用施設を整備することにより、市民の生涯学習活動を推進することができました。	・生涯学習施設の利用拡大に向けて、課題等の整理や検討をしていく必要があります。 ・利用者の交通手段を確保することについても課題があります。	B	・生涯学習の拠点施設として、市の生涯学習・社会教育の一層の充実を図ることができるよう、活用方法や事業内容について検討していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	4 公民館活動の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 公民館事業の充実	196	公民館主催事業の実施 (継続的取組み)		中央公民館	・公民館主催事業として46事業を実施し、3,979人の参加がありました。 （中央公民館4事業149人、青葉公民館6事業232人、南公民館4事業232人、西公民館7事業508人、東公民館6事業1,001人、森下公民館5事業167人、栗橋公民館7事業1,131人、鷺宮公民館7事業559人） ・各地域で運営委員会を開催して意見を集め、地元産野菜を使った料理教室や出前防災講座等、各地域のニーズに応じた事業を展開しました。	・各公民館が特色ある事業を実施することで、市民の教養を向上させ、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興に寄与することができました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響下ではありましたが、必要な感染防止対策をとったうえで可能と考えられる事業を実施したところ、事業数及び参加者が昨年度に比べて、およそ4倍の増加となりました。	・各公民館単位で事業を企画し実施するため、同種の事業を同時期に行わないよう、調整を図る必要があります。	3	・コミュニティセンター移行後も市民の意向と地域のニーズに応じた事業を展開するため、現在の公民館運営委員との連携を引き継いだ形の運営方法の検討を進めます。
	197	久喜市公民館連絡協議会主催事業の実施 (継続的取組み)		中央公民館	・公民館連絡協議会主催事業として、3事業を実施しました。 ・市民企画事業として、1事業を実施しました。	・各公民館の館長並びに運営委員の代表委員からなる公民館連絡協議会が主催する共同事業を実施することで、各公民館の枠を超えた事業を参加者に提供することができました。 ・従来の提供型事業ではなく、市民が自ら企画、運営する事業を実施することで、生涯学習を身近に感じるとともに地域づくりへの参加の場を提供することができました。	・市民企画事業募集に関する周知方法について、さらに多くの応募が集まるよう工夫が必要です。	3	・各公民館の枠を超えた事業実施の意義を踏まえ、コミュニティセンター移行後も当該事業継続の方向性についての検討を進めます。
2 公民館運営の充実	198	公民館施設・設備改修工事等の実施 (目標年度:令和5年度)		中央公民館	・平成30年度に、令和5年度までの5か年計画として見直しを行った各公民館の修繕計画を、老朽化や不具合の進捗具合、また公共施設個別施設設計図で示された各公民館のコミュニティセンター化に合わせ一部修繕内容の変更を行い、修繕計画の方向性を検討しました。	・現時点における各公民館の修繕計画を把握することにより、公民館全体として、今後の大規模改修を要する施設及び修繕内容について緊急性や優先度合いを検討し、予算要求に反映することができました。	・コミュニティセンターへの転用後も利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、現在の各公民館の修繕計画の見直しを定期的に行う必要があります。	B	・公共施設個別施設設計図で示された各公民館のコミュニティセンターへの転用後も、引き続き支障なく施設が使用できるよう修繕計画の検討を進めるとともに、今後の改修工事等の見込についても関係各課と調整を図っていきます。
	199	市民が利用しやすい管理運営の充実 (継続的取組み)		中央公民館	・利用登録団体からの参加者募集案内を随時更新するとともに、他部署等からのイベント案内の掲示等により、市民の学習活動に役立つ情報を提供し、相談に対応しました。 ・各公民館において、施設の適正な管理のための業務委託や物品の賃貸借を行いました。 ・その他、地域活動の情報提供、窓口や電話での相談の対応、備品の貸出等を行いました。	・利用者が公民館を快適に利用できる環境を維持・管理することができました。 ・市民や利用者の相談に対し、職員や公民館補助委員が適切に対応することができました。	・施設の老朽化等に伴い、業務委託の内容等を従来以上に精査する必要があります。 ・備品の経年による損耗が見られることから、適宜補充する必要があります。	3	・今後も利用者が公民館を安全で快適に利用できるよう、業務委託等を適切に実施していきます。 ・利用者の相談に対し、引き続き適切に対応していきます。
3 公民館の適正配置の検討	200	公民館の適正配置の検討 (目標年度:令和4年度)		中央公民館	・公民館は、令和5年4月からコミュニティセンターに転用となる予定です。転用後の施設は、引き続き、身近な学習施設として地域教育活動の支援や活動拠点となるよう、関係課と調整しました。 ・栗橋公民館については、公共施設個別施設設計図の中で、現在の公民館機能を含めた複合施設(栗橋市民プラザ)の建設が示され、統廃合について統合手法や今後のスケジュール等を関係課と調整しました。	・コミュニティセンターへの転用にあたり、公民館利用者に対し現在と同様のサービスを提供できるよう、関係課と調整を図ることができました。 ・栗橋市民プラザの建設について、関係各課における取組みや検討状況などの情報を共有することができました。	・教育委員会の中だけにとどまらず、市長部局の各課とも、部局の枠を超えて検討していく必要があります。	B	・令和5年4月のコミュニティセンターへの転用に向け、引き続き、関係各課と協議を進めていきます。 ・栗橋市民プラザへの統廃合について、引き続き、関係各課と協議を進めていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
 施策 5 図書館サービスの充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 「久喜市立図書館の基本的運営方針」の効果的な推進	201	市民に伝える図書館の推進 (継続的取組み)		生涯学習課	・市民ニーズの広がりや多様化に的確に対応していくため、蔵書の充実を図りました。 ・郷土資料や行政資料など様々な資料や情報を積極的に収集し、市民が必要とする図書館資料を収集するとともに提供しました。 (人口一人あたりの貸出冊数 4.88冊)	市民のニーズを踏まえ、市立図書館4館の連携を図りながら選書することで、利用者の学習活動・課題解決に必要な図書館資料や情報を提供することができました。	・選書については、引き続き4館の連携を図っていく必要があります。 ・除籍については、各館で行うだけでなく、再活用につなげて、できる限り現物処分を少なくする必要があります。 ・質の高いサービスを提供するため、職員の専門能力の向上が求められています。	3	・選書や除籍については、4館の連携を図って行います。 ・質の高いサービスを提供するため、職員の専門能力の向上に努めていきます。
	202	市民を支える図書館の推進 (継続的取組み)		生涯学習課	・本市の社会教育・生涯学習を支える中核的な役割を担う施設として市民の「学び」を支えるため、レファレンスサービスの強化を図りました。 ・大活字本や点字図書、洋書等の充実を図ることにより、高齢者、障がい者及び外国人に対する支援を行いました。 (レファレンスに対する利用満足度 54.4%)	・様々な利用者の多岐にわたる疑問、調べものの課題解決について役立つ資料や情報を提供し、学習や調査・研究の支援を行うことができました。 ・高齢者、障がい者及び外国人にとって利用しやすい読書環境を提供することができました。	・質の高いサービスを提供するため、職員の専門能力の向上が求められています。 ・高齢者や障がい者、外国人に配慮したサービス等の提供に今後も引き続き努めていく必要があります。	3	・図書館のレファレンス機能を強化するとともに、課題解決型サービスの充実に努めていきます。 ・質の高いサービスを提供するため、職員の専門能力の向上に努めます。 ・高齢者や障がい者、外国人の利用者にとって利用しやすいサービス等の充実に努めていきます。
	203	市民が集う図書館の推進 (継続的取組み)		生涯学習課	これまでの利用者に加え、子どもから高齢者まで気軽に市民が集える居場所として、館内スペースの有効活用を図るとともに、各種のイベントや講座を開催するなど、あらゆる世代に向けた魅力ある図書館づくりを行いました。	・様々な世代を意識したイベント等を実施して多様な学習機会を提供し、多くの市民に来館してもらうとともに、イベントに関係のある図書等を紹介することで、図書への興味・関心を喚起し図書館の活用を促進することができました。	・図書への興味・関心を喚起するイベントについて、今後も引き続き実施していく必要があります。 ・利用者の安全・快適に利用できるスペースを確保していく必要があります。	3	図書への興味・関心を喚起するイベント等の開催について、様々なアイデアを考え、利用者の増加を図っていきます。
	204	子どもの成長を応援する図書館の推進 (継続的取組み)		生涯学習課	・図書館を子どもにとって魅力ある場所にするため、おはなし会や読み聞かせなどのイベントを充実しました。 ・学校訪問や一日図書館員などの子ども向け講座の実施、コンクールの開催など、市内小学校と連携することで子どもの読書環境の充実と活動支援を行いました。 ・4か月児検診時にブックスタート事業を行いました。 (学校への団体貸出冊数 1,124冊) (学校訪問事業実施学校数 22校)	・学校訪問ブックトークを小学校全校で実施することにより、子どもの読書活動への興味につなげることができました。 ・学校との連携を強化することで、児童生徒の読書傾向や学習内容を把握し、学校の要望に沿った資料を提供することができました。 ・コンクールの開催により、子どもの読書環境の充実や図書館利用の促進を図ることができました。 ・ブックスタート事業を行うことにより、乳幼児へ向けた読書環境の強化を図ることができました。	・学校の教科書やカリキュラムに応じた適正な資料提供(団体貸出)が行えるよう、教職員と図書館との連携を強化していく必要があります。 ・コンクール開催等を通じて子どもの読書に対する意識を喚起していく必要があります。 ・ブックスタートなどの就学前の乳幼児期の子どものための読書環境の充実を図るとともに託児サービスの充実に努めていく必要があります。	3	・学校訪問ブックトークは、引き続き全小学校で実施していきます。 ・児童生徒の学習支援のため、学校カリキュラムとの連携を図り、教科のテーマにあった貸出を実施していきます。 ・コンクールの開催など、子どもの読書活動に対する意識喚起と読書環境の充実を図っていきます。
	205	ICTの利活用 (継続的取組み)		生涯学習課	・紙媒体の広報くきや図書館だよりによる情報提供を行うとともに、図書館ホームページやツイッター等のインターネットを活用した情報発信を行いました。 ・館内利用者向けフリーWi-Fiの活用を図り、電子図書館機能の充実を図る等ICTを活用した「学び」の提供を行いました。 (電子図書館タイトル数 3,144点)	・ホームページやツイッター等を使うことで、イベントや館内展示等の図書館利用に役立つ最新情報を伝え、また、急に発生した事柄も迅速に利用者に発信できるようになりました。 ・蔵書検索やWeb予約などインターネットを活用した図書館機能の充実を図ることができました。	・広報くき、図書館だより、図書館ホームページ、ツイッター等による市民への情報発信は今後も引き続き実施していく必要があります。 ・インターネットを利用した図書館機能の拡充により、利用者への図書館サービスの向上に努めます。	3	・より効果的な情報発信に努めていきます。 ・積極的に電子資料を収集し、電子図書館の充実に努めていきます。 ・リクエストや利用券申請など新たなWebサービスを検討し、図書館サービスの向上に努めます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

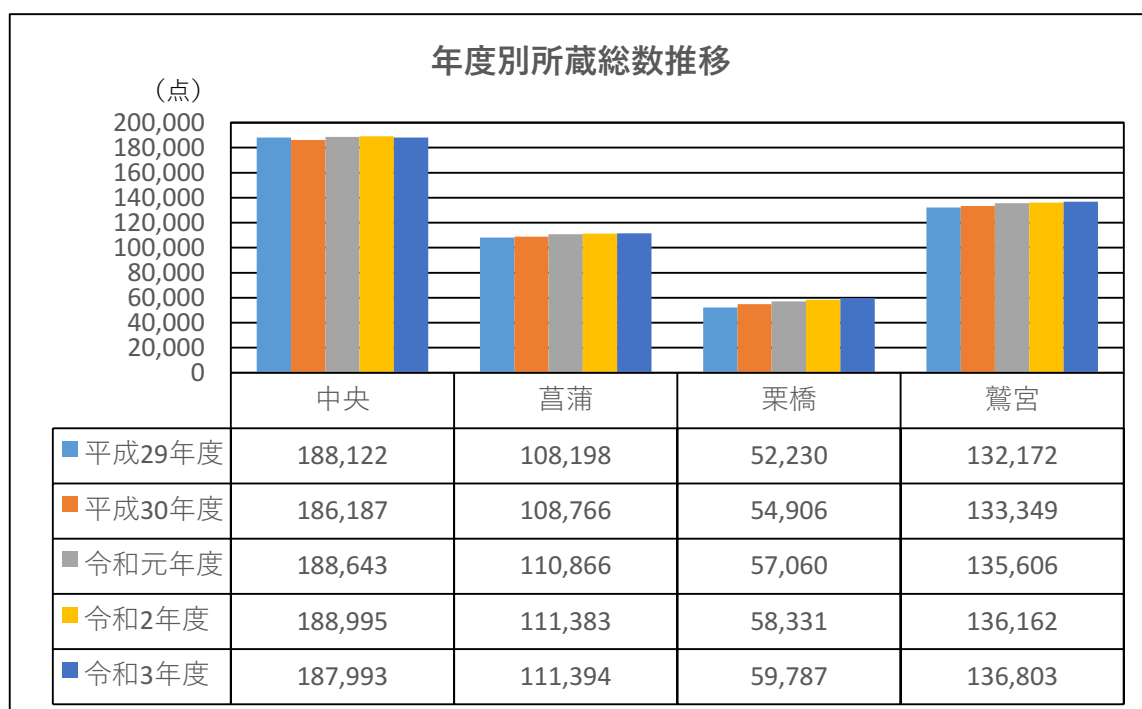
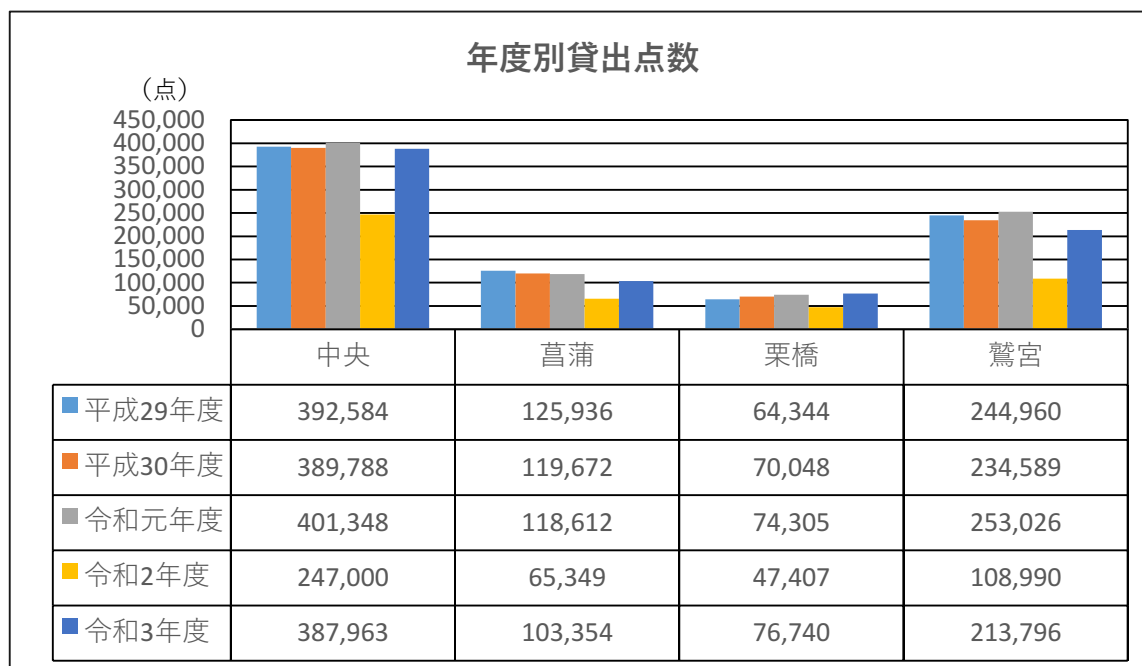
基本目標 施策		5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 5 図書館サービスの充実							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	206	図書館環境の整備 (継続的取組み)		生涯学習課	・施設管理については、指定管理者が中心となり、本市と協議を行いながら修繕など適切な維持管理に努めました。 ・施設運営については、指定管理者のノウハウを活用しながら適切な運営ができました。 ・館内スペースの有効利用を図り、適切な除籍を進めることによって探しやすい資料配置を行いました。	施設の適切な維持管理を行うとともに、市民にとって利用しやすい快適な読書環境の充実を図ることができました。	・引き続き適切な施設の維持管理に努めていきます。 ・探しやすい資料配置のため、適切な選書や除籍を行い最新の資料が利用できるよう努め、必要に応じて書架のレイアウト変更等を行っています。	3	・選書や除籍については、4館の連携を図って行います。 ・質の高いサービスを提供するため、職員の専門能力の向上に努めます。
基本目標 施策		5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 6 市民大学・高齢者大学の充実							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 市民大学の充実	207	市民大学講座の充実 ※再掲(連番No.180) (継続的取組み)		生涯学習課	・久喜市の歴史や文化、環境等についての講座をはじめ、特別講座として学長、副学長の講話や生涯学習のリーダー育成のためのボランティア体験、学生自ら企画する企画講座等を実施しました。 (1年生:26講座16人、2年生:18講座5人) ・令和4年度から講座終了後に学生へアンケートを行い、アンケートの回答内容を踏まえ、次年度以降の講座の充実に図ります。	・生涯学習活動やボランティア活動等を通じて、地域コミュニティづくりの担い手及びリーダーとしての素養を高めることができました。	・市民大学生の新入生を増やすことに加え、市民のニーズを把握して、魅力ある講座内容にしていける必要があります。	3	・生涯学習施設「まなびずポット」を積極的に活用し、市民大学・大学院の講座内容や運営方法などの充実を図っていきます。また、新入生の募集方法について検討していきます。
	208	市民大学公開講座の充実 ※再掲(連番No.181) (継続的取組み)		生涯学習課	・公開講座を久喜地区7回、菖蒲地区2回、栗橋地区1回、鷺宮地区2回の計12回開催しました。主な講座として、「本多静六博士と渋沢栄一」「利根川東遷と栗橋宿」「久喜の教育の源流を知る」等、久喜の歴史や文化、自然環境や健康福祉等をテーマに実施しました。 (一般参加者数183人)	・公開講座を実施することにより、市民大学生以外の市民にも聴講していただき、市民大学の講義の状況、活動の様子等を知ってもらう機会を提供することができ、令和2年度より参加者が増加しました。	・魅力ある講座にしていけること、また、市民に広く周知していく必要があります。	3	・今後も4地区で開催し、アンケートを実施して、参加者のニーズに合わせた内容となるように充実に図っていきます。
2 高齢者大学の充実	209	高齢者大学講座の充実 ※再掲(連番No.182) (継続的取組み)		生涯学習課	・食生活や体力づくり、環境問題、介護問題など実生活に即した講座や、趣味活動や社会参加による生きがいを高めるような講座を実施しました。 (1年生:14講座31人、2年生:13講座48人、3年生:13講座43人、4年生:13講座38人)	・アンケートの集計結果から講座満足度が概ね好評との結果を得ることができました。	・学生数が減少傾向であるため、募集時期の広報活動に注力していく必要があります。	3	・生涯学習施設「まなびずポット」を積極的に活用し、高齢者大学の講座内容や運営方法などの充実に図っていきます。また、新入生の募集方法について検討していきます。
	210	学校行事(体育祭、作品展示会、音楽芸能祭等)の充実 ※再掲(連番No.183) (継続的取組み)		生涯学習課	・学校行事として作品展示会、グラウンドゴルフ大会、音楽芸能祭を実施しました。体育祭は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、その他学校行事や学級活動を通じて学生の連帯感を高めることができました。	・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、多くの学校行事を開催することができました。	・学生の意見を参考に、各学校行事について、開催時期や内容等、検討していく必要があります。	3	・学生ニーズにあった魅力ある行事となるよう、内容の充実に図っていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標 施 策		5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 6 市民大学・高齢者大学の充実							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	211	自主活動(クラブ活動、ボランティア活動)の充実 ※再掲(連番No.184) (継続的取組み)		生涯学習課	・クラブ活動を通し、趣味活動を積極的に支援しました。 ・公共施設等の草取りやイベントへのボランティア活動については、学生でボランティア推進委員会を立ち上げましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、第1回会議において実施が見送られることとなりました。	・クラブ活動では、限られた環境の中、同好者が集い、健康で豊かな活動をするともに、友情の輪を広げることができました。	・ボランティア活動の負担感を軽減するとともに、活動の充実を図っていく必要があります。	3	・学生の負担感に留意し、クラブ活動とボランティア活動を推進していきます。

基本目標 施 策		5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進 7 放課後子ども教室の推進							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 放課後子ども教室の推進	212	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが健やかにはぐくまれる環境づくりの推進 (継続的取組み)		生涯学習課	・新型コロナウイルス感染症の影響により、22校中19校が感染症対策を講じて実施し、オンラインや動画配信など工夫した講座も実施されました。 ・運営委員会、実施委員会を開催し、各放課後子ども教室の情報交換をしました。 ・運営委員会会長や副会長、事務局職員が実施委員会や活動日に訪問し、各放課後子ども教室を支援しました。 (講座数279、実施委員及びサポーター数1,917人)	・各実施委員会の実施により円滑な運営に係る情報を相互に共有することができました。 ・それぞれの放課後子ども教室では、地域の方や友達と楽しく学んだり遊んだりすることができました。	・講座を開催するにあたっての指導者・サポーターの人材確保、児童が興味をもつ講座内容、オンラインによる開催手法等、各実施委員会を中心に検討していく必要があります。	3	・学校・家庭・地域の連携をもとに、放課後子ども教室の活動の充実を図っていきます。
	213	安全・安心な活動拠点の確保と調整 (継続的取組み)		生涯学習課	・実施委員、サポーター等を対象とした他の放課後子ども教室を参観する見学会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。 ・情報交換会については、規模を縮小して開催しました。 ・感染症対策や熱中症対策について、運営委員会が資料を配布し、情報共有をしました。	・情報交換会では、57名が参加し、「コロナ禍における放課後子ども教室の実施について」をテーマに感染症対策や講座の内容等を中心に話し合うことができました。	・情報交換会については、内容の検討や会場の検討、見学会については、日程の調整や参加者数を検討し、事業の充実を図っていく必要があります。	3	・今後も、子どもたちの安全・安心な活動拠点として、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会の提供を図っていきます。
2 放課後子ども総合プランの推進	214	放課後子ども総合プランの実現に向けた連携と調整 (継続的取組み)		生涯学習課	・放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)と、学習や体験・交流活動などを行う事業(放課後子ども教室)との連携を図りました。 (一体型19校、連携型3校)	・放課後児童クラブと連携して、放課後子ども教室を実施することができました。	・小学校の余裕教室等の活用や、教育と福祉との連携方策等について検討していく必要があります。 ・放課後児童クラブに参加する多くの児童が、放課後子ども教室に参加するよう、講座内容等を工夫し、学童との連携を一層図っていく必要があります。	3	・学校教育に支障が生じないよう、余裕教室や放課後等に一時的に使われていない特別教室等の活用を促進していきます。 ・統廃合が計画されている学校の放課後子ども教室の運営について、実施委員会の意向も考慮しながら検討していきます。

平成29年度～令和3年度 図書貸出・所蔵数推移



基本目標6

歴史・文化の継承と活用

基本目標の概要

多様な文化芸術活動を支援するとともに、市民が文化芸術に触れることができる機会の充実を図ります。また、市の文化的・歴史的資産を未来に継承するとともに、地域の活性化に役立てます。

施策

- 1 文化芸術団体の育成・支援 2 文化芸術活動等の充実
- 3 地域文化資源の発掘 4 文化財の保存・継承
- 5 文化財の活用 6 郷土資料館の充実

6つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 1 4 ○数値目標 7 ○取組み 2 1

担当課

○生涯学習課 ○文化財保護課

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全 7 件)	達 成 度		件 数	割 合
	A	達成率 100%以上	2	28.6%
	B	達成率 90%以上 100%未満	0	0.0%
	C	達成率 80%以上 90%未満	0	0.0%
	D	達成率 80%未満	5	71.4%

継続的 取組み (全 2 0 件)	達 成 度		件 数	割 合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	0	0.0%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	1 6	80.0%
	2	予定を下回る取組み結果となった	3	15.0%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	0	0.0%
	—	評価できない	1	5.0%

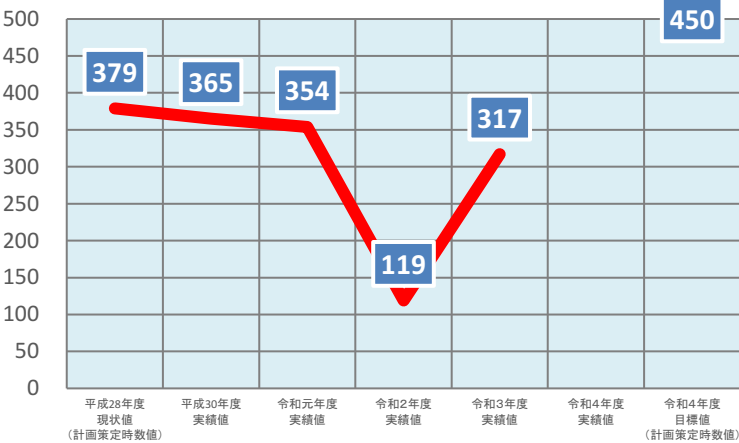
目標年度が 設定された 取組み (全1件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	0	0.0%
	B	概ね計画どおりである	0	0.0%
	C	計画より遅れている	0	0.0%
	D	計画倒れ・中止となった	0	0.0%
	—	評価できない	1	100.0%

学識経験者の意見

- 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実について、コロナ禍によりオンライン開催であったものの、市民芸術祭や吹奏楽フェスティバルの入場者数は共に過去最高の数値となっており、取組みの工夫により一定の成果があったと思う。
- 芸術文化に親しみ発表する機会として、美術展や市民芸術祭、吹奏楽フェスティバルは、コロナ禍であっても多くの出品数、出演団体があり、良い発表の場となっている。発表の場があるということは、日頃の活動に対して意欲を高めることとなり、個性を伸ばし、創造性を培い、自己の向上を図ろうとする良い機会となると思う。演奏団体についても、発表日に合わせて練習を積み、演奏技術を向上させることができると思う。
- 文化財の保存、継承の取組みについては、市民は住んでいる地域の伝統芸能について関心があると思う。その地域に住んでいるからこそ、その地域の伝統芸能についての情報を多く得ないと関心が薄れてしまうのではないかと。子どもも大人も、その伝統芸能に関することを他の地域の方より多く知り、伝統芸能があることを誇りに思い、絶やしてはいけないという意識を持つことが大事だと思う。そのためにも、伝統芸能の継承等、広報活動を引き続き取り組んでいただきたい。
- 久喜市の伝統芸能については、小学校の頃から繰り返し触れることが大切である。小・中学校と連携して、久喜市の伝統芸能の周知に取り組んでいただきたい。
- 「歴史・文化の継承と活用」というものは、次の世代への責任であり、是非継続して更に成果を上げていただきたい。
- 美術展や芸術祭について、工夫と成果が素晴らしい。歴史と文化のレベルが、市民の洗練度の証でもある。これらの取組みを通じて継続して文化を広めていただきたい。
- すばらしい歴史ブックレットが刊行されている。社会科の時間や特別活動の時間などに役立ていただけるように、学校へ働きかけていただきたい。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	6 歴史・文化の継承と活用
施策	2 文化芸術活動等の充実
具体的施策	1 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実

数値目標名	久喜市美術展出品者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	70.4%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	379	達成度	D
平成30年度 実績値	365	推移グラフ	
令和元年度 実績値	354	 450 379 365 354 119 317 450 平成28年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和4年度 現状値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 目標値 (計画策定時数値)	
令和2年度 実績値	※ 119		
令和3年度 実績値	317		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	450		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、第1部(絵画・彫刻・工芸)及び第2部(書)が中止となったため、実績値が減少しました。

具体的施策 1 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実

数値目標名	久喜市美術展入場者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	48.9%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	2,135	達成度	D
平成30年度 実績値	1,819	推移グラフ	
令和元年度 実績値	1,739	 2,800 2,135 1,819 1,739 436 1,369 平成28年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和4年度 現状値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 目標値 (計画策定時数値)	
令和2年度 実績値	※ 436		
令和3年度 実績値	1,369		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	2,800		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、第1部(絵画・彫刻・工芸)及び第2部(書)が中止となったため、実績値が減少しました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	6 歴史・文化の継承と活用
施策	2 文化芸術活動等の充実
具体的施策	1 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実

数値目標名	市民芸術祭入場者数	担当課	生涯学習課																				
単位	人	達成率	130.0%																				
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	911	達成度	A																				
平成30年度 実績値	949	推移グラフ	※第2期計画の数値目標設定時に、平成25～27年度の実績値が800人に届かず、第1期計画の目標値850人を下回る結果となっていたため、過去の実績を踏まえ、数値目標を800人と設定しています。																				
令和元年度 実績値	622	オンライン視聴回数 <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>911</td><td></td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>949</td><td></td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>622</td><td></td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>1,040</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度 実績値</td><td></td><td>800</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	911		平成30年度 実績値	949		令和元年度 実績値	622		令和2年度 実績値	0		令和3年度 実績値	1,040		令和4年度 実績値		800
年度	実績値		目標値																				
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	911																						
平成30年度 実績値	949																						
令和元年度 実績値	622																						
令和2年度 実績値	0																						
令和3年度 実績値	1,040																						
令和4年度 実績値		800																					
令和2年度 実績値	※1 0																						
令和3年度 実績値	※2 1,040回																						
令和4年度 実績値																							
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	800																						

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となりました。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン開催となりました(R4.3月末時点の視聴回数)。

具体的施策 1 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実

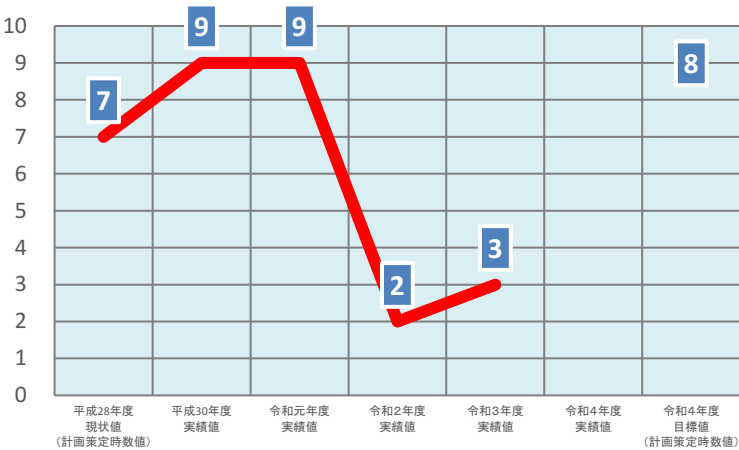
数値目標名	吹奏楽フェスティバル 入場者数	担当課	生涯学習課																						
単位	人	達成率	370.3%																						
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1,968	達成度	A																						
平成30年度 実績値	2,684	推移グラフ	オンライン視聴回数 <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>1,968</td><td></td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>2,684</td><td></td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>2,721</td><td></td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>7,776</td><td></td></tr><tr><td>令和4年度 実績値</td><td></td><td>2,100</td></tr></tbody></table>		年度	実績値	目標値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1,968		平成30年度 実績値	2,684		令和元年度 実績値	2,721		令和2年度 実績値	0		令和3年度 実績値	7,776		令和4年度 実績値		2,100
年度	実績値	目標値																							
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1,968																								
平成30年度 実績値	2,684																								
令和元年度 実績値	2,721																								
令和2年度 実績値	0																								
令和3年度 実績値	7,776																								
令和4年度 実績値		2,100																							
令和元年度 実績値	2,721																								
令和2年度 実績値	※1 0																								
令和3年度 実績値	※2 7,776回																								
令和4年度 実績値																									
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	2,100																								

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となりました。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン開催となりました(R4.3月末時点の視聴回数)。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	6 歴史・文化の継承と活用
施策	2 文化芸術活動等の充実
具体的施策	1 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実

数値目標名	街かどコンサートの実施回数	担当課	生涯学習課
単位	回	達成率	37.5%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	7	達成度	D
平成30年度 実績値	9	推移グラフ	
令和元年度 実績値	9		
令和2年度 実績値	※ 2		
令和3年度 実績値	3		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	8		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していたコンサートの開催ができないものがあったため、実績値が減少しました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	6 歴史・文化の継承と活用
施策	4 文化財の保存・継承
具体的施策	3 指定無形民俗文化財の後継者育成・伝承活動への支援

数値目標名	郷土伝統芸能後継者育成活動の実施回数	担当課	文化財保護課
単位	回	達成率	20.5%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	377	達成度	D
平成30年度 実績値	405	推移グラフ	
令和元年度 実績値	385		
令和2年度 実績値	※ 63		
令和3年度 実績値	※ 78		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	380		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、後継者育成活動を縮小あるいは中止する団体があったため、実施回数が減少しました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	6 歴史・文化の継承と活用
施策	6 郷土資料館の充実
具体的施策	1 展示の実施等による所蔵資料の活用

数値目標名	郷土資料館の入館者数	担当課	文化財保護課														
単位	人	達成率	72.9%														
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	7,766	達成度	D														
平成30年度 実績値	8,880	推移グラフ	<table><caption>推移グラフのデータ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>入館者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 (現状値)</td><td>7,766</td></tr><tr><td>平成30年度 (実績値)</td><td>8,880</td></tr><tr><td>令和元年度 (実績値)</td><td>8,835</td></tr><tr><td>令和2年度 (実績値)</td><td>1,652</td></tr><tr><td>令和3年度 (実績値)</td><td>5,756</td></tr><tr><td>令和4年度 (目標値)</td><td>7,900</td></tr></tbody></table>	年度	入館者数	平成28年度 (現状値)	7,766	平成30年度 (実績値)	8,880	令和元年度 (実績値)	8,835	令和2年度 (実績値)	1,652	令和3年度 (実績値)	5,756	令和4年度 (目標値)	7,900
年度	入館者数																
平成28年度 (現状値)	7,766																
平成30年度 (実績値)	8,880																
令和元年度 (実績値)	8,835																
令和2年度 (実績値)	1,652																
令和3年度 (実績値)	5,756																
令和4年度 (目標値)	7,900																
令和元年度 実績値	8,835																
令和2年度 実績値	※1 1,652																
令和3年度 実績値	※2 5,756																
令和4年度 実績値																	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	7,900																

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館や入場制限、特別展の中止等の対応を行ったため、入館者数が減少しました。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、入場制限や主催事業の中止等の対応を行ったため、入館者数が回復するまでには到りませんでした。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標 施 策		6 歴史・文化の継承と活用 1 文化芸術団体の育成・支援							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 文化芸術団体の活動支援及び育成	215	文化団体の育成支援 (継続的取組み)		生涯学習課	・市内4地区の文化団体連合会等に、次のとおり補助金を交付しました。 ①久喜文化団体連合会 712,816円 ②菖蒲町文化団体連合会 730,130円 ③栗橋文化協会 339,426円 ④鷺宮文化団体連合会 464,040円	・4地区の文化団体連合会等に補助金を交付することで、各団体が市民文化祭などの文化事業を、自主的に計画・実施することができました。	・合併後においても、地区ごとの活動の自主性が強く、文化団体同士の交流や連携が図られていない状況です。 文化活動を促進させるため、文化団体同士の情報交換や交流する場を設け、横の連携を図っていく必要があります。	3	・統合を見据えた文化団体同士の情報交換や交流について、各地区の文化団体連合会等の役員と協議・検討していきます。
基本目標 施 策		6 歴史・文化の継承と活用 2 文化芸術活動等の充実							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実	216	美術展(絵画等・書・写真)の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・美術展を以下のとおり実施しました。 【絵画・彫刻・工芸】 開催日:R3. 9. 30(木)～10. 4(月) 会場:久喜総合文化会館広域文化展示室(出品数69点、入場者数462人) 【書】 開催日:R4. 3. 11(金)～14(月) 会場:中央公民館大集会室(出品数109点、入場者数462人) 【写真】 開催日:R3. 11. 25(木)～30(火) 会場:久喜総合文化会館広域文化展示室(出品数139点、入場者数445人)	・文化芸術の分野で活動する方に、日頃の創作活動の成果を発表する機会を提供することができました。 ・市民に文化芸術を鑑賞する機会を提供することができました。	・文化団体連合会等の会員以外の一般の方からの出品につながる周知方法等を検討していく必要があります。	3	・周知方法等についての見直しを検討していきます。
	217	市民芸術祭の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・市民芸術祭を以下のとおり実施しました。 開催方法:オンラインにて実施 動画配信開始日:R4. 2. 1(火) (出演団体7組(全て一般応募の団体) (動画視聴回数:1,040回 ※R4年3月末時点)	・市内で活動する合唱、民謡、吟詠、合奏、郷土芸能の表現芸術団体に、日頃の活動の成果を発表する機会を提供することができました。 ・市民に舞台表現芸術を鑑賞する機会を提供することができました。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインの開催となりましたが、今後は感染対策をしながら、有観客での開催方法を検討していく必要があります。 ・これまでは多くの演目が混在している状況であったことから、より来場者に分かりやすいプログラム編成とする必要があります。	3	・消毒や観客席の間隔を空けるなど、新型コロナウイルス感染対策を施した上で、有観客で開催します。 ・来場者にイベントのコンセプトがより明確に伝わるよう、プログラムの編成を検討していきます。
	218	吹奏楽フェスティバルの実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・埼玉県芸術文化祭地域文化事業参加事業として「『音楽の街・久喜市』吹奏楽フェスティバル」を以下のとおり実施しました。 開催方法:オンラインにて実施 動画配信開始日:R3. 12. 1(水) (出演団体10団体①久喜南中学校②久喜東中学校③太東中学校④久喜中学校⑤鷺宮東中学校⑥栗橋東中学校⑦久喜高等学校⑧しょうぶ・しみん吹奏楽団⑨久喜市民吹奏楽団⑩鷺宮ウインドアンサンブル (動画視聴回数:7,776回 ※R4年3月末時点)	・市内の中学校や高等学校、社会人の吹奏楽団体に、日頃の活動の成果を発表する機会を提供することができました。 ・市民や県民に、良質でレベルの高い吹奏楽演奏を鑑賞する機会を提供することができました。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインの開催となりましたが、今後は感染対策をしながら、有観客での開催方法を検討していく必要があります。	3	・来場者数の制限等、新型コロナウイルス感染対策を施した上で、有観客で開催します。 ・来場者数の制限に伴い来場できない方のために、オンラインにてライブ配信を行います。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標 施策		6 歴史・文化の継承と活用		2 文化芸術活動等の充実					
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	219	街かどコンサートの実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・街かどコンサートを以下のとおり実施しました。 ①R3. 10. 22(金)開催 61人来場 会場:久喜総合文化会館エントランスロビー 内容:バンド演奏 ②R3. 12. 5(日)開催 474人来場 会場:モラージュ菖蒲滝のコート 内容:バンド演奏、楽器演奏等 ③R4. 3. 29(火)開催 60人来場 会場:毎日興業アリーナメインアリーナ事務所前広場 内容:バンド演奏 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、他事業とのコラボ開催(ブルーフェスティバル、久喜マラソン)等、予定していたコンサートの開催ができないものがありました。	・市内外の音楽演奏愛好者の方に、音楽文化の創造や発信、交流の機会を提供することができました。 ・市民が音楽の豊かさや楽しさに触れる機会を提供し、「音楽の街・久喜市」の魅力を発信することができました。	・若い世代の演奏登録者の掘り起こしをしていく必要があります。 ・出演者同士が交流できるような機会を設定していく必要があります。 ・今後の開催について、新型コロナウイルス感染対策を施した実施方法などを検討していく必要があります。	3	・演奏登録者の募集について、市ホームページや公共施設へのポスター掲示など、積極的な働きかけを検討していきます。 ・新型コロナウイルス感染対策を行い、安心・安全に実施できる方法を検討していきます。
2 市民ギャラリーの設置	220	市民ギャラリーの設置に向けた検討 (目標年度:未定)		生涯学習課	・旧東京理科大学久喜キャンパス跡地に市民ギャラリーの設置を検討していました。当該施設について今後市の方針が決定され次第、再検討を行うこととしました。	・令和3年度中に市の方針が決定されなかったため、具体的な取り組みはありませんでした。	・市の方針が決定された後、教育委員会として再検討していく必要があります。	—	・市の方針を注視していきます。

基本目標 施策		6 歴史・文化の継承と活用		3 地域文化資源の発掘					
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 調査報告書の刊行	221	歴史ブックレットの刊行 (継続的取組み)		文化財保護課	・歴史ブックレットを刊行するための準備として、天王山西遺跡からの出土品の調査と情報の整理を実施しました。	・天王山西遺跡からの出土品について、そのデータ(一部)を取りまとめることができました。	・継続的に歴史や文化財の調査研究を進めていく必要があります。	2	・継続的に報告書等を刊行できるよう調査研究を進めていきます。
2 歴史的な地域文化資源の情報の発信	222	偉人マンガの刊行 (継続的取組み)	○	文化財保護課	・『マンガふるさとの偉人 久喜地域の人を育てた中島撫山先生』の刊行準備のため、偉人マンガ製作活用検討委員会を4回開催しました。しかし、偉人マンガの刊行は翌年度にずれこむことになりました。	・偉人マンガ製作活用検討委員会を設置・開催し、偉人マンガの原案を完成させることができました。	・継続的に地域文化資源の調査研究を進めていく必要があります。	2	・継続的に情報を発信できるよう調査研究を進めていきます。
3 市史編さんの検討	223	編さん資料の基礎情報の整理 (継続的取組み)		文化財保護課	・久喜市の歴史等に関係する主要論文等について、今年度は各地区ごとにテーマをしばってデータを整理しました。 久喜地区:甘棠院 菖蒲地区:栢間古墳群 栗橋地区:栗橋宿・栗橋関所 鷺宮地区:鷺宮神社	・各地区の貴重な文化財に関係する主要論文等を整理することで、職員間で活用ができるようになりました。	・毎年テーマを絞って、継続的に基礎情報を整理していく必要があります。 ・文化財保護審議会の委員とも情報共有を図り連携して進めていく必要があります。	3	・編さん資料の基礎情報の整理を進めていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標 施策		6 歴史・文化の継承と活用 4 文化財の保存・継承							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 指定文化財の保護活動への支援	224	指定文化財の管理等に対する補助等 (継続的取組み)		文化財保護課	・指定文化財の維持等のために所有者・管理者に交付金を交付しました。 (対象59件、実績53件) ・無形民俗文化財等の保存団体等に補助金を交付しました。 (対象9件、実績8件)	・指定文化財の日常的な維持・管理に資することができました。 ・無形民俗文化財等の継承・伝承に資することができました。	・文化財を適切に保護するため、継続的に支援をしていく必要があります。	3	・文化財を適切に保護するために継続的に支援していきます。
2 埋蔵文化財包蔵地の適切な保存	225	試掘・発掘調査の実施 (継続的取組み)		文化財保護課	・開発行為等により埋蔵文化財が破壊されないように、事前に試掘調査を実施して埋蔵文化財の所在を確認しました。 (試掘調査件数15件)	・試掘調査の実施により、埋蔵文化財包蔵地を適切に保存することができました。	・埋蔵文化財が破壊されてしまわないように、開発事業者等と調整を図っていく必要があります。	3	・埋蔵文化財が破壊されてしまわないように、必要に応じて試掘調査を実施していきます。
3 指定無形民俗文化財の後継者育成・伝承活動への支援	226	郷土伝統芸能の伝承活動支援 (継続的取組み)		文化財保護課	・神楽、獅子舞、囃子等の保存団体が主体的に実施する伝承活動を支援するため、指導者謝金を交付しました。 (対象20団体、実績10団体、78回開催)	・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策で伝承活動を縮小あるいは中止する団体もありましたが、同対策を徹底しながら実施した保存団体に対しては、伝承活動を活性化させるとともに、後継者の育成に寄与することができました。	・対象団体全てが伝承活動を実施できるように働きかけていく必要があります。 ・今後も引き続き支援していく必要があります。	3	・郷土伝統芸能が継続していくように、引き続き伝承活動を支援していきます。
	227	鷲宮催馬楽神楽伝承教室の開催 (継続的取組み)		文化財保護課	・新型コロナウイルス感染症対策により施設の利用時間が制限されたため、伝承教室の練習日数を増やして対応しました。 ・9月1日から10月24日までの期間で10回の開催を予定していましたが、全12回開催しました。(参加者数延べ136人)	・国の重要無形民俗文化財である鷲宮催馬楽神楽の後継者育成の一助とすることができました。	・国の重要無形民俗文化財である鷲宮催馬楽神楽については、今後も後継者育成に努めていく必要があります。	3	・後継者育成につながるよう、継続的に鷲宮催馬楽神楽伝承教室を開催していきます。

基本目標 施策		6 歴史・文化の継承と活用 5 文化財の活用							
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 指定文化財に関する情報の発信	228	「広報くき」やホームページなどでの情報の発信 (継続的取組み)		文化財保護課	・「広報くき」に毎月「久喜歴史だより」を連載しました。 (「広報くき」12回掲載) ・ホームページやSNSで文化財の情報を発信しました。	・指定文化財の情報を様々な媒体を用いて周知することができました。	・引き続き指定文化財等の情報を発信していく必要があります。	3	・引き続き「広報くき」に連載をしていきます。 ・引き続きホームページやSNSで指定文化財の情報を発信していきます。
	229	市指定文化財「吉田家水塚」の公開 (継続的取組み)		文化財保護課	・毎週木・土・日曜日に定例の公開を行いました。 (公開日154日) ・定例公開日以外にも団体見学を随時受け付けました。 (団体見学3件、91人)	・市指定文化財を適切に保存・活用し、周知することができました。	・指定文化財として保存を前提としながら見学者を増やしていく必要があります。	3	・指定文化財として保存を前提としながら公開を行い、見学者数が増えいくように展示替えや広報を行っていきます。
2 指定文化財の説明板の整備	230	指定文化財案内板の設置等 (継続的取組み)		文化財保護課	・県指定文化財案内板2か所の設置を実施しました。 (天王山塚) ・市指定文化財説明板1件の張替を実施しました。 (私立学校明倫館関係資料)	・現地で指定文化財を見学する人に必要な情報を伝えることができました。	・老朽化している説明板の更新をしていく必要があります。	3	・老朽化している説明板の更新も含めて、今後も引き続き説明板を設置していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標 施策	6 歴史・文化の継承と活用 5 文化財の活用								
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
3 「歴史文化基本構想」策定の検討	231	文化財調査などの情報整理 (継続的取組み)		文化財保護課	・合併前の旧市や旧町などが過去に刊行した調査報告書等の情報を整理しました。 ・郷土資料館や公文書館などが過去に開催した特別展等の情報を整理しました。	・埼玉県教育委員会が、令和2年3月に策定した『埼玉県文化財保存活用大綱』の参考資料と同種のことを整理することができました。	・本市の指定文化財に関する主な参考文献(調査報告書を含む)についても、情報を整理していく必要があります。 ・本市の未指定文化財に関して、県などが過去に刊行した調査報告書の情報を整理していく必要があります。	3	・文化財調査成果データの整理を継続的に行っていきます。

基本目標 施策	6 歴史・文化の継承と活用 6 郷土資料館の充実								
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 展示の実施等による所蔵資料の活用	232	特別展等の開催 (継続的取組み)		文化財保護課	・特別展 第11回特別展「1964～その時代と久喜～」を開催しました。 開催期間：7月6日(火)～9月5日(日) 開催日数：51日 入館者数：1,450人 ・収蔵品展 ①「ちよつとむかしの道具たちー新しい収蔵品を中心にー」、②「ちよつとむかしの道具たちー暮らしと祭りー」を開催しました。 開催期間：①4月1日(木)～6月13日(日)、②10月9日(土)～3月31日(木) 開催日数：①61日、②133日 入館者数：①892人、②2,698人 ・スポット展 ③「新たな市指定文化財」、④「すぐろくとどる昔の農具」を開催しました。 開催期間：③4月1日(木)～6月13日(日)、④8月21日(土)～9月23日(木) 開催日数：③61日、④28日	・ふるさと久喜市が歩んできた歴史に興味を持っていただくことにより、久喜市への愛着心を育み、関心を持っていただくことができました。 ・新型コロナウイルス感染症対策を施しながら収蔵資料等を紹介することができました。	・常設展や特別展等の展示の内容や方法、回数等について、今後も必要に応じて検討していく必要があります。	3	・今後も、本市の歴史や文化に関する調査研究を継続的に進めながら、収蔵資料を魅力的に紹介していきます。
	233	久喜市立郷土資料館だよりの発行 (継続的取組み)		文化財保護課	・久喜市立郷土資料館だよりの第13号を作成し、公共施設への配架や市HPへの掲載をしました。 (年1回発行) ・市立図書館と連携して、電子図書館に掲載しました。	・郷土資料館の活動や所蔵資料を、多くの市民等に周知することができました。	・内容や紙面の工夫等について、今後も必要に応じて検討していく必要があります。	2	・今後も、郷土資料館の活動や展示等では活用が難しい魅力ある収蔵資料などを紹介していきます。
2 市の歴史を紹介する講座の開催等	234	歴史講座の開催 (継続的取組み)		文化財保護課	・本市の歴史等に関する市民向けの講座を企画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の一環で、中止となりました。	—	・市民の学習ニーズに対応した講座を開催していく必要があります。	—	・本市の歴史や文化への愛着心を醸成するため、今後も継続的に開催していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標 6 歴史・文化の継承と活用
 施策 6 郷土資料館の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	235	古文書学習会の開催 (継続的取組み)		文化財保護課	・郷土資料館収蔵資料をテキストとし、年間11回の学習会を開催しました。 (参加延べ人数225人)	・郷土資料館の収蔵資料を身近に感じていただくとともに、郷土の歴史や文化に関心を持っていただく機会を提供することができました。	・受講生に対し、継続的に古文書解読に取り組んでいただけるように働きかける必要があります。 ・習熟された受講生には、郷土資料館の古文書整理ボランティアとして登録していただくように働きかけていく必要があります。	3	・本市の歴史や文化への愛着心を醸成するため、今後も継続的に開催していきます。

基本目標7

生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実

基本目標の概要

市民が生涯にわたって心身とも健康で活力に満ちた生活を営めるように、久喜市スポーツ推進計画に基づいて、「する」「みる」「ささえる」といった多様なスポーツへの関わり方を推進し、地域のスポーツ・レクリエーション活動の拠点となる各種団体の活動の支援等、スポーツ・レクリエーションに親しむことができる環境づくりに努めます。

施策

- 1 スポーツ・レクリエーション施設の充実
- 2 スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実
- 3 スポーツ・レクリエーション活動を通じた市民交流の促進
- 4 スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援

4つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 10 ○数値目標 4 ○取組み 15

担当課

○スポーツ振興課 ○中央公民館

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全4件)	達成度		件数	割合
	A	達成率 100%以上	0	0.0%
	B	達成率 90%以上 100%未満	0	0.0%
	C	達成率 80%以上 90%未満	0	0.0%
	D	達成率 80%未満	4	100.0%

継続的 取組み (全13件)	達成度		件数	割合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	0	0.0%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	3	23.1%
	2	予定を下回る取組み結果となった	2	15.4%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	1	7.7%
	—	評価できない	7	53.8%

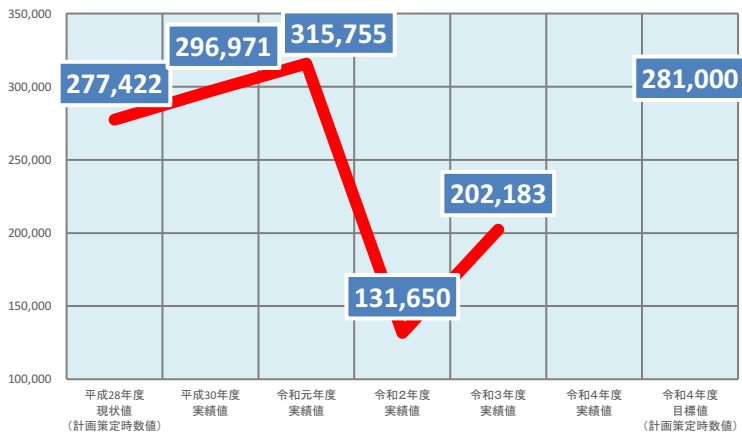
目標年度が 設定された 取組み (全2件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	0	0.0%
	B	概ね計画どおりである	1	50.0%
	C	計画より遅れている	1	50.0%
	D	計画倒れ・中止となった	0	0.0%

学識経験者の意見

- 社会体育施設や学校体育施設、スポーツ・レクリエーション大会、教室の利用者数又は参加者数は、コロナ禍においても前年度よりも実績値が大幅に増加し、市民の皆さんのスポーツ・レクリエーション活動に関する関心の高さがうかがえ、早く新型コロナウイルス感染状況が落ち着いて、通常の活動が再開されることを期待する。
- スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実にに関して、新たに取り組まれた動画、SNSなどによる運動・スポーツ情報の発信は、スポーツや運動に慣れ親しんでいる方はもちろん、そうでない方にも運動・スポーツに触れる良い機会となっている。情報は、紙媒体よりインターネットを活用したものが伝わりやすくなってきている。目標値への達成度は低い数値になっているが、様々な工夫をし、スポーツに関する情報を市民に提供していただきたい。
- 健康づくりや生きがいづくりのため、スポーツ・レクリエーションに対する関心が中高年者に高まっている中で、市民が参加しやすいスポーツ・レクリエーション施設の充実や活動への参加機会の充実に引き続き取り組んでいただきたい。
- 社会体育施設や学校体育施設の利用者が増えたことは、努力の表れであると思う。
- スポーツ活動として健康維持をすることは、その人の財産になり、ひいては久喜市の福祉予算の削減にもつながり、個人の財産、市の財産になることから、その意味でスポーツ・レクリエーション大会等の施策については大事にしていきたい。
- 「久喜市マラソン大会」に関しては、令和3年度は中止になったが、市の特色の一つとして継続して行っていただきたい。
- スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援に関しては、学校の部活動を地域にお願いすることにつながる。学校の部活動を地域に移行した場合、体制組織や指導者の確保、学校施設の開放などについても考えなければならないが、地域において子ども達がスポーツを行うに当たっては、「教育の一環である」ということを前提に実施していただきたい。

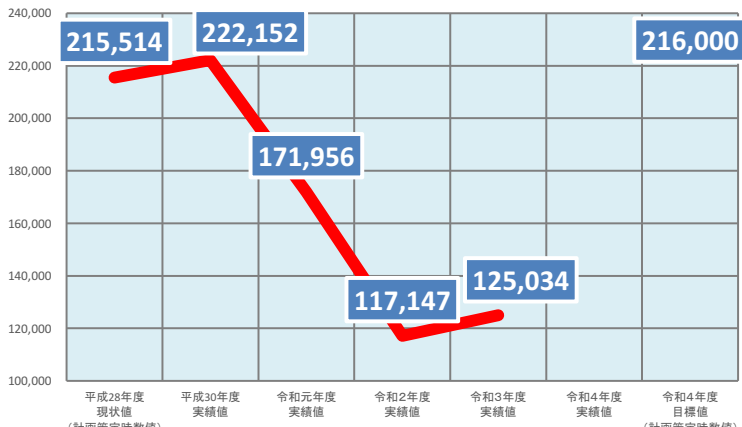
第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実
施策	1 スポーツ・レクリエーション施設の充実
具体的施策	1 社会体育施設の充実

数値目標名	社会体育施設利用者数	担当課	スポーツ振興課
単位	人	達成率	72.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	277,422	達成度	D
平成30年度 実績値	296,971	推移グラフ	
令和元年度 実績値	315,755		
令和2年度 実績値	※ 131,650		
令和3年度 実績値	※ 202,183		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	281,000		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、体育施設の休館や自主事業を一部中止としたことから、実績値が減少しました。

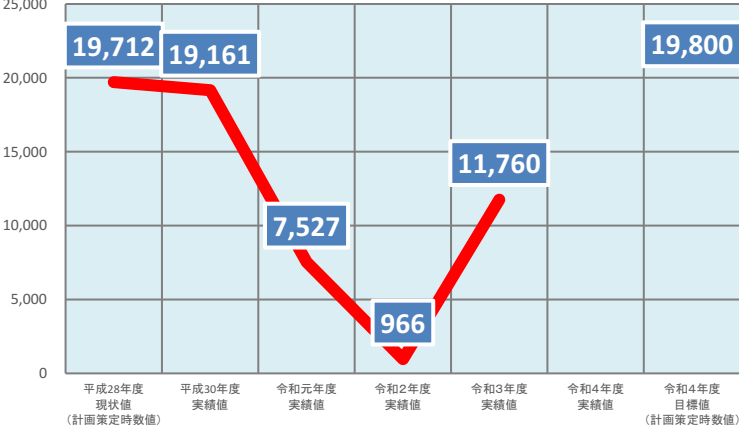
具体的施策 2 学校体育施設の利用の促進

数値目標名	学校体育施設利用者数	担当課	スポーツ振興課
単位	人	達成率	57.9%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	215,514	達成度	D
平成30年度 実績値	222,152	推移グラフ	
令和元年度 実績値	171,956		
令和2年度 実績値	※ 117,147		
令和3年度 実績値	※ 125,034		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	216,000		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、学校体育施設の利用停止や利用時間を制限したことから、実績値が減少しました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実
施策	2 スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実
具体的施策	1 スポーツ・レクリエーション大会・教室等の充実

数値目標名	スポーツ・レクリエーション大会、教室等参加者数	担当課	スポーツ振興課
単位	人	達成率	59.4%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	19,712	達成度	D
平成30年度 実績値	19,161	推移グラフ	
令和元年度 実績値	※1 7,527	 25,000 20,000 15,000 10,000 5,000 0 平成28年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和4年度 現状値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 目標値 (計画策定時数値)	
令和2年度 実績値	※2 966		
令和3年度 実績値	※3 11,760		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	19,800		

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により久喜マラソン大会が中止となったことから、また、雨の影響により各地区の体育祭の多くが中止となったことから、実績値が減少しました。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ教室等が中止となり、実績値が減少しました。なお、中止とした久喜マラソン大会に替わり、オンラインマラソンを実施し、実績値の参加がありました。

※3 Zoomを活用したオンラインイベントの実施や各種教室を再開したことにより、参加者数の回復傾向が見られました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実
施策	4 スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援
具体的施策	2 総合型地域スポーツクラブの創設支援

数値目標名	総合型地域スポーツクラブ数	担当課	スポーツ振興課
単位	クラブ	達成率	50.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1	達成度	D
平成30年度 実績値	1	推移グラフ	平成28年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和4年度 (計画策定時数値) (実績値) (実績値) (実績値) (実績値) (実績値) (目標値) (計画策定時数値)
令和元年度 実績値	1		
令和2年度 実績値	1		
令和3年度 実績値	1		
令和4年度 実績値			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	2		

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標 施 策		7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実 1 スポーツ・レクリエーション施設の充実							
具体的施策	連 番	取組み	新 規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 社会体育施設の 充実	236	社会体育施設の適正な管理・ 運営 (継続的取組み)		スポーツ振興 課	・指定管理者と協議の上、社会体育施設 の修繕、改修を計画し、市が施工しまし た。また、軽微な修繕、改修などについ ては指定管理者が行いました。 市施工工事 菫浦温水プール底引き用過ポンプ等改 修工事、栗橋B&G海洋センタートイレ改 修工事、鷺宮体育センタートイレ改修工事 (延べ利用者数202, 183人)	・市と指定管理者が連携して、社会 体育施設利用者の快適な利用環境 を整えることができました。	・予定していない修繕・改修が急に 発生することもあり、日ごろの点検 確認と、早目の準備をしておく必要 があります。	3	・修繕・改修が必要な場所の洗い出 しと、その修繕・改修に必要な予算 の積算、さらには優先順位につい て、毎年検討していきます。
2 学校体育施設の 利用の促進	237	学校体育施設の開放促進 (継続的取組み)		スポーツ振興 課	・学校及び利用団体と調整を図りながら、 市内全小・中学校(33校)の学校体育施 設の開放を実施しました。 (延べ利用者数125, 034人)	・各小・中学校と調整を図りながら学 校体育施設を開放することで、市民 に身近なスポーツ・レクリエーション の活動の場を提供することができま した。	・学校体育施設の老朽化により、利 用団体からの整備の要望が増えて きています。	3	・円滑に学校体育施設開放事業を 推進するため、継続的に学校の行 事予定や利用団体の大会予定など を把握し、調整を行っています。

基本目標 施 策		7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実 2 スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実							
具体的施策	連 番	取組み	新 規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 スポーツ・レクリ エーション大会・教 室等の充実	238	スポーツ・レクリエーション大 会、教室等の開催 ※再掲(連番No.248) (継続的取組み)		スポーツ振興 課	・久喜マラソン大会や綱引大会などのス ポーツ・レクリエーション大会や教室は、新 型コロナウイルス感染症拡大防止のた め、中止となりました。	—	・新型コロナウイルス感染症の収束 しない状況下でのイベントの実施に は更なる工夫が必要です。 ・スポーツ・レクリエーション活動に 対する市民ニーズが多様化してい るため、市民ニーズを把握、反映さ せて大会や教室を企画していく必要 があります。	—	・全ての市民がライフステージに応 じ、あらゆる機会と場所、多様な関り を通して、スポーツ・レクリエーション に親しむことのできる活動の場、参 加機会の充実を図ります。
	239	スポーツ体験教室等の開催 (継続的取組み)		スポーツ振興 課	・スポーツ体験教室として、イベントや、 Zoomを活用したオンラインスポーツイベ ントを実施したほか、動画の制作公開により 運動情報を発信しました。	・オンラインなどの新たな手法により 運動・スポーツに関するイベントを実 施し、運動やスポーツに関する情報 を発信して健康の維持に貢献するこ うことができました。	・新型コロナウイルス感染症の影響 下での運動・スポーツ情報の発信に 更なる工夫が必要です。	2	・オンラインの手法も活用し効果的 な運動・スポーツ情報の発信に努め ます。
	240	スポーツに親しむきっかけの創 出 (継続的取組み)		スポーツ振興 課	・実施を検討していたプロスポーツ観戦ツ アーは、新型コロナウイルス感染症拡大 防止のため、中止としました。	—	・新型コロナウイルス感染症の影響 下でのスポーツ観戦や、イベントの 実施には工夫が必要です。 ・子どもたちがあこがれるスポーツ にも時代の変化がある中、変化を的 確に捉えてスポーツへの動機づけと なるような施策が必要です。	—	・新型コロナウイルス感染症の対策 を十分に行いながら、スポーツへの 動機づけとなるようなスポーツ観戦 等の施策を展開します。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調査

基本目標 施 策		7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実 2 スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実							
具体的施策	連 番	取組み	新 規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
	241	オリンピック聖火リレー・パラリンピック聖火ビジットの開催 (目標年度: 令和3年度)		スポーツ振興課	・市内において、オリンピック聖火リレー、パラリンピック聖火ビジットを開催しました。	・多くのボランティアの協力のもと、準備、片付け等を含めて成功裏に終えることができました。	・新型コロナウイルス感染症対策のため、予定を変更するなどの課題はありましたが、安全に実施することができました。	B	・聖火リレーで利用したトーチや、ボランティアのユニホームなどを活用し、市民のスポーツへの関心を高められるよう努めます。
2 スポーツ・レクリエーションに関する情報収集と広報活動の充実	242	スポーツ・レクリエーションに関する情報収集 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・久喜マラソン大会やスポーツ・レクリエーション大会・教室は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となり、参加者からの意見収集ができませんでした。	—	・スポーツ・レクリエーションに対する市民のニーズは多様化しており、様々な情報収集が必要です。	—	・多くの市民がスポーツ・レクリエーション大会・教室等へ参加できるよう、情報収集を実施し、市民ニーズの把握に努めます。
	243	健幸・スポーツ都市宣言ロゴマーク入り手作りマスクセットの配布 (目標年度: 令和3年度)	○	スポーツ振興課	・健幸・スポーツ都市宣言ロゴマーク入り手作りマスクセットを市内小学校の5・6年生に配布し、マスクを作成してもらうことで、ロゴマークの周知を図ります。	・仕様変更による単価の上昇のため、市内小学校6年生のみに配布しました。	・広報活動の手段として、より多くの市民に周知を図ることができる手段を検討する必要があります。	C	・ロゴマークを様々な場面で活用し、広く市民に周知してまいります。
	244	動画・SNSなどによる運動・スポーツ情報の発信 (継続的取組み)	○	スポーツ振興課	・スポーツ専用instagram「くきスポ！」を利用した情報発信を行いました。	・スポーツ専用instagram「くきスポ！」を活用し、市のイベントや観光名所等のPRを含めた形でスポーツ情報を発信しました。	・市からの情報発信として、instagramのみでは発信力が弱いため、様々な媒体を利用して情報発信する必要があります。	2	・スポーツに関する情報を市民に届けるため、スポーツ団体や事業を紹介する動画を作成し、様々な媒体で公開します。
3 地域における指導者の資質の向上	245	スポーツ推進委員への研修機会の充実 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・各種研修会等は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となりました。	—	・スポーツ・レクリエーション指導者として中心的な役割を担うスポーツ推進委員には、継続的に研修機会の充実を図る必要があります。	—	・地域における指導者の育成を推進するため、研修等の情報提供や研修機会の充実を図ります。
基本目標 施 策		7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実 3 スポーツ・レクリエーション活動を通じた市民交流の促進							
具体的施策	連 番	取組み	新 規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 久喜マラソン大会の開催	246	久喜マラソン大会の開催 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・久喜市のスポーツイベントとして、第7回よこびのまち久喜マラソン大会開催に向け準備をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。	—	・新型コロナウイルス感染症が収束しない状況下でのマラソン大会の実施には更なる工夫が必要です。 ・コースの固定化やスタッフの育成等、安定した大会運営を図る必要があります。	—	・久喜マラソン大会におけるコースや部門を固定化し、安定した大会運営を図ります。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標 7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実
 施策 3 スポーツ・レクリエーション活動を通じた市民交流の促進

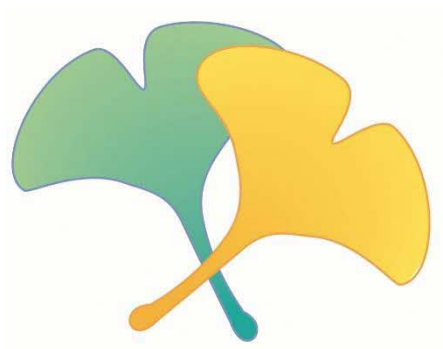
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
2 地区体育祭の開催	247	地区体育祭の充実 (継続的取組み)		中央公民館	・8地区において、市民(地区)体育祭を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により全地区において中止となりました。 (中央地区、青葉地区、江面地区、清久地区(清久小学校と合同開催)、東地区、菖蒲地区、栗橋地区、鷺宮地区)	—	・新型コロナウイルス感染症が終息しない中においても、参加者及び運営側の安全を確保し、安心して体育祭が実施できる方法を検討する必要があります。	—	・コミュニティセンター移行後もスポーツ・レクリエーション活動を通じた市民交流の促進を図れるよう、関係各課との調整を図ります。
3 多くの市民が参加できるスポーツ大会等の開催	248	スポーツ・レクリエーション大会、教室等の開催 ※再掲(連番No.238) (継続的取組み)		スポーツ振興課	・久喜マラソン大会や綱引大会などのスポーツ・レクリエーション大会・教室は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となりました。	—	・新型コロナウイルス感染症が収束しない状況下でのイベントの実施には更なる工夫が必要です。 ・スポーツ・レクリエーション活動に対する市民ニーズが多様化しているため、市民ニーズを把握、反映させ、大会や教室を企画していく必要があります。	—	・全ての市民がライフステージに応じ、あらゆる機会と場所、多様な関わりを通して、スポーツ・レクリエーションに親しむことのできる活動の場、参加機会の充実を図ります。

基本目標 7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実
 施策 4 スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
1 スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援	249	スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・スポーツ・レクリエーション団体の自主的活動の奨励及び育成・支援を図るため、各種スポーツ・レクリエーション団体に補助金を交付し、団体主催による大会、教室等の事業を支援しました。 【主な補助金交付団体】 スポーツ協会、スポーツ少年団本部、レクリエーション協会	・各種スポーツ・レクリエーション団体へ補助金を交付することにより、事業をはじめとする団体運営を支援することができました。	・各種団体の活動は、新たにスポーツ・レクリエーション活動を始める市民のきっかけ作りや受け皿として期待されるため、継続的に支援していく必要があります。	3	・スポーツ・レクリエーション団体に補助金を交付し、団体運営を支援していきます。
2 総合型地域スポーツクラブの創設支援	250	総合型地域スポーツクラブの創設支援 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・スポーツ団体との交流の場等で総合型地域スポーツクラブ創設に意欲的な団体の情報を収集しました。 ・窓口や市HPにて総合型地域スポーツクラブ創設に関する情報提供を行いました。	・総合型地域スポーツクラブの創設を検討している団体はありましたが、既に話が進められており、アドバイスや情報提供を行うことができませんでした。	・総合型地域スポーツクラブの創設について意欲的な団体や個人があった場合に、情報提供ができるよう、常に情報収集をしておく必要があります。	1	・各施設にチラシ等を配布して、創設を検討する団体等が情報を手に入れやすい環境を作ります。



久喜市



市の木「イチョウ」



市の花「コスモス」